

令和4年度

主要な施策に関する説明書

(一 般 会 計)

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

地方自治法第233条第5項の規定により令和4年度に宮代町が執行した主要な施策についてご報告いたします。

令和4年度の一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の歳出決算額は、総額で約194億8,611万円、前年度に比べ約3.6%、金額にして約6億7,912万円の増となっています。

その主な要因は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した感染症対策及び物価高騰対策に係る経費のほか、保育所、学童保育所の新設に係る経費、介護、医療、福祉といったいわゆる社会保障関連経費が増加したことによるものです。

一方、少子高齢化による人口減少社会にあっても、これまでの定住人口の増加に向けた区画整理事業等の都市基盤整備の成果により、一定の水準で町税収入を確保することができ、引き続き、町の魅力を向上させ交流人口・定住人口の増加に向け都市基盤整備など将来につながる投資を進めると共に、持続可能な財政運営の実現に向け各種施策を推し進めました。

他方、国では、「新しい資本主義へ～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～」の推進を目標に掲げる「経済財政運営と改革の基本方針2022」を定め、新しい資本主義に向けた改革として、デジタル化や脱炭素化という大きな変革の波の中、人口減少に伴う労働力不足にも対応するために、「人への投資と分配」「スタートアップ（新規創業）への投資」「デジタルトランスフォーメーション（DX）への投資」など、新たな施策を展開すると共に、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを推進するため、地方版総合戦略に基づき地方公共団体が自主的・主体的に行う先導的な取組に対し支援を行っています。

こうした状況の中、令和4年度は、「第5次宮代町総合計画前期実行計画」及び「第2期宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2か年度目として新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した上で、事業進捗に努めました。

令和5年度も引き続き皆様の声を聴き、皆様の声を活かし、将来に渡ってこのまちに住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

令和5年 8月31日

宮代町長 新井康之

目 次

1 一 般 会 計 -----	1 頁
令和4年度 一般会計歳入歳出決算状況 -----	2 頁
令和4年度 一般会計歳出性質別決算状況 -----	6 頁
地方債現在高の状況 -----	8 頁
地方債の借入先別・利率別現在高の状況 -----	8 頁
令和4年度 決算状況総括表 -----	10 頁
歳 入	
1) 町 税 -----	12 頁
2) 地 方 譲 与 税 -----	13 頁
3) 利 子 割 交 付 金 -----	13 頁
4) 配 当 割 交 付 金 -----	13 頁
5) 株式等譲渡所得割交付金 -----	13 頁
6) 法 人 事 業 税 交 付 金 -----	13 頁
7) 地 方 消 費 税 交 付 金 -----	14 頁
8) 環 境 性 能 割 交 付 金 -----	15 頁
9) 地 方 特 例 交 付 金 -----	15 頁
10) 地 方 交 付 税 -----	15 頁
11) 交通安全対策特別交付金 -----	16 頁
12) 分 担 金 及 び 負 担 金 -----	16 頁
13) 使 用 料 及 び 手 数 料 -----	16 頁
14) 国 庫 支 出 金 -----	17 頁
15) 県 支 出 金 -----	18 頁
16) 財 産 収 入 -----	19 頁
17) 寄 附 金 -----	20 頁
18) 繰 入 金 -----	20 頁
19) 繰 越 金 -----	20 頁
20) 諸 収 入 -----	21 頁
21) 町 債 -----	21 頁
22) 自 動 車 取 得 税 交 付 金 -----	23 頁

歳 出

第5次宮代町総合計画 前期実行計画	-----	25 頁
1) 議 会 事 務 局	-----	75 頁
2) 総 務 課	-----	77 頁
3) 企 画 財 政 課	-----	81 頁
4) 住 民 課	-----	89 頁
5) 税 務 課	-----	95 頁
6) 町 民 生 活 課	-----	103 頁
7) 環 境 資 源 課	-----	117 頁
8) 福 祉 課	-----	123 頁
9) 子 育 て 支 援 課	-----	135 頁
10) 健 康 介 護 課	-----	153 頁
11) 産 業 観 光 課	-----	173 頁
12) ま ち づ くり 建 設 課	-----	183 頁
13) 教 育 推 進 課	-----	191 頁
2 国民健康保険特別会計	-----	217 頁
3 介護保険特別会計	-----	235 頁
4 後期高齢者医療特別会計	-----	265 頁



一 般 会 計



令和4年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

令和4年度は、新型コロナウイルスワクチン接種事業を始めとした新型コロナウイルス感染症対策関連事業のほか、高齢化を背景とする社会保障関連経費が引き続き増加する状況下での財政運営となりました。

歳入では、町税は、固定資産税及び都市計画税の新增築家屋の評価増、法人町民税の法人税割の増等により町税全体では前年度に比べ増額となりました。一方、各種交付金は、株式等譲渡所得割交付金など一部の交付金で交付原資（県税）が減になったものの、地方消費税交付金の交付原資（県税）の増となるなど、一般財源総額全体も前年度に比べ増額しました。

歳出では、義務的経費は、高齢化を背景とした社会保障関連経費が引き続き増額となったほか、久喜宮代衛生組合負担金が増加しました。投資的経費は、東武動物公園駅東口周辺整備事業が事業の進捗により減額となったものの、宮東保育園創設への補助金やふじ第2児童クラブの整備、役場庁舎の空調機器更新などに伴い増額となりました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルスワクチン接種の実施、子育て世帯生活支援特別給付金、住民税非課税世帯等臨時特別給付金や事業者・お店支援金の支給等の事業を実施しました。その結果、歳出総額は124億7,952万円、前年度に比べ9億1,718万円の増額となりました。

このような中、令和4年度は第5次宮代町総合計画前期実行計画の2か年度目として、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した上で、事業進捗に努めました。

「構想1 宮代らしさを価値として高めていく」では、西原自然の森フェスタを夏と冬に2回開催し、西原自然の森の魅力向上を図りました。また、町に所縁のあるアーティストによる作品展などの情報発信や庁舎・遊休スペースを活用した作品展を実施したほか、「みんなが地域の特派員」制度の登録者が積極的に町の魅力を情報発信しました。

「構想2 コンパクトな町の強みを活かす」では、75歳以上の高齢者等にタクシー助成券を交付する「高齢者等タクシー助成事業」の2年目として、効果と課題の検証を行い、より使いやすく制度の見直しをしました。また、都市基盤整備として、引き続き道仏地区の周辺道路である都市計画道路 春日部久喜線整備及び東武動物公園駅東口駅前広場整備等を実施しました。

「構想3 さまざまな活動や主体を生み出す」では、引き続き、地域の高齢者サロンや子育て支援事業者と連携した子どもの居場所づくりイベントを開催しました。また、宮代町教育支援センターを開設しました。

「構想4 社会環境の変化に対応し行政運営を変化させ続ける」では、高齢者へのサービスの情報伝達の準備として、「高齢者困りごとサポート冊子」を作成し、町ホームページへの掲載とともに、各窓口でも配布を開始しました。また、日本工業大学と連携し、「日工大サイエンスプロジェクト」として、日本工業大学の大学教授の講義や実験の授業を実施しました。

令和5年度も、引き続き、「第5次宮代町総合計画前期実行計画」及び「第2期宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた事業を着実に進めてまいります。

令和4年度 一般会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款名	4年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	人口1人当たり	
1 町 税	3,879,616	29.1	116	100,754
2 地 方 譲 与 税	91,768	0.7	3	△ 315
3 利 子 割 交 付 金	1,677	0.0	0	△ 1,034
4 配 当 割 交 付 金	24,276	0.2	1	△ 2,326
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	18,938	0.1	0	△ 12,637
6 法 人 事 業 税 交 付 金	30,896	0.2	1	7,603
7 地 方 消 費 税 交 付 金	725,563	5.4	22	36,217
8 環 境 性 能 割 交 付 金	15,510	0.1	0	3,455
9 地 方 特 例 交 付 金	44,234	0.3	1	△ 4,357
10 地 方 交 付 税	2,708,706	20.3	81	△ 850
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,770	0.0	0	△ 401
12 分 担 金 及 び 負 担 金	156,629	1.2	5	92,264
13 使 用 料 及 び 手 数 料	35,795	0.3	1	57
14 国 庫 支 出 金	2,336,395	17.5	70	△ 419,634
15 県 支 出 金	802,452	6.0	24	55,094
16 財 産 収 入	86,413	0.7	3	56,742
17 寄 附 金	22,531	0.2	1	△ 4,368
18 繰 入 金	531,725	4.0	16	232,695
19 繰 越 金	1,203,688	9.0	36	593,257
20 諸 収 入	264,994	2.0	8	31,236
21 町 債	353,161	2.7	11	△ 190,739
22 自 動 車 取 得 税 交 付 金	235	0.0	0	230
歳 入 合 計	13,338,972	100.0	400	572,943

令和5年3月31日現在人口
33,346人

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
3,778,862	29.6	3,860,015	固定資産税の増
92,083	0.7	90,898	交付原資（国税）の減
2,711	0.0	3,294	交付原資（県税）の減
26,602	0.2	17,410	交付原資（県税）の減
31,575	0.2	20,812	交付原資（県税）の減
23,293	0.2	9,866	交付割合の変更に伴う増
689,346	5.4	628,294	交付原資（県税）の増
12,055	0.1	12,589	交付原資（県税）の増
48,591	0.4	47,779	地方税減収補填特別交付金の減
2,709,556	21.2	2,219,159	特別交付税の減
4,171	0.0	4,631	交付原資の減
64,365	0.5	68,967	障がい福祉広域事業構成市町負担金の増
35,738	0.3	32,363	都市計画手数料の増
2,756,029	21.6	5,186,163	子育て世帯等臨時特別支援事業給付金事業補助金の減
747,358	5.9	798,573	障害者自立支援給付費等負担金の増
29,671	0.2	19,572	普通財産売却収入の増
26,899	0.2	108,543	ふるさと納税（寄附金）の減
299,030	2.4	564,872	財政調整基金繰入金の増
610,431	4.8	549,577	前年度決算剰余金の増
233,758	1.8	218,362	宮代和戸横町地区における調整池施設移管協力金の増
543,900	4.3	714,857	臨時財政対策債の減
5	0.0	0	自動車取得税交付金（過年度分）の追加交付
12,766,029	100.0	15,176,596	

歳出の状況

款名	4年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 議会費	105,830	0.9	3	3,051
2 総務費	2,180,950	17.5	65	720,558
3 民生費	4,932,144	39.5	148	161,999
4 衛生費	1,464,184	11.7	44	182,168
5 労働費	52	0.0	0	△ 784
6 農林水産業費	235,921	1.9	7	25,028
7 商工費	126,342	1.0	4	5,486
8 土木費	890,378	7.2	27	△ 167,452
9 消防費	478,525	3.8	14	△ 10,410
10 教育費	1,224,677	9.8	37	1,252
11 公債費	840,440	6.7	25	△ 3,590
12 諸支出金	78	0.0	0	△ 127
13 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	12,479,521	100.0	374	917,179

令和5年3月31日現在人口
33,346人

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
102,779	0.9	101,991	議場用映像音響設備機器使用料の増
1,460,392	12.6	5,089,416	公共施設整備基金積立金の増 財政調整基金積立金の増
4,770,145	41.3	4,152,941	ふじ第二児童クラブ整備に伴う増
1,282,016	11.1	895,664	水道料金免除の実施に伴う増 久喜宮代衛生組合負担金の増
836	0.0	961	起業創業支援ウェブサイト管理運営業務の 商工費への移行に伴う減
210,893	1.8	241,048	農業集落排水事業会計補助金の増
120,856	1.0	234,575	キャッシュレス決済推進事業実施による増
1,057,830	9.2	1,143,410	東武動物公園駅東口周辺整備事業の進捗に合わせた減
488,935	4.2	562,683	埼玉東部消防組合負担金の減
1,223,425	10.6	1,325,778	小、中学校非構造部材改修工事の実施に伴う増
844,030	7.3	817,656	過年度借入地方債償還の進捗による減
205	0.0	42	
0	0.0	0	
11,562,342	100.0	14,566,165	

令和4年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	4年度		増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	
1 人 件 費	1,916,998	15.4	40,124
うち 職 員 給	1,186,963	9.5	16,489
2 物 件 費	1,960,724	15.7	226,778
3 維 持 補 修 費	62,565	0.5	18,217
4 扶 助 費	2,381,313	19.1	△ 420,995
5 補 助 費 等	2,246,716	17.9	313,942
一部事務組合に対するもの	1,020,170	8.2	26,758
そ の 他	1,226,546	9.8	287,184
6 普 通 建 設 事 業 費	948,177	7.6	174,490
補 助 事 業 費	370,508	3.0	22,053
単 独 事 業 費	572,962	4.6	176,755
県 営 事 業 負 担 金	4,707	0.0	△ 24,318
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	840,440	6.8	△ 3,591
8 積 立 金	833,442	6.7	541,800
9 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0	0
10 貸 付 金	0	0.0	△ 125
11 繰 出 金	1,289,146	10.3	26,539
合 計	12,479,521	100.0	917,179

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
1,876,874	16.2	1,813,617	会計年度任用職員報酬の増
1,170,474	10.1	1,129,147	一般職員に係る給与費の増
1,733,946	15.0	1,691,758	障がい福祉広域事業の実施に伴う増 電子カルテシステムリース開始に伴う増
44,348	0.4	63,086	公設宮代福祉医療センター施設修繕に伴う増
2,802,308	24.3	2,121,626	子育て世帯等臨時特別支援事業給付金及び 住民税非課税世帯等臨時特別給付金の給付完了に伴う減
1,932,774	16.7	5,426,421	
993,412	8.6	972,253	久喜宮代衛生組合負担金の増
939,362	8.1	4,454,168	宮代町子育て世帯応援金の給付に伴う増 水道料金免除の実施に伴う増
773,687	6.7	988,910	
348,455	3.0	199,650	宮東保育園創設に係る補助金の増 ふじ第二児童クラブ整備に伴う増
396,207	3.4	733,931	役場庁舎空調機器更新に伴う増
29,025	0.3	55,329	東武動物公園駅東口周辺整備における街路事業負担金の減
0	0.0	0	
0	0.0	0	
844,031	7.3	817,656	過年度借入地方債償還の進捗による減
291,642	2.5	367,344	公共施設整備基金積立金の増 財政調整基金積立金の増
0	0.0	30,000	
125	0.0	250	勤労者住宅資金貸付制度預託金の減
1,262,607	10.9	1,245,497	介護保険特別会計繰出金の増 後期高齢者医療特別会計繰出金の増
11,562,342	100.0	14,566,165	

地 方 債 現 在

区 分	令和3年度末 現在高 A	令和4年度 発行額 B
1 普 通 債	2,686,180	206,500
(1) 総 務 債	361,140	105,000
(2) 民 生 債	626,283	
(3) 衛 生 債	344,836	
(4) 土 木 債	975,479	36,500
(5) 消 防 債	89,733	
(6) 教 育 債	288,709	65,000
2 そ の 他	5,602,924	146,661
(1) 減 税 補 て ん 債	40,910	
(2) 減 収 補 て ん 債	33,633	
(3) 臨 時 財 政 対 策 債	5,528,381	146,661
合 計	8,289,104	353,161

地 方 債 の 借 入 先 別 ・

借入先 / 利率別	令和3年度末 現在高 A	令和4年度 発行額 B	令和4年度 元金償還額 C	令和4年度末 現在高 D(A+B-C)
1 財 務 省	3,901,634	181,061	384,529	3,698,166
2 郵便貯金・簡易生命 保険管理機構	218,315		25,954	192,361
3 地方公共団体金融機構	3,067,294	106,900	237,385	2,936,809
4 市中銀行等	846,281	65,200	133,622	777,859
5 共済組合等	20,243		5,115	15,128
6 埼 玉 県	235,337		15,330	220,007
合 計	8,289,104	353,161	801,935	7,840,330

高 の 状 況

(単位 千円)

令和4年度 元金償還額 C	令和4年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
270,965	2,621,715	1,150,124	1,471,591
36,880	429,260		429,260
51,749	574,534	258,222	316,312
37,657	307,179	89,846	217,333
104,308	907,671	681,566	226,105
4,913	84,820		84,820
35,458	318,251	120,490	197,761
530,970	5,218,615	2,740,402	2,478,213
14,840	26,070	26,070	
3,661	29,972	24,565	5,407
512,469	5,162,573	2,689,767	2,472,806
801,935	7,840,330	3,890,526	3,949,804

利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

令和4年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以下	2.0% 以下	2.5% 以下	3.0% 以下	3.5% 以下	4.0% 以下	4.5% 以下	5.0% 以下	5.0% 超
3,541,631	10,136	139,076	3,026	2,394			1,903	
51,782		140,579						
2,487,696	442,189	3,113	2,496	1,315				
630,568	147,291							
15,128								
220,007								
6,946,812	599,616	282,768	5,522	3,709			1,903	

令和4年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	4年度	3年度	2年度
歳入総額 A	13,338,972	12,766,029	15,176,596
歳出総額 B	12,479,521	11,562,342	14,566,165
歳入歳出差引額 (A - B) C	859,451	1,203,687	610,431
翌年度へ繰越すべき財源 D	100,927	183,197	124,744
実質収支 (C - D) E	758,524	1,020,490	485,687
単年度収支 F	△ 261,966	534,803	10,918
財政調整基金積立金額 G	510,747	243,952	237,643
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	398,104	28,175	298,237
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 149,323	750,580	△ 49,676

2 基金の現在高

(単位 千円)

	4年度	3年度	2年度
財政調整基金	1,412,678	1,300,034	1,084,257
(主な増減理由) 決算剰余金の積み立てによる増			
減債基金	3,521	3,519	3,515
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
公共施設整備基金	916,378	621,468	607,687
(主な増減理由) 小学校再整備等地域拠点施設整備の財源としての積み立てによる増			
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	2,472	2,742	4,261
(主な増減理由) 医療機器リース料の財源としての取り崩しによる減			
宮代まちづくり基金	25,648	28,219	59,158
(主な増減理由) ふるさと納税の減額による減			
土地開発基金	329,061	328,983	328,778
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
育英基金	15,141	16,908	18,305
(主な増減理由) 小中学校教材教具購入費の財源としての取り崩しによる減			
森林環境譲与税積立基金	12,299	8,291	4,914
(主な増減理由) 森林環境譲与税の積み立てによる増			
合 計	2,717,198	2,310,164	2,110,875

3 財政指標

	4年度	3年度	2年度
実質公債費比率	6.1%	6.0%	6.3%
将来負担比率	-	-	6.5%
財政力指数	0.596	0.613	0.633
経常収支比率	92.4%	88.0%	91.9%
実質収支比率	10.4%	13.7%	7.0%
標準財政規模	7,313,403千円	7,473,220千円	6,944,050千円

※令和3年度、令和4年度の将来負担比率は指数なしのため「-」と表記しています。

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は16ページを参照ください)

4 人口

(単位 人)

	4年度	3年度	2年度
住民基本台帳	33,346	33,656	33,792

5 国勢調査

(単位 人)

	2年国勢調査	27年国勢調査	22年国勢調査
人口	34,147	33,705	33,641
第1次就業人口	298	315	353
第2次就業人口	3,331	3,551	3,499
第3次就業人口	11,545	10,861	11,221
(分類不能)	595	854	606

6 職員数等の状況

	4年度	3年度	2年度
(一般職員) 職員数	195人	188人	186人
(一般職員) 平均年齢	43.02歳	43.09歳	44.02歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	310,340円	315,403円	317,492円
ラスパイレス指数	95.3	95.8	94.3

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体(市町村など)の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。

1 款 町

税

決算書 P11

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
3,655,755,000	3,879,616,314	100,754,005	3,778,862,309	3,860,014,618

現年度課税分では、主に固定資産税の増加により前年度に比べ104,856,715円(2.8%)の増、滞納繰越分では、滞納調定額の縮小により前年度に比べ4,102,710円(17.1%)の減、町税全体では、100,754,005円(2.7%)の増となりました。

税目別では、個人町民税は所得割の増加により前年度に比べ5,828,940円(0.3%)の増となり、法人町民税は法人税割の増加により前年度に比べ23,415,980円(30.3%)の増となりました。

固定資産税は、新增築家屋の評価増等により前年度に比べ52,801,411円(3.5%)の増、都市計画税は固定資産税同様に前年度に比べ4,638,093円(3.0%)の増となりました。

軽自動車税は、軽四輪乗用等の増加により前年度に比べ4,603,300円(6.3%)の増となり、町たばこ税は、前年度に比べ13,568,991円(7.6%)の増となりました。

(単位 円)

		4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
現年度課税分	町 民 税	1,861,157,869	29,244,920	1,831,912,949	1,901,097,248
	個人町民税	1,760,379,389	5,828,940	1,754,550,449	1,787,589,448
	法人町民税	100,778,480	23,415,980	77,362,500	113,507,800
	固定資産税	1,571,759,811	52,801,411	1,518,958,400	1,541,114,768
	都市計画税	157,371,080	4,638,093	152,732,987	157,006,823
	軽自動車税	78,005,400	4,603,300	73,402,100	69,384,158
	町たばこ税	191,450,550	13,568,991	177,881,559	165,318,164
	計	3,859,744,710	104,856,715	3,754,887,995	3,833,921,161
滞納繰越分	町 民 税	11,107,516	△1,789,147	12,896,663	14,080,322
	個人町民税	11,107,516	△995,027	12,102,543	13,517,922
	法人町民税	0	△794,120	794,120	562,400
	固定資産税	7,389,455	△2,271,402	9,660,857	10,210,605
	都市計画税	831,943	△65,651	897,594	1,140,730
	軽自動車税	542,690	23,490	519,200	661,800
	計	19,871,604	△4,102,710	23,974,314	26,093,457
合 計	3,879,616,314	100,754,005	3,778,862,309	3,860,014,618	

※ 国有資産等所在市町村交付金 480,500 円は固定資産税（現年度課税分）に含む

※ 軽自動車税は種別割及び環境性能割の合計

(単位 千円)

都市計画税充当事業	充当額	主な内容
都市計画道路整備事業	43,924	(都)春日部久喜線の整備
東武動物公園駅西口周辺整備事業	1,588	アクセス道路交差点改良工事
東武動物公園駅東口周辺整備事業	19,653	駅前広場の整備
都市計画事業公債費	78,915	都市計画事業に係る元金償還金
公共下水道事業会計負担事業	14,123	公共下水道事業に係る元金償還金
充 当 額 合 計	158,203	

2 款 地 方 譲 与 税

決算書 P13

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
90,599,000	91,768,000	△315,000	92,083,000	90,898,000

地方揮発油譲与税の交付原資の縮小により、地方譲与税全体で減額しました。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
地方揮発油譲与税	21,978,000	△1,009,000	22,987,000	22,396,000
自動車重量譲与税	65,786,000	60,000	65,726,000	65,160,000
森林環境譲与税	4,004,000	634,000	3,370,000	3,342,000
合 計	91,768,000	△315,000	92,083,000	90,898,000

3 款 利 子 割 交 付 金

決算書 P15

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
3,600,000	1,677,000	△1,034,000	2,711,000	3,294,000

県民税利子割額に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が縮小し、交付額は減額しました。

4 款 配 当 割 交 付 金

決算書 P15

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
17,900,000	24,276,000	△2,326,000	26,602,000	17,410,000

県民税配当割額に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が縮小し、交付額は減額しました。

5 款 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金

決算書 P15

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
15,500,000	18,938,000	△12,637,000	31,575,000	20,812,000

県民税株式等譲渡割額に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が縮小し、交付額は減額しました。

6 款 法 人 事 業 税 交 付 金

決算書 P15

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
18,100,000	30,896,000	7,603,000	23,293,000	9,866,000

法人事業税（県税）に原資を拠っていますが、交付割合の変更に伴い、交付額は増額しました。

7款 地方消費税交付金

決算書 P15

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
689,200,000	725,563,000	36,217,000	689,346,000	628,294,000

地方消費税（県税）に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が拡大し、交付額は増額しました。

(単位:円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
従 来 分	293,357,000	14,539,000	278,818,000	267,319,000
社会 保障 財 源 化 分	432,206,000	21,678,000	410,528,000	360,975,000
合 計	725,563,000	36,217,000	689,346,000	628,294,000

※ 社会保障財源化分は平成26年4月及び令和元年10月から引き上げられた地方消費税相当分で、この収入は社会保障施策に要する経費に活用するものとされ、令和4年度分は、以下の事業に活用しました。

【社会保障財源化分（引上げ分）を活用した社会保障施策に要した経費】 (単位:千円)

事業名	事業費	特定財源	一般財源			
				引上げ分	その他	
社会 福 祉	社会福祉	420,608	220,100	200,508	31,480	169,028
	障がい者福祉	874,887	702,326	172,561	27,093	145,468
	高齢者福祉	33,862	182	33,680	5,289	28,391
	児童福祉	2,254,669	1,229,838	1,024,831	160,902	863,929
	小計	3,584,026	2,152,446	1,431,580	224,764	1,206,816
社会 保 険	国民健康保険	269,067	100,783	168,284	26,421	141,863
	後期高齢者医療	479,370	62,504	416,866	65,449	351,417
	介護保険	541,503	21,604	519,899	81,626	438,273
	小計	1,289,940	184,891	1,105,049	173,496	931,553
保 健 衛 生	疾病予防対策	219,485	3,272	216,213	33,946	182,267
	小計	219,485	3,272	216,213	33,946	182,267
合 計	5,093,451	2,340,609	2,752,842	432,206	2,320,636	

8款 環境性能割交付金

決算書 P15

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
15,900,000	15,510,000	3,455,000	12,055,000	12,589,239

自動車の環境性能に応じた割合で課税される環境性能割を原資として交付されるもので、自動車の取得状況により交付原資が拡大し、交付額は増額しました。

9款 地方特例交付金

決算書 P17

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
44,234,000	44,234,000	△4,357,000	48,591,000	47,779,000

新型コロナウイルス感染症等に係る固定資産税、都市計画税の課税標準の特例に伴う減収分として、令和3年度に交付された地方税減収補填特別交付金の皆減に伴い、交付額が減少しました。

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
地方特例交付金	44,234,000	△555,000	44,789,000	47,779,000
地方税減収補填特別交付金	-	皆減	3,802,000	-
合 計	44,234,000	△4,357,000	48,591,000	47,779,000

10款 地方交付税

決算書 P17

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
2,670,274,000	2,708,706,000	△850,000	2,709,556,000	2,219,159,000

普通交付税は臨時財政対策債振替相当額の減などにより増額となりましたが、特別交付税の減などにより全体では減額となりました。

- ◆普通交付税の額 = 基準財政需要額 - 基準財政収入額
- ◆特別交付税の額 = 普通交付税では措置されない特別な財政需要に対応するもので、地方交付税総額の6%相当額

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
普通交付税	2,591,274,000	11,047,000	2,580,227,000	2,098,633,000
特別交付税	117,319,000	△11,881,000	129,200,000	120,304,000
震災復興特別交付税	113,000	△16,000	129,000	222,000
合 計	2,708,706,000	△850,000	2,709,556,000	2,219,159,000

■普通交付税の算出基礎

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
基準財政需要額 a	6,233,358,000	161,286,000	6,072,072,000	5,659,477,000
基準財政収入額 b	3,642,084,000	150,239,000	3,491,845,000	3,557,953,000
調整額 c	0	0	0	△2,891,000
交付額 a-b+c	2,591,274,000	11,047,000	2,580,227,000	2,098,633,000
単年度財政力指数 b/a	0.584	0.009	0.575	0.630

※3ヵ年の単年度財政力指数を平均したものが、11ページの「財政力指数」となります。

11款 交通安全対策特別交付金

決算書 P17

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
3,600,000	3,770,000	△401,000	4,171,000	4,631,000

交通違反反則金を原資としていますが、交付原資が縮小し、交付額は減額しました。

12款 分担金及び負担金

決算書 P17

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
161,384,000	156,628,752	92,263,919	64,364,833	68,966,717

地域自立支援協議会事務局（輪番制）であったことから、構成市町からの分担金が発生し、増額となりました。

(単位 円)

主なもの	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
保育所保護者負担金	44,506,770	4,766,470	39,740,300	44,263,930
学童保育所保護者負担金	30,944,640	7,743,040	23,201,600	21,878,000
埼玉北地区管内広域事業分担金	80,272,462	皆増	-	-

※保護者負担金は滞納繰越分を含む金額です。

13款 使用料及び手数料

決算書 P19

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
33,486,000	35,795,486	57,585	35,737,901	32,362,593

■使用料

主に公共施設の利用者に負担いただく使用料です。駐輪場使用料の減に伴い使用料収入は減額となりました。

(単位 円)

主なもの	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
駐輪場使用料	5,782,470	△508,150	6,290,620	5,275,520
道路占用料	10,599,704	156,944	10,442,760	10,047,882
公民館使用料	2,466,300	66,600	2,399,700	1,761,100

■手数料

各種行政サービスに伴う役務の対価として負担いただくものです。都市計画手数料の増に伴い手数料収入は増額となりました。

(単位 円)

主なもの	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
税務手数料	1,956,400	13,500	1,942,900	1,873,400
戸籍住民手数料	10,658,850	△79,850	10,738,700	11,171,700
犬の登録手数料	1,013,230	△35,070	1,048,300	1,023,530
道路橋りょう手数料	58,500	14,100	44,400	36,600
都市計画手数料	2,181,230	421,960	1,759,270	113,500

14款 国庫支出金

決算書 P21

4年度予算	4年度決算 A	増減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
2,794,878,909	2,336,395,121	△419,634,211	2,756,029,332	5,186,162,800

(単位 円)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
国庫負担金	1,117,709,373	△126,840,274	1,244,549,647	1,016,474,642
国庫補助金	1,206,974,534	△293,151,564	1,500,126,098	4,159,353,114
国庫委託金	11,711,214	357,627	11,353,587	10,335,044
合計	2,336,395,121	△419,634,211	2,756,029,332	5,186,162,800

※繰越分も含む金額です(以下、同じ)。

■国庫負担金

新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金及び公立学校施設整備費国庫負担金の減に伴い、負担金全体で減額となりました。

(単位 円)

主なもの(負担率)	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
障害者自立支援給付費等負担金(1/2)	388,638,324	42,673,582	345,964,742	345,193,065
子どものための教育・保育給付費負担金(1/2)	230,372,840	6,899,106	223,473,734	216,126,873
子育てのための施設等利用給付費交付金(1/2)	69,373,985	△11,708,241	81,082,226	84,754,300
児童手当国庫負担金(37/45, 2/3)	290,513,666	△9,178,999	299,692,665	309,602,330
新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金(10/10)	72,207,000	△89,881,362	162,088,362	-
公立学校施設整備費国庫負担金(1/2)	-	皆減	68,977,000	-

■国庫補助金

新型コロナウイルス感染症に対応した経済対策や物価高騰対策に係る補助金が増額した一方、子育て世帯等臨時特別支援事業給付金給付事業(事務)費補助金の減などにより、補助金全体で減額となりました。

(単位 円)

主なもの(補助率)	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金(10/10)	370,753,000	140,690,000	230,063,000	437,696,000
住民税非課税世帯等臨時特別給付 金事業(事務)費補助金(10/10)	72,886,930	△195,013,070	267,900,000	-
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支 援給付金事業(事務)費補助金(10/10)	143,942,000	皆増	-	-
子ども・子育て支援事業交付金(1/3)	64,019,000	△878,000	64,897,000	59,270,000
子ども・子育て支援施設整備交付金(4/6)	58,119,000	皆増	-	-
子育て世帯等臨時特別支援事業給付金 給付事業(事務)費補助金(10/10)	700,000	△438,747,948	439,447,948	-
保育所等整備交付金(2/3)	119,535,000	皆増	-	-
新型コロナウイルスワクチン接種 体制確保事業費補助金(10/10)	253,641,000	△38,123,000	291,764,000	23,021,000
社会資本整備総合交付金(50/100,55/100)	45,674,300	△88,399,850	134,074,150	41,425,000

■国庫委託金

基礎年金等事務費交付金が増額し、全体で増額となりました。

(単位 円)

主なもの	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
基礎年金等事務費交付金	7,975,622	103,407	7,872,215	7,369,915
協力・連携交付金	3,060,767	342,004	2,718,763	2,349,788

15款 県 支 出 金

決算書 P25

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
836,690,000	802,452,524	55,094,782	747,357,742	798,573,247

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度 B
県 負 担 金	548,467,259	20,782,735	527,684,524	520,875,886
県 補 助 金	178,886,450	31,118,793	147,767,657	207,338,337
県 委 託 金	75,098,815	3,193,254	71,905,561	70,359,024
合 計	802,452,524	55,094,782	747,357,742	798,573,247

■県負担金

障害者自立支援給付費等負担金の増により、全体で増額となりました。

(単位 円)

主なもの(負担率)	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
障害者自立支援給付費等負担金(1/4)	195,705,162	19,188,917	176,516,245	173,674,380
子どものための教育・保育給付費負担金(1/4)	92,974,856	959,298	92,015,558	90,441,182
保険基盤安定負担金(1/4, 3/4)	137,631,210	5,196,365	132,434,845	131,985,694

■県補助金

子ども・子育て支援施設整備交付金の皆増などに伴い、全体で増額となりました。

(単位 円)

主なもの(補助率)	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
埼玉県ふるさと創造資金(1/2)	-	皆減	646,000	25,000,000
重度心身障害者医療費補助金(1/2)	26,895,359	181,536	26,713,823	28,134,082
子ども・子育て支援事業補助金(1/3)	59,302,000	4,693,000	54,609,000	51,056,000
子ども・子育て支援施設整備交付金(1/6)	14,529,000	皆増	-	-
県費単独土地改良事業費補助金(1/3)	6,600,000	3,333,000	3,267,000	5,317,000

■県委託金

参議院議員選挙や県議会議員選挙の実施により、県委託金は増額となりました。

(単位 円)

主なもの	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
個人県民税徴収取扱費	57,561,340	1,128,856	56,432,484	54,914,164
参議院議員選挙委託金	13,592,066	皆増	-	-
衆議院議員総選挙委託金	-	皆減	12,743,627	-
県議会議員選挙委託金	3,287,638	皆増	-	-

16款 財産収入

決算書 P31

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
76,485,000	86,413,319	56,742,433	29,670,886	19,572,103

普通財産売払収入の増により増額しました。

■財産貸付収入

町が所有する普通財産等の貸付にかかる歳入です。

4,742,177 円

■利子及び配当金

町が所有する基金にかかる利子収入です。

842,090 円

■財産売払収入

町が所有する普通財産(土地)及び物品の売払にかかる歳入です。

80,829,052 円

17 款 寄 附 金

決算書 P33

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
22,372,000	22,530,700	△4,368,717	26,899,417	108,542,854

全国の方から、農のあるまちづくり、市民活動支援、にぎわい創出など宮代らしいまちづくりのための寄附金（ふるさと納税）をいただきました。

18 款 繰 入 金

決算書 P33

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
531,730,000	531,724,666	232,694,525	299,030,141	564,871,748

■他会計繰入金

各特別会計における前年度決算剰余金を一般会計へ繰り入れたものです。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
国民健康保険特別会計繰入金	57,379,311	△45,116,330	102,495,641	98,940,632
介護保険特別会計繰入金	44,552,044	△33,926,583	78,478,627	59,726,351
後期高齢者医療特別会計繰入金	3,298,311	△75,337	3,373,648	2,144,765
下水道事業会計繰入金	-	皆減	22,105,225	-

■基金繰入金

当該年度の財源として、基金を取り崩して一般会計へ繰り入れたものです。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
財政調整基金繰入金	398,104,000	369,929,000	28,175,000	298,237,000
宮代まちづくり基金繰入金	23,917,000	△34,083,000	58,000,000	72,956,000
公設宮代福祉医療センター 施設整備基金繰入金	2,700,000	△1,000,000	3,700,000	3,600,000
育 英 基 金	1,774,000	359,000	1,415,000	1,327,000
公共施設整備基金繰入金	-	皆減	1,287,000	27,940,000

19 款 繰 越 金

決算書 P35

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
1,203,687,048	1,203,687,610	593,256,898	610,430,712	549,577,389

■前年度繰越金

1,020,490,562 円

令和3年度決算剰余金として、令和4年度へ繰り越されたものです。

■繰越明許費繰越金

173,504,115 円

令和3年度中に完了しなかった事業の財源の一部として、令和4年度へ繰り越したものです。

〈繰越事業〉

防災活動事業、戸籍住民基本台帳管理事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業、学童保育所運営事業、児童福祉対策事業、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、農業委員会事務事業、商工業振興事業、都市計画道路整備事業、一般住宅耐震対策事業、東武動物公園駅西口周辺整備事業、東武動物公園駅東口周辺整備事業、小学校施設管理事業

■事故繰越繰越金

9,692,933 円

不測の事態により令和3年度中に完了しなかった事業の財源として、令和4年度へ繰り越したものです。

〈繰越事業〉

障害者地域生活支援事業、東武動物公園駅東口周辺整備事業

20 款 諸 収 入 決算書 P35

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
246,531,000	264,993,659	31,235,429	233,758,230	218,362,316

宮代和戸横町地区土地区画整理事業調整池施設移管協力金の増により、全体で増額となりました。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
延滞金、加算金及び過料	4,653,727	△2,692,478	7,346,205	5,637,258
町 預 金 利 子	17,024	6,435	10,589	11,743
受 託 事 業 収 入	22,667,824	△4,684,771	27,352,595	16,946,149
雑 入	237,655,084	38,606,243	199,048,841	195,767,166

21 款 町 債

決算書 P41

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
472,500,000	353,161,000	△190,739,000	543,900,000	714,857,000

町債の現在高は約78億4,033万円となっています。

(単位 円)

借 入 内 容 ・ 条 件		借 入 額
総務債	進修館空調設備改修事業	45,600,000
	借入先：地方公共団体金融機構、償還期間：15年（据置2年）、利率：0.3% 交付税措置：元利償還金の約30%（地域活性化事業債）	

	庁舎空調設備改修事業 借入先：地方公共団体金融機構、償還期間：15年（据置2年）、利率：0.3% 交付税措置：元利償還金の約30%（地域活性化事業債）	59,400,000
土 木 費	道路舗装修繕事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.425% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	3,800,000
	都市計画道路整備事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.425% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	14,400,000
	【R3繰越明許】都市計画道路整備事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.425% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	7,300,000
	橋りょう維持管理事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.425% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	8,500,000
	東武動物公園駅東口整備事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.425% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	2,500,000
教 育 債	小学校非構造部材改修事業 借入先：財務省、償還期間：10年（据置2年）、利率：0.4% 交付税措置：元利償還金の約50%（防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債） 借入先：埼玉りそな銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.377% 交付税措置：元利償還金の約70%（緊急防災・減災事業債）	18,900,000
	小学校施設改修事業 借入先：地方公共団体金融機構、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.2% 交付税措置：元利償還金の約30%（防災対策事業債）	1,900,000
	中学校非構造部材改修事業 借入先：財務省、償還期間：10年（据置2年）、利率：0.4% 交付税措置：元利償還金の約50%（防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債） 借入先：埼玉りそな銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.377% 交付税措置：元利償還金の約70%（緊急防災・減災事業債）	25,700,000
	中学校施設改修事業 借入先：埼玉りそな銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.377% 交付税措置：元利償還金の約30%（学校教育施設等整備事業債）	18,500,000
そ の 他	臨時財政対策債（地方交付税の補てん措置としての地方債） 借入先：財務省、償還期間：20年（据置3年）、利率：0.6% 交付税措置：元利償還金の100%	146,661,000

※交付税措置とは、地方債の種類に応じて、元利償還金相当額の一定割合が後年度の地方交付税基準財政需要額に算入されるというものです。

（単位 円）

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
臨時財政対策債	146,661,000	△231,639,000	378,300,000	377,357,000

22款 自動車取得税交付金

決算書 P43

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
0	234,856	229,909	4,947	0

自動車取得税交付金は令和元年度に廃止となっておりますが、令和4年度中に過年度分の追加交付がありました。

第5次宮代町総合計画 前期実行計画

宮代町が10年間のまちづくりの目標として掲げている「首都圏でいちばん人が輝く町」を実現するために、計画期間を5年ごとの前期と後期に分け、令和3年度から令和7年度に取り組む事業を前期実行計画としてまとめています。

これらの事業については半年ごとに市民の皆様はその進捗状況をお知らせします。なお、予算執行のあった事業についてはその執行額を掲載しています。

■令和4年度 前期実行計画

		令和4年度 進捗状況
西原自然の森活用事業(里山体験事業編)	27	完了
西原自然の森活用事業(移築民家活用編)	29	一部未完了
新しい村魅力アップ事業	31	完了
集落で支えあう営農事業	33	完了
宮代農業人材育成事業	35	完了
東武動物公園駅西口わくわくロード事業	37	完了
まちなかどこでもミュージアム事業	38	完了
みやしろズームアッププロジェクト	39	完了
遊休資源活用プロデュース事業	41	完了
岸辺遊歩道整備事業	42	完了
地域のオリジナルパークをつくろう!	43	一部未完了
宮代型デマンド交通事業	44	完了
広域道路ネットワークの整備	46	一部未完了
東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	47	一部未完了
和戸駅周辺活性化事業	48	一部未完了
姫宮駅西側周辺活性化事業	49	完了
地域の力となる地区コミュニティセンター事業	50	一部未完了
小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業	51	完了
身近な場所で子育てサロン事業	52	完了
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業①	53	完了
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	54	完了
進修館オープンカレッジ	55	完了
おかえりなさい!地域デビュー事業	56	完了
西原自然の森活用事業(新たな福祉の拠点づくり編)	58	完了
若い世代の健康づくり促進事業	60	完了
人権・平和推進事業	62	完了
チームみやしろ会議	66	完了
みんなで備える防災力強化促進事業	67	完了

高齢者困りごとサポート隊事業	-----	69	完了
日工大サイエンスプロジェクト	-----	71	完了
公共施設マネジメント計画 2.0	-----	掲載なし	完了
宮代町立小中学校適正配置事業	-----	72	完了

※主要な施策に関する説明書においては、成果目標を達成し、予算措置（執行）のない前期実行計画事業は掲載しておりません。掲載していない事業を含めた全事業の詳しい進捗は町ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。



進捗の詳細

西原自然の森活用事業（里山体験事業編）

【みやしろの魅力推進事業 決算書 P72】

環境資源課
環境推進担当
内線 293

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
840,000	716,721	0	0	0	0	716,721

◎ 令和4年度の事業実績（成果）

市民協力者や関係他課等との協働・連携により、「西原自然の森サマーフェスタ(7月30日)」・「西原自然の森フェスタ2022(12月3日・4日)」を開催し、自然観察や竹を活用したイベント(竹の伐採体験、竹灯ろう制作、音魂会、チクタク竹林あそび、西原ナチュラルマルシェ)を行いました。(参加者約460名)。併せて、さらなる協力者や参加者の拡大につながるよう、広報紙、町ホームページで事前・事後の情報発信を行いました。

<実施内容>

■協力者確保

各種イベント開催を通じて、個人や団体など、総勢4組10名以上の協力者と関係性を築くことができました。

■イベント実施

市民協力者や関係他課等との協働・連携により、「西原自然の森サマーフェスタ(7月30日)」、「西原自然の森フェスタ2022(12月3日・4日)」を開催しました。

環境資源課では、自然観察や竹を活用したイベント(竹の伐採体験、竹灯ろう制作、竹クラフト体験、音魂会、チクタク竹林あそび、西原ナチュラルマルシェ)を行いました(参加者約460名)。

■環境整備・管理

西原自然の森の活用に必要な道具をそろえるとともに、来年度以降の取組を踏まえて必要となる備品等の検討を行いました。

★前期実行計画の趣旨とその工程

山崎山で市民団体とともに培った、事業や活動のノウハウと経験を活かし、西原自然の森においても、自然の魅力や大切さを知る体験事業や保全事業を市民とともに実施します。これにより、町の自然を守り育て、その魅力を発信する人材を生み出します。

[移築民家活用編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
コンセプト作り	環境資源課 ボランティア等					
協力者確保	環境資源課					
イベント実施	環境資源課 ボランティア等					
環境整備・管理	環境資源課 ボランティア等					
情報発信	環境資源課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新規ボランティアスタッフの確保 10人以上

里山体験イベントの実施 年3回以上、参加者100人以上

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）

【資料館管理運営事業】

教育推進課
文化財保護担当
TEL 34-8882

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
50,000	0	0	0	0	0	0

◎ 令和4年度の事業実績（成果）

西原自然の森の魅力を高めるため、町指定文化財である「旧加藤家」「旧齋藤家」を活用したイベントとして、他課との共催で「西原自然の森サマーフェスタ」を開催しました。

また、同じく他課との共催で「西原自然の森フェスタ2022」を開催しました。

両方のイベントを通じて、指定文化財である移築民家などの活用の際に、マニュアル作りの基となる問題点の洗い出しについて一歩進めることができました。

<実施内容>

■西原自然の森サマーフェスタ

実施日：7月30日（土）

▼スタンプラリー「ニシハラを探検せよ！」

郷土資料館を中心として、西原自然の森全体を楽しんでもらうため、小学生を対象にしたスタンプラリーを行いました。

参加者数：42人

▼昔のノートを作ってみよう！

昔の暮らしぶりを体験する講座として、「和とじノートづくり」を行いました。

参加者数：6人

▼古民家を味わう～蓄音機のしらべ in 旧加藤家～

町指定文化財「旧加藤家住宅」座敷を会場に、蓄音機でSPレコード鑑賞を行いました。

参加者数：2人

■西原自然の森フェスタ2022

実施日：12月3、4日

▼古民家音楽会 実施日：12月3日（土）

指定文化財「旧加藤家住宅」座敷を舞台に、オカリナ・ハーモニカ・軽音楽の各グループによる演奏会を行いました。来場者数：60人

▼放課後駄菓子屋 実施日：12月4日（日）

指定文化財「旧齋藤家住宅」大戸入り口付近で、昭和20～30年代をイメージした駄菓子屋を開店しました。来店者数：73人

▼西原自然の森サマーフェスタ



▼西原自然の森フェスタ2022



★前期実行計画の趣旨とその工程

福祉拠点として再整備される旧ふれ愛センターとともに西原自然の森の魅力を高めるため、「旧加藤家住宅」「旧齋藤家住宅」「旧進修館」を古い建物の特性を生かした美術作品の展示や音楽活動などの文化活動や体験講座、地域活動ができる場所とします。

[里山体験事業編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
モデル事業の実施	教育推進課					
仕組みづくりと運用準備	教育推進課					
活用支援	教育推進課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たな仕組みに基づく新規事業 年3回以上

新しい村魅力アップ事業

【新しい村管理運営事業 決算書 P144】

産業観光課
農業振興担当
内線 266

4 年度予算 (円)	4 年度決算 (円)	4 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
45,037,000	44,457,584	0	0	0	3,000,800	41,456,784

◎ 令和 4 年度の事業実績 (成果)

皆さんに愛される新しい村であり続け、次の未来に向けてより魅力を高めていくための計画として、「新しい村魅力アッププラン」をとりまとめました。このプランをとりまとめるにあたり、ワークショップやヒアリング、アンケート調査などを通じて伺った皆さんのご意見を踏まえつつ、公募委員や町内の農家、事業者などからなる検討委員会で議論を重ね、具体的なアクションやPRのためのアイデアを数多くいただき取り込むことができました。

<実施内容>

■新しい村魅力アッププランの策定

新しい村の魅力を最大限発揮し、関係する主体が一丸となって「農」のあるまちづくりを進化させながら次の20年間に継承していくため、市民参加による検討を経て「新しい村魅力アッププラン」を策定しました。

- ・無作為抽出により選出した市民と新しい村森の市場結生産者等によるワークショップ「新しい村に必要な機能を考えよう」（参加者24名）を開催しました。
- ・新しい村魅力アッププラン検討委員会を開催し、市民参加で魅力アップ方針や導入機能、PR戦略についての検討を行いました。
- ・魅力アッププラン（案）に対するパブリックコメントを行い、プランを策定しました。

■指定管理者による事業及び管理運営

指定管理者による各施設の管理運営及び事業運営を行いました。

- ・指定管理者 株式会社新しい村
- ・指定期間 令和2年4月1日～令和5年3月31日

★ 前期実行計画の目標とその工程

「新しい村」を整備してから約20年。直売施設の増加やインターネット販売の普及など取り巻く状況も大きく変わりました。着地型観光という視点も含めて、調査・分析を行い、「新しい村」の魅力を高める計画を策定し、「新しい村」をより魅力的な空間へと変えていきます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
新しい村の現状分析・課題整理	産業観光課 新しい村					
持続可能な経営モデルの調査研究	産業観光課					
新しい村周辺農地の地権者意向調査	産業観光課					
新しい村魅力アッププランの策定	産業観光課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新しい村魅力アッププランの策定

集落で支えあう営農事業

【農業生産基盤整備推進事業 決算書 P148】

産業観光課
農地調整担当
内線 267

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
28,932,000	26,621,273	0	7,616,775	0	0	19,004,498

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

宮東・中島地区圃場整備事業において、令和4年4月に開催した地権者説明会を経て、5月に仮同意の徴集を行いました。併せて、宮東・中島地区における基礎調査を実施し、圃場整備基本計画を策定しました。

<実施内容>

■宮東・中島地区圃場整備事業(準備委員会の開催及び圃場整備基本計画の策定)

令和4年4月と令和5年3月に地権者説明会(それぞれ各2回)を開催し、本事業の概要について説明しました。

準備委員会では仮同意の結果をもとに農地集積計画について調整を行い、担い手農家とのヒアリング等を実施して宮東・中島地区圃場整備事業における10アール当たりの費用対効果を算出しました。また、畦畔の撤去による区画拡大や道路及び用排水路などの、圃場整備計画の諸元を検討し、圃場整備基本計画を策定しました。

■農業用排水路の改修工事

県補助事業を活用し、字道仏地内の用排水路(総延長239m)を、土水路からコンクリートフリーム(B500×H500、B400×H400)への改修工事を実施しました。

▼整備前



▼整備後



■小規模農地基盤整備事業の推進

農業者自らが実施する営農環境の改善への取組を支援するため、補助事業の活用を呼びかけた結果、4年度は9件の申請があり、補助金を交付しました。

- ・水田区画拡大事業(コンクリート畦畔除去を伴うもの) 9件

■多面的機能支払交付金の交付

「多面的機能支払交付金制度」を活用し、共同活動（浚渫・藻刈り・除草等の作業）に取り組む活動組織（4組織）に対して、「宮代町多面的機能支払支援事業補助金」を交付しました。

- *若宮地区陸田管理組合 構成員 28名（農業者・一般住民で構成）
活動内容 農地維持支払交付金
活動区域面積 10.52ha
交付金額 293,500円
- *中地区水田管理組合 構成員 26名（農業者のみで構成）
活動内容 農地維持支払交付金
活動区域面積 15.88ha
交付金額 476,400円
- *内野地区農地管理組合 構成員 21名（農業者のみで構成）
活動内容 農地維持支払交付金
活動区域面積 9.31ha
交付金額 239,200円
- *沖の山地区水田管理組合 構成員 40名（農業者のみで構成）
活動内容 農地維持支払交付金
活動区域面積 12.03ha
交付金額 346,600円

★ 前期実行計画の目標とその工程

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくために、農業生産の効率化・省力化を図るとともに、農地集積化を推進し、農作業環境の向上を図ります。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
現地調査	埼玉県 産業観光課 地権者	→					
事業計画策定及び 地権者同意	埼玉県 産業観光課 地権者		→				
用地測量及び実施 設計	埼玉県 産業観光課			→			
整地工事	埼玉県 産業観光課				→		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

宮東・中島地区における20ha以上の農地集積化と基盤整備(100%)

宮代農業人材育成事業

【明日の農業担い手支援事業 決算書 P146】

産業観光課
農業振興担当
内線 262

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,907,000	8,379,115	0	1,986,000	0	431,470	5,961,645

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

農業担い手塾において、研修期間の満了に伴う8期生(1名)の研修修了審査を行い、令和4年10月から独立営農を開始しました。

また、「明日の農業担い手支援対策事業補助金」の活用を促進し、担い手農家による農作業の効率化・省力化や農作物の安定生産・高品質化に必要な農業投資への支援を行いました。

<実施内容>

■農業担い手塾での研修生の受入れ及び実践研修の実施

研修期間(3年間)の満了を迎えた8期生が研修修了審査を経て、町農業委員会において新規就農者として認定され、令和4年10月から独立営農を開始しました。

なお、就農希望者から1件の入塾申請があり入塾審査を実施しましたが、受入決定には至りませんでした。

■新規就農里親制度の実施

9期生に対する研修基盤を充実させるため、里親農家をはじめ地域の農家の方の協力の下、新たな農地を研修圃場として確保しました。

■宮代町農業次世代人材投資資金(経営開始型)の交付

経営の不安定な就農後間もない青年就農者に対し、宮代町農業次世代人材投資資金(経営開始型)を交付しました。

交付対象者 1名 交付額 1,500,000円

■農業講座の実施

稲作農家の後継者の方やこれから専業で米づくりを行っていく方で栽培経験の少ない方等を対象に、全3回の「稲作講座」を実施し、9名が受講しました。栽培管理や雑草防除等のポイントを学ぶとともに、受講者全員の圃場を巡回し生育診断を実施しました。

■「農」のあるまちづくり担い手支援対策事業補助金(農業機械及び栽培施設等に関する補助)の交付

補助事業の活用を周知・提案した結果、3件の補助申請があり、補助金を交付しました。

- ①水田利活用担い手支援事業(農業機械) 1件(搭載型シーダーの導入)
- ②水稲育苗生産担い手支援事業(農業機械) 1件(播種機の導入)
- ③園芸・果樹生産担い手支援事業(栽培施設) 1件(梨多目的防災網の整備)

■農商工連携による農業の6次産業化の推進

宮代産農産物等を積極的に取り扱う飲食店や食品加工所等を募集し、「宮代町地産地消推進の店」として、新たに1店舗を認定しました。

東武動物公園駅西口わくわくロード事業

【東武動物公園駅西口周辺整備事業 決算書 P160】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
57,877,000	12,530,094	0	0	0	1,588,000	10,942,094

※令和3年度からの繰越分を含みます。

※令和4年度予算のうち、8,449,200円を令和5年度に繰り越しています。

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

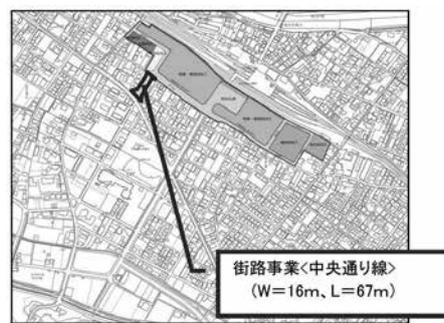
東武動物公園駅西口整備については、県道春日部久喜線と東武動物公園駅西口駅前広場へのアクセス道路となる(都)中央通り線との交差点改良工事に着手しました。

また、市民参加による検討を行い、東武動物公園駅西口周辺まちづくり構想を策定しました。

<実施内容>

■ 県道春日部久喜線と(都)中央通り線との交差点改良工事を進めるとともに駅西口周辺まちづくり構想を策定しました。

委託費	4,873,823円
工事費	7,627,850円
その他、道路用地管理等	28,421円



★ 前期実行計画の目標とその工程

駅から東武動物公園、新しい村までを、町民・観光客・事業者と共にアイデアを出し合いながら、歩いて楽しく、わくわくするような道に整備し、西口エリアの価値を高めます。あわせて、駅西口区画整理エリアの土地利用を促進します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
市民参加によるコンセプトの決定	まちづくり建設課	→					
概略設計・整備エリアの決定	まちづくり建設課		→				
関係機関協議	まちづくり建設課		→				
実施設計	まちづくり建設課			→			
わくわくロード整備工事	まちづくり建設課				→		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

東武動物公園駅西口わくわくロードの完成(100%)

まちなかどこでもミュージアム事業

【社会教育活動事業 決算書 P190】

教育推進課

生涯学習・スポーツ振興担当

内線 433

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,021,000	150,833	0	0	0	0	150,833

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

町内には公共施設をはじめ飲食店等において、毎日のようにそこかしこで作品展や演奏会などが開催されています。それらの情報を可能な限り集約し、広く情報を届けるため町ホームページ内に「みやしるアートインフォメーション」を立ち上げ、イベントの認知度向上に貢献しました。

また、公共施設等で開かれる文化芸術活動を場づくりの面からサポートするため、イスやテーブルなどの貸出実験を行ない、演奏会等でのニーズを把握し、制度構築や運用方法を検討するための確認ができました。

<実施内容>

- ・町内の公共施設や飲食店をはじめ、町外のギャラリー等で開催される町に所縁のあるアーティストによる作品展などの開催情報をSNSなどと組み合わせた積極的な情報発信を展開しました(34件)。
- ・文化芸術活動を場づくりの面からサポートするため、イスやテーブルといった集客や雰囲気演出するための物品について、スキップ広場で開催される演奏会などの場で貸出実験を行いました(4件)。

★前期実行計画の趣旨とその工程

既存施設や飲食店など、気軽に美術作品の展示や小さな演奏会ができるスペースを募集し、まちなかにおける作品展や音楽会の開催を促します。このことで地域の人材を発掘し、地域に人々の集まる新しい場所を生み出します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
飲食店などで行う作品展や演奏会の実施方法の検討	教育推進課					
アーティストと飲食店等のマッチング	教育推進課					
(仮称)アートウィークの開催	教育推進課 参加者					
(仮称)アートウィークの実施方法の検証と見直し	教育推進課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

飲食店等やアーティストが主体となった(仮称)アートウィークの開催 年1回以上

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
680,000	509,262	0	0	0	0	509,262

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

SNSや動画で気軽に情報発信する市民参加「みんなが地域の特派員」制度において14名で活動を実施しました。宮代町インターネット放送局への動画の投稿が26本、広報紙や公式 Twitter への写真記事が43本掲載されました。また、地元の魅力を再発見し発信するために、公式 Twitter 上で写真コンテストを開催するほか、ワークショップや写真展を開催しました。

<実施内容>

■町事業や地域活動の取材

- ・動画 26本(上半期9本、下半期17本)
地産地消レシピ、宮代町民まつり、西原自然の森フェスタ 2022、環境活動動画など
- ・「広報みやしろ」への写真記事 43本 宮代花だより、陽だまりサロンなど
- ・特派員数 14名(令和5年3月末時点)



■特派員情報交換会の開催

特派員の情報交換会(月1回)を実施し、特派員の知識や技術の向上に努めました。また、町民を巻き込んだ「みんなと創る宮代町のオススメ」アンケートを実施(令和5年1月27日~2月4日)。インターネットから60件の回答がありました。



YOUTUBEで動画配信!

特派員情報交換会の様子

■地元の魅力の再発見（#みやしろまちフォトコンテスト・写真展・ワークショップの開催）

公式 Twitter 上で開催した「#みやしろまちフォトコンテスト」の作品を、ミヤシロまーぶるマルシェの開催に合わせ、無印良品東武動物公園駅前の店舗ガラス面に展示しました。また、町の建物や人物、取り組みをデザイン化した缶バッジが入ったカプセルトイ専用機械を各イベント会場に設置しました。

- ・ #みやしろまちフォトコンテスト【春・夏部門（R3.3.1～R4.8.31）延べ 820 点、31 アカウント】



春部門 最優秀作品賞
柔らかい光を浴びて



夏部門 最優秀作品賞
ぼくの夏休み

- ・ 写真展の開催 写真展を彩るイラストを町民と共に描きました。



- ・ カプセルトイ専用機械設置イベント
ミヤシロまーぶるマルシェ（2月26日）
新しい村イベント（3月18日）
321の市（3月19日）
桜市（3月25日）
月一まんまる（3月27日）



カプセルトイ専用機械



缶バッジ

★前期実行計画の趣旨とその工程

町の魅力の情報発信力向上を図るため、地元の魅力を再発見し、掘り下げ、自らの言葉で発信する人材を生み出します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
(仮称)「みんなが地域の特派員」制度の創設	総務課	▶					
みやしろ再発見ワークショップの開催	総務課	▶					
(仮称)「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大	総務課	▶					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域特派員 10人

遊休資源活用プロデュース事業

企画財政課

管財担当

内線 211・212

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

□遊休資源の活用

他課と連携して、庁舎内の遊休スペース活用の実証実験を行いました。

●まちなかどこでもミュージアム事業との連携

階段踊り場を活用し、町内在住アーティストや県内芸術団体の活動についてポスター等を掲示
 税務課前スペースを活用し、町内在住アーティストの作品を展示

●秘書広報担当との連携

子育てひろば側入口のスペースを活用し、宮代町の情報発信に関するアンケートボックスを設置



前期実行計画の趣旨とその工程

官・民を問わず、それぞれが所有する土地や施設などの遊休資源と人・団体等を結びつけ、町の様々な場所での活動の拠点づくりを行います。提案に対する場所の募集と場所に対する提案の募集の2つを柱として行います。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
普通財産カルテの作成	企画財政課	▶				
庁舎の遊休スペース活用計画の作成	企画財政課		▶			
活用事業の実施	企画財政課			▶		
民間施設の活用事例の収集・公表	企画財政課	▶				

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

活用実績 10件

岸辺遊歩道整備事業

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
120,000	0	0	0	0	0	0

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

新型コロナウイルス感染拡大により、地域の要望等の確認を行うことが難しい状況が続いたことから、整備エリアの検討資料として、担当職員により備前堀川や健康マッ歩の現状確認を行い、整備エリア(案)の検討を行いました。

<実施内容>

■市民参加により整備方針の検討

担当職員により整備エリア(案)を検討しました。

■良好な水辺空間の創出の検討

埼玉県、杉戸町及び市民と連携して、古利根川のゴミ拾いや水辺空間活用の状況を確認しました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

備前堀川等において、自治会や地域の関係団体などと共にアイデアを出し合い、地域に親しまれ愛される遊歩道や水辺を整備します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
市民参加による岸辺遊歩道等の整備方針の検討	まちづくり建設課					
備前堀川等の遊歩道整備	まちづくり建設課					
既存遊歩道の整備	まちづくり建設課					
古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討	まちづくり建設課 産業観光課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

公園・遊歩道の整備

令和元年度 43.6% ▶▶▶ 令和7年度 50%

地域のオリジナルパークをつくろう！

まちづくり建設課
都市計画担当
内線 331

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和4年度の事業実績 (成果)

モデル公園として選定した宮代台中央公園と学園台けやき公園において、市民参加の手法を用いたワークショップや社会実験等を開催し、地域が求める公園の再整備について検討しました。

<実施内容>

地区・自治会の課題や地域の人々のライフスタイルに合わせた公園をつくりあげるために、宮代台中央公園については、アンケートと2回のワークショップを、学園台けやき公園については、住民が利用する風景を日常化するために、公園アイデアワークショップと2回の社会実験を実施しました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

身近な街区公園等を一律に“児童公園”として位置付けるのではなく、人々のライフスタイルに合わせて、それぞれが特色のある“場”となるように再整備し、地域の人が集まる憩いの場（青空カフェ、移動販売、健康づくりパークなど）を地域の皆さんとともに作りあげます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
モデル公園検討	まちづくり建設課	▶					
公園整備計画検討・策定	まちづくり建設課		▶				
公園整備	まちづくり建設課			▶			
事業実施	まちづくり建設課				▶		
評価・検証	まちづくり建設課					▶	

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

公園の整備 2箇所

宮代型デマンド交通事業

【高齢者等タクシー助成事業 決算書 P56】

企画財政課
管財担当
内線 211・212

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,890,000	6,233,898	0	0	0	0	6,233,898

◎ 令和4年度の事業実績 (成果)

令和3年度に続き、75歳以上の方等を対象とした「高齢者等タクシー助成制度」の実証実験を行いました。対象者へのアンケート及び2年間の実験結果をもとに、一度に使える補助金額の増額等見直しを行い、令和5年度からの本格運用につなげました。

また、町内循環バスは、運行事業者の選定及び利用者アンケートの結果等を参考に運行ルートの一部追加や見直し、時刻表の改正等を行い、令和5年度からの新たな運行に向けた準備を行いました。

※高齢者等タクシー助成制度は、令和5年度から健康介護課へ事務を移管しました。

<実施内容>

■高齢者等タクシー助成

- ・登録者数 2,053名
- ・利用枚数 14,236枚
- ・利用目的 買い物9%：通院38%：その他53%
- ・利用者アンケート (令和4年12月8日～12月26日)

75歳以上の方の移動を支援します!



- 対象者：①助成券利用者 (約1,800名)のうち無作為抽出による500名
②75歳以上の町民のうち無作為抽出による500名

回答率等：576件 (57.6%)

- ①助成券利用者 322件 (64.4%)
- ②無作為抽出 254件 (50.8%)

■町内循環バスの運行内容の見直し

- ・宮代町地域公共交通会議
第1回 令和4年 7月15日 (金)
第2回 令和4年11月24日 (木)

★前期実行計画の趣旨とその工程

循環バスのルートでないエリアや身体的な理由で循環バスが利用できない方の交通需要に対応するため、宮代町の地勢や特性に合ったデマンド交通を導入します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
タクシー助成制度の実証実験の実施	企画財政課					
実証実験を踏まえた効果と課題の検証	企画財政課					
循環バスの次期契約に向けた運行内容の見直し	企画財政課					
タクシー助成制度の本格実施、次期循環バスの運行	企画財政課 健康介護課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

高齢者が外出を控えている理由「交通手段がない」 10%以下

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 令和元年度 15.8%

広域道路ネットワークの整備

【都市計画道路整備事業 決算書 P156】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

4 年度予算 (円)	4 年度決算 (円)	4 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
183,810,000	125,613,623	24,266,000	0	21,700,000	43,541,000	36,106,623

※令和3年度からの繰越分を含みます。

※令和4年度予算のうち、53,750,000円を令和5年度に繰り越しています。

◎ 令和4年度の事業実績 (成果)

(都)春日部久喜線(町道第12号線)については、支障となる用地の取得を目指し、権利者との交渉を進めました。(都)春日部久喜線(町道第252号線)については、春日部市の進捗状況に合わせて都市計画決定に向けた関係機関協議を進め、都市計画決定を行いました。

<実施内容>

■ (都) 春日部久喜線 (町道第12号線)

用地交渉を進め、令和4年度分の整備工事を進めました。

委託・工事 111,797,265円
補償 13,756,544円
その他、負担金等 59,814円

■ (都) 春日部久喜線 (町道第252号線)

埼玉県・春日部市と調整を行い、都市計画の変更の告示を行いました。

■ (都) 新橋通り線 (町道第148号線)

埼玉県に対して事業実施の要望を行い、県が国から都市計画道路事業の認可を得ました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

利便性の高い近隣市町への広域道路ネットワーク構築のため、都市計画マスタープランに基づく都市計画事業整備計画において優先順位を定め、計画的な整備を進めます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備	まちづくり建設課		用地買収 整備工事			
(都)春日部久喜線(町道第252号線)の整備	まちづくり建設課					
(都)万願寺橋通り線(町道第75号線)の整備(設計)	まちづくり建設課					
(都)新橋通り線(町道第148号線)の整備(設計)	まちづくり建設課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備完了・(町道第252号線)の都市計画決定

東武動物公園駅東口にぎわいロード事業

【東武動物公園駅東口周辺整備事業 決算書 P160】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
95,893,978	41,388,813	663,300	0	2,500,000	27,649,453	10,576,060

※令和3年度の繰越分を含みます。

※令和4年度予算のうち、40,055,815円を令和5年度に繰り越しています。

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

(都)東武動物公園駅東口駅前広場整備(宮代町施行)、(都)東武動物公園駅東口通り線(埼玉県施行)において、埼玉県・杉戸町との連携により、用地交渉及び用地買収を進めました。

<実施内容>

■駅前広場の街路事業については、関係地権者を個別に訪問し、意向を確認しながら用地交渉及び用地買収を進めるとともに、駅前広場の基本設計を作成しました。

用地費 3,722,284円

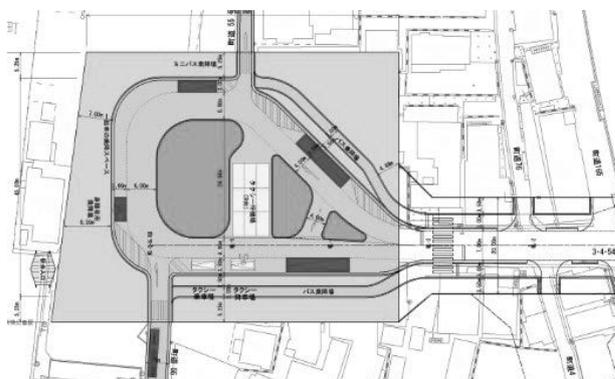
補償費 8,886,196円

委託費 17,972,249円

その他、道路用地管理費 6,101,367円

■東口通り線の街路事業については、埼玉県との協議を進め、県と町との役割分担を明確にし、用地交渉及び用地買収を進めました。

負担金 4,706,717円



★ 前期実行計画の目標とその工程

駅東口の地域の魅力とアクセス性を向上させるため、駅前広場や都市計画道路を一体的に整備し、他自治体と広域的につながるターミナルとしての機能を高めます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
物件調査(単価入替等) ・鑑定評価	まちづくり建設課	■	■	■	■	■
用地交渉	まちづくり建設課	■	■	■	■	■
用地・物件補償	まちづくり建設課	■	■	■	■	■
関係機関協議・実施設計	まちづくり建設課		■	■	■	■
整備工事	まちづくり建設課		■	■	■	■

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

東武動物公園駅東口駅前広場・東口通り線の完成(100%)

和戸駅周辺活性化事業

【都市計画総務事業 決算書 P158】

まちづくり建設課
都市計画担当
内線 341

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,000,000	5,974,100	0	0	0	0	5,974,100

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

埼玉県との協議等を進めつつ、現状のデータを分析し、実現性の高い事業手法について検討しました。また、地元住民や各種企業に土地利用に関する意見聴取をしました。

<実施内容>

■事業化検討調査等

和戸駅周辺区域の地域特性や現状を確認し、実現性の高い事業手法について検討しました。

委託費 5,742,000円

不動産鑑定料 232,100円

★ 前期実行計画の目標とその工程

都市計画道路国納橋通り線や都市計画道路万願寺橋通り線の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
関係機関との調整	まちづくり建設課	→				
土地・権利者調査	まちづくり建設課	→				
事業化検討調査	まちづくり建設課		→			
地元調整・企業意向確認	まちづくり建設課			→		
事業推進調査	まちづくり建設課				→	

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

土地利用・事業手法の決定

事業区域の決定

姫宮駅西側周辺活性化事業

【都市計画総務事業 決算書 P158】

まちづくり建設課
都市計画担当
内線 331

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
165,000	165,000	0	0	0	0	165,000

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

(都)春日部久喜線の延伸に伴い都市計画変更の告示を行いました。

<実施内容>

(都)春日部久喜線都市計画決定告示について、埼玉県、春日部市と調整し、11月11日に都市計画変更の告示を行いました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

北春日部方面への都市計画道路の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
関係機関協議、説明会開催	まちづくり建設課					
都市計画決定手続き	まちづくり建設課					
用地・補償交渉	まちづくり建設課					
都市計画道路整備	まちづくり建設課					
土地利用等検討	まちづくり建設課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

(都)春日部久喜線(町道第252号線)の都市計画決定

地域の力となる地区コミュニティセンター事業

【地域コミュニティ活性化事業】

町民生活課
地域振興担当
内線 281・282

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

地区コミュニティセンター開設に向けた基本的な考え方について、再検討の必要が生じたため、事業開始方法や開設に向けたスケジュールについて再検討を行いました。

再検討の結果、令和6年4月からの開設に向けたスケジュールを改めて設定することとしました。

<実施内容>

■地区コミュニティセンター開設に向けて、機能や役割などの基本的な考え方を庁内会議で確認しましたが、全体的な方向性の再検討が必要となりました。

庁内会議にて、審議検討 2回

■地区コミュニティセンター1か所目の開設場所について学校再編の方向性を踏まえ、モデル地区の選定と開設スケジュールを設定していましたが、再検討が必要となりました。

■令和5年4月からの須賀地区コミュニティセンター開設に向けて実施計画を作成しましたが、再検討する必要が生じたため、改めて実施計画を作成することとなりました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

地域コミュニティや地区・自治会のサポートをする地区担当者を配置します。また、その拠点として、既存施設を活用した地区コミュニティセンターを開設します。そこでは、新たな繋がりが生まれ、地域における自治会活動活性化を図ります。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
具体的な実施計画の作成	町民生活課	▶				
モデル地区の選定と開設スケジュール等の作成	町民生活課	▶				
モデル地区での地区コミュニティセンター開設	町民生活課			▶	▶	▶
モデル地区の運営と次地区の開設準備	町民生活課				▶	
2か所目の地区コミュニティセンター開設	町民生活課					▶

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地区コミュニティセンターの開設



2か所

小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業

【まちなか起業創業支援事業 決算書 P152】

産業観光課
商工観光担当
内線 265

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,164,000	4,212,700	0	0	0	1,043,000	3,169,700

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

宮代町での起業を促進するため、月3万円ビジネス講座や創業セミナー等の起業志望者を支援する講座を開催しました。また、起業に関心を持つ方の総量の底上げ、地域における未来の起業家の育成という視点から、「働き方」を考えるきっかけの一つとして、中学生向けに事業者の話を聞く会を実施しました。

□起業創業支援講座の実施	2,116,000円
「わたしたちの月3万円ビジネス講座」	2,086,000円
期間：令和4年12月～令和5年3月の全6回	参加者：12人
販路開拓・商品開発・改良のきっかけづくりセミナー	30,000円
期日：令和5年3月29日	参加者：7人
□起業創業準備支援	533,000円
起業創業支援補助金	3件 533,000円
□事業者の話を聞く会の実施	60,000円
各中学校において町内事業者を講師に招き開催	60,000円

★前期実行計画の趣旨とその工程

宮代町での起業を促進するため、空き店舗や公共施設の空きスペース等をチャレンジショップとして、起業志望者に提供する仕組みづくりを行います。また、複数店が連続して空き店舗となったエリアについては、貸主などと連携して、特色のあるエリアの形成を促します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
起業創業支援講座の開催	産業観光課		月3万円ビジネス講座			
				創業セミナー		
チャレンジショップの开店準備	産業観光課					
チャレンジショップの運営	民間 産業観光課 商工会					
起業創業準備支援	産業観光課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

町の支援策を利用した起業家 15人以上

身近な場所で子育てサロン事業

【みんなで子育て！こども未来事業 決算書 P108】

子育て支援課
こども笑顔担当
内線 324

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,527,000	4,142,610	864,000	864,000	0	500,000	1,914,610

◎ 令和4年度の事業実績（成果）

地域子育てサロンのモデル事業を実施し、子育て中の親子同士の交流と地域とのふれあいができる環境づくりに努めました。また、自主的な子育てサロン開設のための支援策として、備品等の貸出及びボランティア派遣の支援を行いました。

<実施内容>

■地域子育てサロンのモデル事業の実施

企画委員、店舗、子育て応援隊登録者による自主的な地域子育てサロンを実施しました。



■サロンの開設や運営のための支援策の検討

子育て応援隊登録者から提出された自主的なサロン開催の企画書に基づき、備品等の貸出及び保育ボランティア派遣の支援を行いました。また、サロンを開催する中で、必要な備品や支援を企画者に確認し、支援策を検討しました。

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

子育て中の方が孤立しないように、身近な飲食店や集会所等で地域の皆さんが実施する地域子育てサロンの開設・運営をサポートします。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
地域子育てサロンのモデル事業の実施	子育て支援課					
サロンの開設や運営のための支援策の検討	子育て支援課					
地域主体の子育てサロンの運営開始	子育て支援課					
子育て情報サイトのリニューアル	子育て支援課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域主体の「子育てサロンの運営 3か所以上

地域みんなで子どもたちの居場所づくり事業①

【みんなで子育て！こども未来事業 決算書 P108】

子育て支援課
こども笑顔担当
内線 324

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,527,000	4,142,610	864,000	864,000	0	500,000	1,914,610

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

子どもの居場所づくり活動の担い手の発掘、支援策の検討のため、地域の様々な団体と連携したモデル事業を実施し、活動に対する支援を行いました。また、子どもの居場所づくり活動を広げるためのフォーラムを開催し、新たなモデル事業を実施しました。

<実施内容>

■子どもの居場所づくり活動の支援策の検討、実施

地域の様々な団体と連携したモデル事業を実施し、支援策を検討しました。支援策のモデルとして、大学生ボランティアの派遣、おもちゃの貸出、食材の提供を行いました。

■子どもの居場所づくり活動を広げるフォーラム、体験事業の実施

子どもの居場所づくり活動の新たな担い手の発掘を行うため、埼玉県の講師派遣制度を活用したセミナーと子どもの居場所体験イベントを開催し、新たなモデル事業の実施につなげました。

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の間を整備し、心やすらぐ居場所や学びの機会を提供します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
子どもの居場所づくりについて調査研究	子育て支援課 教育推進課	▶				
子どもの居場所づくりイベントの開催	子育て支援課	▶				
子どもの居場所づくり活動の支援策の検討	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等	▶	▶			
子どもの居場所づくり活動を広げるフォーラム、体験事業の実施	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等		▶			
居場所づくり活動のネットワークの構築	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等			▶		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

子どもの居場所づくり活動 3か所以上

子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築

地域のみんでこどもたちの居場所づくり事業②

【教育支援センター運営事業 決算書 P172】

学校教育担当
教育総務担当
内線 423

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,204,000	3,145,782	0	0	0	0	3,145,782

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

様々な事情で学校に通えていない又は通いにくい町内の児童生徒の居場所の一つとして、生活面や学習面の支援を行う「適応指導教室」、児童生徒及び保護者の教育上の悩みや進路など教育全般について、教育相談員や臨床心理士に気軽に相談できる「教育相談」の二つの機能を持った施設として、宮代町教育支援センター「みらい」を開設しました。

<実施内容>

■ 適応指導教室

- ・開室時間 9時～15時(平日のみ)
- ・令和4年度利用状況 プレ通級17名、本通級16名 ※学校復帰2名

■ 教育相談

- ・実施時間 9時～16時30分
- ・令和4年度相談件数 184件

■ その他

- ・教育相談機能の充実と適応指導教室運営体制の強化のため、次年度から新たに専門相談支援員を1名配置できるよう募集・採用の実施
- ・学校に行きにくい、学校生活になじめない等何らかの支援が必要な子供たちの支援を行う市民活動団体に対し、次年度から施設休所日に2階会議室等の貸出を行うためのルール作りと説明会の実施

★ 前期実行計画の目標とその工程

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の場を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
地域・学校の実態把握及び教育支援センター(適応指導教室)の在り方の検討	教育推進課	■				
子育て支援課及び福祉課との連携体制の構築(調査研究・ネットワーク構築)	子育て支援課 教育推進課 福祉課	■				
必要な施設改修・設備・備品等の整備及び人材の確保	教育推進課	■				
包括的な支援体制の構築及び拡充の検討	教育推進課		■	■	■	■
教育支援センター(適応指導教室)設置条例の制定	教育推進課	■				
教育支援センター(適応指導教室)の開設及び運用	教育推進課		■	■	■	■

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

常設の教育支援センター(適応指導教室)の設置

進修館オープンカレッジ

【進修館管理事業】

町民生活課
地域振興担当
内線 281・282

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

進修館オープンカレッジモデル事業を踏まえ、指定管理者とともに実施方法を検討する調整会議を開催しました。

前年度に引き続きモデル事業の実施と新たなテーマとして、「進修館の修繕について考えよう」と「キャンドルナイト in 進修館 2022」を実施しました。

<実施内容>

■進修館オープンカレッジ「進修館の修繕について考えよう」の開催に向けて、指定管理者と町とで日程調整や開催方法などを検討し、ワークショップ形式で実施しました。

指定管理者との調整会議 3回

全6回の開催、参加者延べ107名

■進修館オープンカレッジ「キャンドルナイト in 進修館 2022」では、参加者が企画の段階から参画するなど新たな繋がりが生まれました。

指定管理者との調整会議 2回

全5回の開催、参加者延べ72名

★ 前期実行計画の目標とその工程

地域づくりを担う人材やグループを生み出すため、様々な世代が定例的に集まり、地域の課題ややりたいことなどを語り合う場を設けます。様々な学び合いや実験的な取り組みを生み出し、参加者同士が触発される場とします。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
実施方法の検討	町民生活課 進修館	▶				
モデル事業の実施	町民生活課 進修館	▶				
運用の開始、随時見直しの実施	町民生活課 進修館					▶

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たなグループ



10団体

おかえりなさい！地域デビュー事業

【介護保険特別会計 生活支援体制整備事業 決算書 P278】

健康介護課
高齢者支援担当
内線 383

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
400,000	400,000	148,000	73,600	0	178,400	0

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

令和4年12月開催の西原自然の森フェスタ2022 期間中に縁じょい交流会「新しいことに挑戦してみませんか」を行いました。また、令和5年3月にシニアはじめて講座「足元からの健康法 心の栄養になる話」を開催しました。講座や交流会、団体への呼びかけを通し、新たに22名の方が縁じょいライフ事業に登録されました。これをきっかけとして、地域活動への関心を高め、自ら活動を始める一歩としていきます。いまだに、登録者は70代80代が約8割を占めているため、今後も若い世代(40～60代)の登録者を増やせるような取組を推進します。

<実施内容>

■縁じょい通信の発行

地域活動に関心を持っていただくきっかけとして、縁じょい通信を年3回(6月、10月、2月)発行しました。

地域で活躍するボランティアの方の紹介、地域のイベント紹介、YouTube を使った動画配信、縁じょい交流会の活動報告等を掲載しました。



■縁じょい交流会の開催

12月の西原自然の森フェスタ2022 期間中に縁じょい交流会「新しいことに挑戦してみませんか」を開催しました。約35人の方にご参加いただきました。



■シニアはじめて講座の開催

3月に福祉交流館すてっぷ宮代にて、日常生活に役立つ連続講座であるシニアはじめて講座「足元からの健康法 心の栄養になる話」を開催しました。約30人の方が参加し、「普段聞けない話が聞けて良かった」などの感想をいただきました。



★ 前期実行計画の目標とその工程

定年を迎えた世代が今までつながりが希薄であった地域で生き生きと活躍するため、地域デビューのきっかけづくりとなるイベントやワークショップなどを開催します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
シニアはじめて講座の開催	健康介護課 社協					
縁じょい通信の発行	健康介護課 社協					
縁じょい交流会の開催	健康介護課 社協					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域活動を始めた人 100人

西原自然の森活用事業（新たな福祉の拠点づくり編）

【社会福祉事業 決算書 P90】

福祉課
福祉支援担当
内線 328

4 年度予算 (円)	4 年度決算 (円)	4 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
500,000	500,000	0	0	0	0	500,000

◎ 令和 4 年度の事業実績（成果）

宮代町社会福祉協議会と連携し、新たな福祉の拠点づくりとして、地域福祉における社会課題に対応したセミナーやイベントを開催し、地域の見守り体制の充実を図りました。また、福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくりに向けたイベント等を実施しました。

<実施内容>

■社会課題に対応したセミナーやイベントを開催

●みまもりの「わ」事業

地域で誰もが安心した生活が送れるよう、さりげない見守りをしてくれる見守りサポーターを募集し、地域のゆるやかな見守りを行い、町や社協へつなぐ見守りサポーターを確保しました。

【個人登録】みまもりさん100人 【団体登録】20団体(426人) 【協力店】28店舗

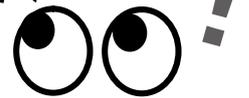
●フードドライブボランティア

寄付等で集まった食品の仕分けや配布を行うボランティアの養成講座を行い、活動をしました。

フードドライブボランティア 19人



普段の生活の中で
「あれ？」と感じたら
連絡していただくだけで OK!



▼みまもりの「わ」事業
(協力店ステッカー・みまもりさんサコッシュ)

▼フードドライブボランティアとは？



■福祉団体同士が連携をするきっかけとなるプラットフォームづくり

- 「西原自然の森サマーフェスタ 2022」（7月）「西原自然の森フェスタ 2022」（12月）
福祉・学び・環境をテーマに、様々な地域団体が連携して西原自然の森でイベントを開催しました。
【参加者】（夏）409人 （冬）584人
【内容】（夏）はじめての福祉体験、福祉団体によるミニマルシェ、一芸ボランティアのミニコンサートなど
（冬）ころをつなぐ展示会、認知（笑）川柳、ハナレンジャーを探せ、さをり織り体験、フードドライブふれあい友の会（ひとり暮らしの高齢者）交流会、ユニバーサル野球、囲碁体験、貝工芸など
- すてっぷ宮代活動チーム交流会
「つながる力 つなげる幸せ」をテーマに、すてっぷ宮代活動チーム登録団体を対象として交流会を開催しました。（3月）
【参加団体】35団体 57人
【すてっぷ宮代活動チームとは】町内で活動する様々なボランティアや団体、自治会、法人などそれぞれの団体が活動の枠組みを超え交流・PRできる登録制度



★ 前期実行計画の趣旨とその工程

社会福祉協議会と連携して、今日的な社会問題に対応したセミナーやイベントを開催し、ボランティアの裾野を広げます。ワークショップや交流会など、福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくりも支援します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
社会課題に対応したセミナーやイベントを開催	福祉課 社会福祉協議会					
福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり	福祉課 社会福祉協議会					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

ボランティアの育成 50人以上 福祉推進員の確保 30人以上
福祉団体の連絡ネットワークの発足

若い世代の健康づくり促進事業

【健康教育事業 決算書 P128】

健康介護課
健康増進担当
Tel.32-1122

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,071,000	514,662	0	0	0	0	514,662

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

令和3年度に実施した若い世代(20代~40代)を対象としたアンケート調査結果に基づき、様々なライフスタイルを考慮した健康づくり事業に取り組みました。

オンラインや休日開催による運動事業、また、コンテスト形式を用いた市民参加型の食生活改善事業を実施し、より多くの方に健康づくりの関心を高めていただく機会としました。

<実施内容>

■「健幸レシピフォトコンテスト」の開催

6月3日~7月8日に「健幸(けんこう)」をテーマとした料理写真を募集し、83点の応募がありました。受賞した8点について、9月に広報紙等で公表し、作品を通じて食の普及・啓発を行いました。



最優秀賞『Colorful Healthy Dinner』

■「お家でFit! 運動オンデマンドレッスン」の実施

7月~10月に23本のレッスン動画を提供し、在宅での運動による健康づくりを促しました。157人(うち20代~40代は109人)が受講し、動画の総視聴回数は965回でした。受講中、月に2度、メール配信を行い継続的な取り組みをサポートしました。

■「親子でエンジョイウォーキング」の開催

10月1日(土)にぐるる宮代にて、小学生とその保護者を対象にウォーキング教室を開催しました。9組の親子が受講し、働き世代の運動習慣の形成を促しました。



■ホームページ記事「こどもクッキング」の掲載

アンケート調査にて、食事の悩み・困りごとに挙げられていた「メニューのマンネリ化」や「栄養バランス」の支援として、親子向けのレシピをホームページで公開し、家庭での献立作成をサポートしました。

■「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取り組み

・アプリ登録促進チラシを配布

9月に町内保育園・小学校・中学校を通じて保護者宛てに配布(約3,000枚)、12月に世帯配布(約1万枚)。

・10月18日~11月10日にウォーキング啓発イベント「健康ワードラリー」を開催。キーワード応募者は471人(うち20代~40代は118人)。

・1月に新規アプリ登録キャンペーンを実施

これらの取り組みにより、679人(うち20代~40代は282人)が健康マイレージ事業に新規に登録しました。

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

生涯を通じて健康で活気ある日々を過ごすためには、若いうちから健康に対する意識をもつことが大切です。若い世代（20代～40代）の健康への関心を高めるため、オンラインによる教室や相談などライフスタイルに合わせアプローチします。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
オンライン相談事業の実施	健康介護課					
若い世代の健康に関する情報収集	健康介護課					
新規健康づくり事業の実施方法及び「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取組内容の検討	健康介護課					
検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施	健康介護課					
アンケート調査による評価・検証	健康介護課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

20代～40代で健康づくりに取り組んでいる人の割合 令和3年度アンケート調査から10%増

人権・平和推進事業

【人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、教職員研修奨励事業、小学校管理運営事業、人権教育推進事業 決算書 P54、66、174、176、190】

人権推進室 内線 210
学校教育担当 内線 423
生涯学習室 内線 431

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,154,857	3,538,972	37,000	0	0	0	3,501,972

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業としてヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を開催し平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を充分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民参加を軸に普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

また、宮代町人権施策推進指針の理念に基づき、人権を当たり前の習慣・文化として町民が人権を尊重し合う社会の実現のため、宮代町パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を開始しました。

<実施内容>

■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。また、各小中学校においても、人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

- ①教職員人権教育研修会 8月19日 宮代町立図書館ホール
- ②人権作文発表会と人権教育研修会 12月2日 百間小学校体育館
- ③人権問題合同研修会 2月2日 宮代町立図書館ホール
テーマ：「差別の現実から学ぶ」
講師：水島輝彦氏(埼玉人権施策推進協議会理事)

■町民相談の実施

町民の身近な相談窓口として、町民相談員による町民相談を実施しました。

実施日：毎月第2月曜日 場所：役場会議室

年間相談件数：6件

■町民法律相談の実施

町民の日常生活における様々な悩み事の法的な解釈や手続き等について、毎月第2・4火曜日に弁護士による法律相談を実施しました。

実施日：毎月第2・第4火曜日 場所：役場会議室

年間相談件数：81件

■人権推進対策事業

町民一人ひとりの人権意識を高め、あらゆる差別や偏見の解消を図るため、研修会・啓発活動を実施しました。

特に、埼玉12市町の連携・協議のもと、10月6日に久喜総合文化会館で開催した「埼玉人権を考えるつどい」では、コロナ禍ではありましたが感染予防対策を徹底しつつ、多くの方々にご参加いただきました。

■人権出前講座の実施

人権教育の普及・啓発を目的とし、差別のない明るいまちづくりについて学ぶ「みんなで語ろう身近な人権」を出前講座「まちしるベェ」のメニューとしました。

■第3次男女共同参画プランの推進

平成27年に策定した「第2次男女共同参画プラン」による取組を踏まえ、これまでの施策の成果を継承しつつ、新たな課題を解決するための施策や関連する法律、社会状況等に沿った施策を総合的かつ計画的に推進するため「第3次男女共同参画プラン」を策定しました。

このプランに基づき、男女共同参画に関する研修や啓発を順次進めて参ります。



■男女共同参画社会推進会議の運営(4回開催)

5人の市民メンバーで男女共同参画セミナーの企画・実施及び情報誌の作成を行いました。

■男女共同参画情報誌「ふらふーぷ」の発行

男女共同参画社会の実現のため、推進会議のメンバーが様々な視点からテーマを決め、編集発行しました。

また、広報みやしろ12月号の特別付録として広報紙に折り込み各世帯へ配布しました。

■男女共同参画職員研修の実施

テーマ：男女共同参画基礎講座

講師：黒須さち子氏 埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)

実施日：令和5年2月10日(金) 14時～15時30分

参加者：32人

■男女共同参画セミナーの実施

テーマ：「コミュニケーション力をUP アサーション」

講師：山崎礼子氏

(カウンセラー アサーションインストラクター)

実施日：令和5年2月12日(日)

参加者：24人



■女性相談の実施

女性が生活の中で直面している様々な悩みを打ち明けられる場として、女性相談員による相談を実施しました。

実 施 日：毎月第3月曜日、年2回休日相談
場 所：役場庁舎2階相談室
年間相談件数：31件

■男女共同参画パネル展の開催

- ・男女共同参画週間パネル展

テ ー マ：「多様な性 知っていますか？」

開催期間：令和4年6月23日（木）～29日（水）

- ・女性に対する暴力をなくす運動実施週間のパネル展

テ ー マ：「性犯罪・性暴力をなくそう」

開催期間：令和4年11月11日（金）～25日（金）

- ・「知っていますか？デートDV」「パープルリボンタペストリー」パネル展

開催期間：令和5年1月12日（木）～18日（水）

■一時保育の実施

子育て世代の方々が町審議会や催し等に参加しやすい環境整備のため、宮代町市民参加条例に基づき、一時保育を実施しました。

年間実施回数：21回

■性的少数者（LGBT等）に対する取り組み

- ①パートナーシップ・ファミリーシップの届出制度開始

一人ひとりが互いに人権を尊重し、真に豊かで安心して暮らせる社会の実現のため、性自認や性的指向に係る性的少数者の自由な意思を尊重するパートナーシップ・ファミリーシップの届出に関し、必要な事項を定めました。

- ②職員対象人権・男女共同参画研修の実施

テ ー マ：性の多様性／LGBTについて

講 師：小泉涼氏（ダイバーシティ信州会長）

実 施 日：令和5年1月13日（金）14時～16時

参 加 者：14人

■平和啓発事業の実施

平和の大切さの啓発及び平和教育の一環として行ってきた「朗読劇『私たちと原爆』」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。そのため、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」を開催しました。

開催期間：令和4年7月15日（金）～8月17日（水）

場 所：宮代町立図書館展示ホール



★ 前期実行計画の目標とその工程

互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会を実現するため、人権や平和に関する啓発活動を実施します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
人権尊重意識の啓発事業	総務課 教育推進課					
学校における人権教育	総務課 教育推進課					
生涯学習における人権教育	総務課 教育推進課					
男女共同参画プランの推進	総務課					
性的少数者(LGBT)への理解促進と支援	総務課					
平和への意識を高めるための啓発活動の推進	総務課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

人権平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合

80%

4 年度予算 (円)	4 年度決算 (円)	4 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
96,000	19,800	0	0	0	0	19,800

◎ 令和 4 年度の事業実績 (成果)

宮代町で暮らす人や働く人など、官民間問わず様々な人が集まり、つながるプラットフォーム(※)として「この人の話が聞きたい」を運営しました。

※プラットフォーム: 共感のテーマとゆるいつながりをもった自由参加の意見交換の場

<実施内容>

■ 「この人の話が聞きたい」の運営

地域で活動している様々な人たちが集い、新たな活動が生まれるきっかけづくりの場として、「この人の話が聞きたい」を開催しました。(合計 10 回・4 月、5 月、6 月、7 月、8 月、9 月、10 月、12 月、2 月、3 月 参加者延べ 260 人)

参加者同士の意見交換や交流を通して、8 件の新たな活動が誕生しました。

■ Web ページの制作

チームみやしろ会議の取り組みを発信するため、Facebook や LINE を活用し、開催通知や参加者の募集、開催内容の報告等を発信しました。



★ 前期実行計画の目標とその工程

東武動物公園駅西口エリアを対象に、東武動物公園や日本工業大学などのキープレイヤー同士が連携する組織を設立し、地域のブランド力向上やイメージアップを図ります。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
チームみやしろ会議のコンセプトの整理と会議の設置	企画財政課	■	■			
チームみやしろプラットフォームの検討と試行	チームみやしろ会議		■	■		
チームみやしろプラットフォームの本運用	チームみやしろ会議			■	■	■
チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践	チームみやしろ会議		■	■	■	■

前期実行計画の成果目標(令和 7 年度)

チームみやしろ会議をきっかけとした新たな活動の誕生 年 3 件

みんなで備える防災力強化促進事業

【防災コミュニティ促進事業 決算書 P76】

町民生活課
危機管理担当
内線 279

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,090,000	1,788,300	0	30,000	0	0	1,758,300

◎ 令和4年度の事業実績 (成果)

防災への関心・意識向上を図るため、町内の各地区や地域で防災活動に取り組む自主防災組織に対し、宮代町安心安全まちづくり推進事業補助金交付要綱に基づき、防災資機材の購入や防災訓練に係る経費など、対象となる取り組みに補助金を交付し活動を支援しました。

また、防災・防犯等に関する情報をメールやツイッター、テレビ埼玉(テレ玉)データ放送等を通じて随時発信するとともに、災害時の情報収集を迅速に行えるよう、移動系防災行政無線機を使用した通信訓練を消防団と定期的に行い、緊急地震速報訓練時には各小中学校との通信訓練も実施しました。

<実施内容>

■自主防災組織活動に対する支援 (組織の活動に対する補助及び研修指導) 1,749,300円

「宮代町安心安全まちづくり推進事業補助金交付要綱」により、申請のあった自主防災会延べ22団体に補助金を交付しました。今後も、各地区の自主防災組織活動の実情に合わせた支援を継続していきます。

支援内容	支援数 (団体)	補助金額 (円)
防災資機材購入	11	627,900
防災拠点整備	6	779,600
地区防災訓練実施	4	279,900
地区防災研修会実施	0	0
防災士資格取得	1	61,900

■防災・防犯マスター講座の実施

防災・防犯力の向上を目指し、密接な関係にある防災と防犯を総合的に学べるよう、防災・防犯マスター講座を実施しました。

参加者 10名

開催日	内容
7月26日	イツモ防災講座、救護訓練、自主防災活動の事例紹介、災害図上訓練DIG、自主防災組織リーダー養成講座
8月26日	防災研修「マイ・タイムラインの作成について」
9月27日	「住まいの防犯対策」「自主防犯活動の進め方」
10月16日	宮代町地域防災訓練「実技訓練の実施」
11月11日	「振り込め詐欺被害防止ワークショップ」「よくわかる木造住宅の耐震化」
12月13日	「防犯パトロールについて」「犯罪の発生傾向と対策について」「防火防災について」

★ 前期実行計画の目標とその工程

現実には起こりうる災害を想定し、行政、消防団はもとより、自主防災組織、学校等の関係団体とともに、実際の避難行動の一連の流れを体験する防災訓練を実施し、防災力を強化します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
合同の実働訓練の実施	町民生活課 関係団体					
実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施	町民生活課 自主防災会					
実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し	町民生活課					
民間企業等との災害協定の拡充	町民生活課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

自主防災会訓練実施率 100%

我が家の避難計画「マイ・タイムライン」の作成率 50%以上

高齢者困りごとサポート隊事業

【介護保険特別会計 生活支援体制整備事業 決算書 P278】

健康介護課
高齢者支援担当
内線 383

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,377,000	4,280,558	1,583,806	787,623	0	1,909,129	0

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

「協議体(愛称:縁じよい支え合いチーム)」の場に出た意見を参考にし、「高齢者困りごとサポート冊子」を3月に3,000部発行し、町内公共施設や健康介護課窓口にて配布、町ホームページに掲載しました。

東京を中心に、大学生を有償ボランティアとして活用して、主に高齢者に対して生活支援(電球交換、ゴミ出し等)を行う民間企業「株式会社御用聞き」と協定を締結し、日本工業大学学生が宮代町で生活支援を行うようになりました。

「宮代町プログラミング・ラボ」の協力により、令和4年10月、11月に進修館にてスマートフォン相談会を実施しました。また、「日本工業大学情報ボランティア」の協力により、令和4年5月～7月、10月～1月に福祉交流館すてっぷ宮代にて「スマホ・パソコンなんでも相談会」を開催しました。

<実施内容>

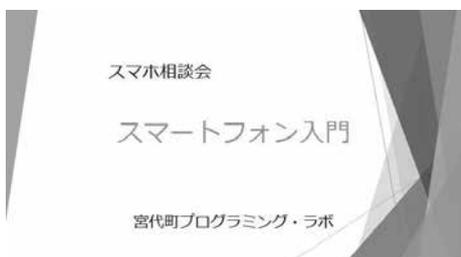
■高齢者向けサービスの情報伝達

協議体メンバーの意見を参考にし、「高齢者困りごとサポート冊子」を作成し配布しました。



■助け合いグループの育成

小学校でプログラミングの授業等を行っている宮代町プログラミング・ラボが、令和4年10月、11月にスマートフォン相談会を行いました。



株式会社御用聞きと協定を締結し、日本工業大学学生が宮代町で生活支援を行うようになりました。令和5年度も連携して担い手の確保も行っていきます。

■助け合いグループの支援

「宮代町プログラミング・ラボ」「日本工業大学情報ボランティア」のスマホ相談会の様子を動画で撮影・編集し、YouTube(縁じよいチャンネル)で公開しています。

★ **前期実行計画の日程とその工程**

買い物や電球交換など高齢者の日常生活のちょっとした困りごとをサポートする地域内の助け合い活動の組織化を支援し、広げていきます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
高齢者向けサービスの情報伝達	健康介護課 社協					
助け合い活動グループの育成	健康介護課 社協					
助け合い活動グループへの支援	健康介護課 社協					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たな助け合い活動を実施するグループ 5 団体以上

日工大サイエンスプロジェクト

【学校教育事務事業 決算書 P168】

教育推進課
学校教育担当
内線 423

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
30,000	6,500	0	0	0	0	6,500

◎ 令和4年度の事業実績 (成果)

日本工業大学の先生方と検討を重ね、令和5年3月6日(月)に須賀中学校の2年生を対象に、日工大サイエンスプロジェクトを実施しました。内容は、日本工業大学において大学教授による講義及び電子顕微鏡による観察です。今回の授業についての振り返りを実施し、来年度はさらに子供たちが理科好きになるよう検討していきます。

<実施内容>

■日工大サイエンスプロジェクトの実施①

夏季休業期間中の8月24日に、小学校の先生を対象とした研修会を日本工業大学で実施しました。2学期以降の学習内容を中心とした研修を実施しました。町内の13名の先生が参加しました。

■日工大サイエンスプロジェクトの実施②

令和5年3月6日(月)に須賀中学校の2年生を対象に、日工大サイエンスプロジェクトを実施しました。

★ 前期実行計画の日程とその工程

小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を通して、子どもたちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを始動します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
日本工業大学の設備、先生に関する情報収集	教育推進課	■				
学校の教育課程の確認	教育推進課	■				
必要な支援方法の検討	教育推進課		■			
日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施	教育推進課		■	■		
日工大サイエンスプロジェクトの実施	教育推進課			■	■	■

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

理科が好きという児童生徒 80%以上 (アンケート調査)

宮代町立小中学校適正配置事業

【小中学校適正配置事業 決算書 P166】

教育推進課
教育総務担当
内線 425

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,480,000	7,246,674	0	0	0	0	7,246,674

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

小中学校の再編の取組についての住民説明会を町内4ヶ所で行いました。

また、須賀小学校の整備に向けて、関係課職員や公募職員等10名で構成する「須賀小学校の再整備等地域拠点施設整備プロジェクトチーム」を立ち上げ、基本構想策定に向けて、先進地の視察や活用できる補助金等の条件整理、無作為抽出ワークショップ(10月30日)、住民意識調査(11月～12月)などを実施しました。

さらに、地域や学校関係者、有識者などで構成する須賀小学校地域拠点施設検討委員会を立ち上げ、先進事例視察や須賀小学校地域拠点施設についてのアイデア出し、意見交換等を行いました。

ワークショップや住民意識調査の結果、検討委員会の意見等をふまえて、須賀小学校地域拠点施設基本構想の案を作成しました。

<実施内容>

◇小中学校の再編の取組についての住民説明会の開催(5月24日、29日、31日、6月5日)

・小中学校の再編に関するこれまでの取組と今後20年間の取組について説明しました。

■無作為抽出ワークショップの実施(10月30日)

・「あったらいいなこんな場所～須賀小学校にみんなが集まる地域の施設～」をテーマに、再整備する須賀小学校及び併設する地域の施設について話し合うワークショップを開催しました。

・参加者：10歳から88歳までの須賀小学校区住民、検討委員、町長 計36人

■住民意識調査の実施(11月～12月)

・小学校5年生以上の須賀小学校区住民1,000人を対象に、須賀小学校地域拠点施設に関する住民意識調査を実施しました。

・回収状況 356人(回収率：35.6%)

■須賀小学校地域拠点施設検討委員会の会議開催及び先進事例視察実施(11月16日、12月22日、1月25日、3月27日)

・地域住民、学校関係者、有識者など14名からなる須賀小学校地域拠点施設検討委員会を立ち上げ、先進地の視察や意見交換、アイデア出し等を行いました。

■須賀小学校地域拠点施設基本構想案の作成

・上記の結果を踏まえ、須賀小学校地域拠点施設基本構想の案を作成しました。



★前期実行計画の趣旨とその工程

社会の変化に対応した最良な教育環境を子どもたちに提供するために、小中学校の適正な配置を進めていきます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
計画の再検討及び見直し	教育推進課					
計画に基づく取組の実施	教育推進課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し
見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施

議 会 事 務 局

■ 本年度の成果

本年度は、年4回の定例会のほか、2回の臨時会が開催されました。

会議の開催にあたり、昨年度に引き続きマスクの着用や検温のほか、傍聴人数の制限等の予防措置を取り、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めました。

議会運営委員会及び議会広報委員会による県外研修、総務文教委員会及び福祉産業委員会による県外研修は、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されることから中止となりましたが、議員全体研修として、元全国都道府県議会議長会事務局次長内田一夫氏をお招きし、「議会運営の留意事項について」研修会を実施しました。また、新議員研修として、(株)地方議会総合研究所主催のセミナー「議員の役割と権限」に参加し、議会力の向上に努めました。

「町民と議員との議会懇談会」については、5月は対面方式で実施し、11月ではグループに分かれて①宮代らしさ、②子育ての2つのテーマについて意見交換を行いました。

■ 本年度の主要事業

議会運営事業	-----	76
会議録調製事業	-----	76

議会運営事業

〔議会事務局〕

決算書 P 46

4 年度予算 (円)	4 年度決算 (円)	4 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
67,991,000	67,889,666	0	0	0	0	67,889,666

[主な実施内容]

■会議の運営

定例会：4回（6月、9月、12月、令和5年3月）

臨時会：2回（4月、10月）

常任委員会：議会広報委員会 4回（20日間）

議会運営委員会：12回

特別委員会：決算特別委員会 1回（5日間）

予算特別委員会 1回（6日間）

■審議案件

予算23件、条例27件（うち議員提出1件）、決算6件、人事案件2件、専決処分2件、意見書5件、その他17件

[成果]

定例会の一般質問のほか、定例会及び臨時会の議案質疑により、町の予算や施策について積極的に疑問点を問い正しました。

また、予算・決算特別委員会では、私たちの予算書など様々な資料を活用しながら質問することで、個々の事業や取り組みについて理解を深めることができました。

会議録調製事業

〔議会事務局〕

決算書 P 48

4 年度予算 (円)	4 年度決算 (円)	4 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,947,000	7,945,423	0	0	0	0	7,945,423

[主な実施内容]

■会議録作成

定例会 1,640,925 円

臨時会 75,735 円

予算特別委員会 555,390 円

決算特別委員会 597,465 円

■会議録検索システム委託料 264,000 円

■録画配信委託料 1,002,100 円

■議場用映像音響設備機器使用料 3,512,808 円

[成果]

全ての本会議及び特別委員会について、会議録を調製し、議会の活動について広く周知を図りました。また、議場の映像音響設備機器及び映像・音響制御システムを活用し、本会議でのすべての映像配信が可能になりました。

総 務 課

■ 本年度の成果

広報の分野では、町広報紙「広報みやしろ」や町公式ホームページに加え、SNSとして「ツイッター」で情報発信するほか、町公式LINEアカウントではプッシュ型で情報を町民に届けています。様々な媒体を通じ、町が取り組んでいる政策をはじめ、身近な話題や出来事を町民の皆様に対して速やかに、かつ、わかりやすく情報提供するよう努めました。

第5次総合計画前期実行計画事業のみやしろズームアッププロジェクトでは、町の魅力の情報発信力を向上させるための「みんなが地域の特派員」制度において、14名の特派員で活動しました。また、公式ハッシュタグ「#みやしろまち」の周知・使い手を増やすために、ワークショップや写真展を開催しました。

人権・男女共同参画の分野では、正しい人権感覚を養うため、同和問題をはじめ、LGBTやDV（ドメスティック・バイオレンス）等の人権課題に関する研修会を開催し、町民及び職員一人ひとりの人権意識を高めることができました。

また、平和の分野では、戦争の悲惨さ、平和の尊さを見つめ直し、世界の恒久平和を願う心を次世代に伝えるため、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」を開催しました。

職員研修の分野では、各種研修を通じて職員の意識向上を図るとともに、より高いレベルを目指した業務遂行能力の向上に努めました。

■ 令和4年度前期実行計画

みやしろズームアッププロジェクト	39
人権・平和推進事業	62

■ 本年度の主要事業

職員研修事業	78
広聴・広報事業	79

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,314,000	919,560	0	0	0	0	919,560

[主な実施内容]

■内部研修

町独自の研修として階層別研修等を実施しました。

新規採用職員研修：前期12科目12人、後期11科目12人

新規採用職員育成塾：1回

人事評価（評価者）研修：55人

■共同研修

582,983円

近隣3市（久喜市・蓮田市・白岡市）と共同で階層別、科目別研修を実施しました。

階層別研修：初級職員研修・上級職員研修・係長実践研修・管理職研修

科目別研修：政策形成能力養成研修・法制執務研修・マネジメント研修、保育士情報交換会
受講者数：48人

■派遣研修

48,620円

彩の国さいたま人づくり広域連合やその他研修機関の実施する階層別、科目別研修へ職員を派遣しました。

彩の国さいたま人づくり広域連合主催研修：19科目延べ64人

埼玉県総合技術センター主催研修：4科目延べ5人

その他派遣研修：年金アカデミー1人

[成 果]

各種研修を通じて、宮代町職員としての意識の向上を図るとともに、各専門分野における技術向上によって、より高いレベルへの業務遂行能力向上に努めました。

また、公正かつ適正な人事評価を実施するため、制度・評価基準に関する共通認識を形成し、また評価スキルの向上を図ることを目的として、「人事評価（評価者）研修」を実施し、評価者となる管理職等55人の職員が参加しました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
13,842,000	13,446,301	0	0	0	0	13,446,301

[主な実施内容]

■町広報紙「広報みやしろ」の編集発行 毎月発行(年間12回)

・発行部数 12,500部/月

幅広い世代の方に手に取り読んでもらうために、タブロイド判・フルカラーで親しみやすい紙面作成を目指しました。今後も読みやすい紙面作成に努めていきます。

■町公式ホームページのリニューアル

町の様々な情報をより効率よく作成発信し、誰にでも読みやすく、わかりやすいホームページ構成、デザインとなるようリニューアルを行いました。(令和4年11月)

また、スマートフォンやタブレット端末での利便性向上を図るため、レスポンシブルWebデザイン対応としました。

■SNS等の活用による最新情報の発信

行政トピックスや身近な話題などの最新情報を随時発信しました。また、町公式ツイッターのほか、町公式LINEからはプッシュ型での情報発信を行いました。

■「町長への手紙」

38件の提案やご意見をいただき、回答しました。

■有料広告制度の運用

「広報みやしろ」及び「町公式ホームページ」の有料広告制度により、85万円の広告収入がありました。

[成 果]

「広報みやしろ」や「町公式ホームページ」を通し、町が取り組んでいる施策をはじめ、新型コロナウイルス関連の情報、身近な話題や出来事を町民に対して速やかに、かつ、わかりやすく情報提供しました。

町公式ホームページにおいては、令和4年度のアクセス件数が約223万件(前年度比26万件的増加)、累計約1,390万件に達し、町公式ツイッターのフォロワーは4,331人(前年度比271人の増加)、町公式LINEの友だち数は13,037人となっています。

町民の声を町政に反映させる「町長への手紙」においては、いただいた提案やご意見をもとに速やかに事務や事業の改善を図りました。

企 画 財 政 課

■ 本年度の成果

ふるさと納税管理事業では、町の事業をPRするとともに巨峰など町の特産品をお礼の品とし、1,435名の方から約2,253万円の寄附をいただき、特色あるまちづくりを進めることができました。

政策調整事業では、第5次宮代町総合計画前期実行計画の各事業（32事業）を着実に推進するため、取り組み状況を確認し、その進捗を町ホームページ等で公表しました。また、指定管理者候補者選定委員会を開催し、2施設（宮代町総合運動公園・宮代町新しい村）について、指定管理者候補者を選定し、指定管理者制度の活用を推進しました。

便利バスが走る事業では、令和3年度に行った交通行動調査や運行会社等からの意見聴取をもとに、宮代町地域公共交通会議を経て、バス停を3カ所追加（1カ所廃止）し、一部ルートの見直しを行い、あわせてバス停をリニューアルしました。また、高齢者運転免許自主返納者への支援として、申請者90人に便利バスの回数券（70枚）を交付しました。令和3年度から開始した宮代町高齢者等タクシー助成制度については、2,053名の登録と14,240枚の利用がありました。また、利用者アンケートを実施し、要望の多かった利用枚数の増加について見直しを行い、より利用しやすい体制を整えました。

OA管理事業では、庁内システムのクラウドサーバである宮代町統合仮想基盤の更改を行い、基幹系システムについては、新ブラウザの導入作業及びネットワーク機器の更改を行いました。また、マイナポイント付与への対応として、町内への広報活動及び庁舎窓口でのマイナポイント申込支援を実施しサポートを行いました。

統計調査事業では、5年に一度の基幹統計調査である就業構造基本調査と、令和5年度に行われる住宅・土地統計調査の準備調査である住宅・土地統計調査単位区設定を実施しました。

■ 令和4年度前期実行計画

遊休資源活用プロデュース事業	-----	41
宮代型デマンド交通事業	-----	44
チームみやしろ会議	-----	66

■ 本年度の主要事業

ふるさと納税管理事業	-----	82
政策調整事業	-----	83
みやしろ定住促進作戦	-----	84
便利バスが走る事業	-----	85
庁舎等管理事業	-----	86
OA管理事業	-----	87
統計調査事業	-----	88

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
10,616,000	10,188,552	0	0	0	0	10,188,552

【主な実施内容】

■宮代のまちづくりをみんなで応援する寄附制度（ふるさと納税）

10,188,552円

農のあるまちづくり、子育て支援、にぎわいプロジェクトなど宮代町らしいまちづくりのために、全国から22,530,700円の寄附をいただきました。寄附金は寄附者指定の各事業で活用させていただきます。

また、寄附をいただいたお礼として、町内の事業者が提供する「ふるさと特産品」延べ1,526件を贈りました。

寄附制度を通じ、宮代町や町の特産品を広くPRするとともに、まちづくりのための収入を確保できました。

・いただいた寄附の概要（使途別）(単位 円)

分野	寄附金額
農のあるまちづくりに関する事業	3,482,000
子どもたちの未来に関する事業	8,834,500
市民活動支援に関する事業	227,000
宮代の桜を大きく育てていく事業	799,000
宮代の歴史文化を後世に伝える事業	310,000
観光や町のPRに関する事業	171,000
みやしろにぎわいプロジェクト	396,000
江戸時代の茅葺(かやぶき)民家を守りたいプロジェクト	80,200
【緊急支援】令和4年6月降ひょうにより被害を受けた農家さんを応援してください	429,000
その他まちづくり全般	7,802,000
合計	22,530,700

・いただいた寄附の概要（特産品別）

(単位 件、円)

特産品	件数	寄附金額	特産品	件数	寄附金額
【特別栽培米】令和4年産 コシヒカリ「村そだち」20kg	384	5,728,000	みやしろ四季の和菓子セット	6	65,000
シャインマスカット(1.8kg)	257	3,084,000	宮代あげもちセット(醤油&塩)	5	70,000
巨峰(3kg)	211	2,532,000	宮代産米使用!お米のカステラ こめていら(×4個)セット	4	44,000
東武動物公園「アトラクションパスセット」(ペア)	120	3,720,000	巨峰ゼリー&いちじくゼリー(各10個入り)	2	24,000
【特別栽培米100%使用】ぶちぶち食感の玄米餅と切り餅セット	108	756,000	巨峰ゼリーセット(10個入り)	4	26,000
東武動物公園「入場券+のりもの券10枚綴り」(ペア)	67	1,072,000	【数量限定】巨峰ワイン(ロゼ・白)セット	2	25,000
【ドイツ国家認定・製パンマイスターが作る】シュトレン(プレーン)	61	793,000	宮代五百万石セット	2	16,000
東武動物公園「入場券」(ペア)	57	513,000	宮代五百万石煎餅(箱入)	2	16,000
【ドイツ国家認定・製パンマイスター】こだわり本格ドイツパンセット	46	897,000	乗馬体験1回コース◆東武乗馬クラブ&クレイン◆	3	57,000
【ドイツ国家認定・製パンマイスターが作る】シュトレン(クリームチーズ)	37	481,000	ペア家族限定乗馬体験1回コース◆東武乗馬クラブ&クレイン◆	2	56,000
村そだち10kg×ミルキーQueen10kg食比べセット	24	384,000	水と緑の宮代~宮代町史ビジュアル版~	2	20,000
宝もなか(10個入り)	26	130,000	【思いやり型返礼品】さをり織りありがとうセット	1	10,000
みやしろまんじゅうセット(10個入り)	22	110,000	紫すい~つセット	1	11,000
純米吟醸「宮代そだち」	17	187,000	【思いやり型返礼品】さをり織り大判ショール(シルク)	1	45,000
名物茶マンセット(10個入り)	17	119,000	稲作体験『稲刈り』&お米5kg(精米)つき	1	27,000
【令和4年産】宮代産特別栽培米 コシヒカリ「みやしろっ子」10kg	16	160,000	ホワイトタイガー(長ねぎ)3Lサイズ 3kg	1	11,000
宮代産米使用!お米のカステラこめていら(×2個)セット	9	54,000	特産品を希望しない		1,247,700
黒豆玄米茶(3袋セット)	8	40,000	合計	1,526件	22,530,700円

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
寄 附 人 数 (人)	1,435	△353	1,788	2,618
特産品送付件数 (件)	1,526	△442	1,968	2,847
寄 附 金 額 (円)	22,530,700	△4,081,370	26,612,070	45,542,854

※1人で複数個の特産品を希望されている方がいるため、寄附人数と特産品送付件数は数値が異なります。

[成 果]

これまでお寄せいただいた寄附金は指定のあった寄附分野に基づき、令和4年度における下記事業の実施に活用しました。

(単位 円)

寄附金活用事業	取組内容	充当額	成果書掲載ページ
農のあるまちづくりに関する事業	新しい村の運営	3,000,000	P178
子どもたちの未来に関する事業	保育所や子育て支援センター等の運営	3,500,000	P141, P145, P150, P151
子どもたちの未来に関する事業	小中学校でのきめ細やかな英語指導	1,000,000	P198
市民活動支援に関する事業	コミュニティセンター進修館の運営	250,000	P113
宮代の桜を大きく育てていく事業	宮代の桜の保全、環境整備	1,200,000	-
宮代の歴史文化を後世に伝える事業	文化財案内板の設置	297,000	P212
観光や町のPRに関する事業	地域の資源PR情報誌等の作成	1,080,000	P180
みやしろにぎわいプロジェクト	桜市の開催	500,000	P179
【緊急支援】令和4年6月降ひょうにより被害を受けた農家さんを応援してください	被害を受けた農家への支援	429,000	P176
その他まちづくり全般への活用		13,090,000	
合 計		24,346,000	

政策調整事業

[対話のまちづくり推進担当]

決算書 P66

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
392,000	87,294	0	0	0	0	87,294

[主な実施内容]

■第5次宮代町総合計画前期実行計画の進行管理

第5次宮代町総合計画前期実行計画に位置付けられた事業について、取り組み状況を確認し、進捗状況を町ホームページ等で公表しました。

■指定管理者制度の推進

民間企業等が持つ専門性やノウハウ、組織力等により住民サービスの向上や経費の削減を図ることが期待できる施設について、指定管理者制度を導入しています。

令和4年度は、宮代町総合運動公園及び宮代町新しい村について、指定管理者候補者選定委員会を開催しました。

【成 果】

第5次宮代町総合計画前期実行計画の進行管理については、担当課へのヒアリングや自治体経営会議等により、事業進捗の確認・調整を図ることで計画的なまちづくりを推進することができました。

指定管理者制度については、学識経験者、公募による市民及び町職員により構成する指定管理者候補者選定委員会を開催し、2施設について、次のとおり指定管理者候補者を選定しました。

施設名	指定管理者候補者
宮代町総合運動公園	ミズノグループ
宮代町新しい村	株式会社新しい村

みやしろ定住促進作戦

〔対話のまちづくり推進担当〕

決算書 P66

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,455,000	1,437,700	0	0	0	0	1,437,700

【主な実施内容】

■宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」の運営

移住者へのインタビュー、宮代町での住み方を提案する特集記事、町の魅力を伝える記事などを制作し、宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」で発信しました。

■みやしろ初めてツアーの実施

宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」経由で申し込みのあった町外在住の方へ、町内の公共施設や商業施設などを案内する「みやしろ初めてツアー」を実施しました。

【成 果】

移住者インタビュー等の特集記事を3本、その他自由投稿記事を3本、イベント予告記事を12本制作し、移住希望者に向けた情報を発信しました(年間総ページビュー 235,009回)。また、定住促進チラシを作成し、移住サポートセンターへ配布を依頼し、宮代町のPRにつながる情報発信を行いました。

みやしろ初めてツアーでは、6世帯(東京都2、神奈川県2、越谷市1、草加市1)に対しツアーを実施し、ツアーに参加できない3世帯(東京都1、神奈川県1、さいたま市1)に対しては定住促進チラシなどを郵送し、宮代町をPRしました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
30,996,000	27,959,936	0	0	0	48,000	27,911,936

[主な実施内容]

■便利バスの運行

高齢者をはじめとした交通弱者の方々が安心して移動できる交通手段として、住宅地と駅、公共施設、医療施設、商業施設等を結ぶ便利バスを運行しました。

運行日：年末年始を除く毎日

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
乗車人数	63,248	7,019	56,229	40,609

■便利バス委託料

運行等の業務に要した費用として、次のとおり委託料を支払いました。

(単位 円)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
契約額	30,250,008	0	30,250,008	30,250,008
運賃収入等	3,424,100	383,400	3,040,700	2,280,800
両替立替分	110,000	△10,000	120,000	120,000
設備工事費	0	△276,100	276,100 (バスロケーションシステム設置費)	778,140 (空気清浄機設置)
バスロケーションシステム利用料金	135,168	90,112	45,056	0
臨時増便	149,600	149,600	0	0
委託料	27,220,676	△429,788	27,650,464	28,867,348

(契約額－運賃収入等＋両替立替分＋設備工事費＋バスロケーションシステム利用料金＋臨時増便＝委託料)

※臨時増便…10月9日

町民スポーツフェスティバルにあわせ、同一路線に便数を追加。利用者人数47人。

■高齢者運転免許自主返納者への支援

高齢者の交通事故防止と便利バスの利用促進を目的に、満65歳以上の方で自動車運転免許証を返納した申請者の方に便利バスの回数券1人70枚を交付しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
申請者	90	6	84	106
利用件数	2,447	1,301	1,146	638

[成 果]

令和4年度の利用者数は、前年度比7,019人(12.5%)増の63,248人となり、事業開始以来、最大の利用客数となりました。高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保することにより、社会生活の利便性の向上を図ることができました。

庁舎等管理事業

[管財担当]

決算書 P60

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
152,293,000	144,276,419	0	0	59,400,000	949,888	83,926,531

[主な実施内容]

■ 庁舎管理

(単位 円)

主な内容	金額
役場庁舎総合管理業務委託	30,690,000
庁舎施設修繕	3,099,129
庁舎エアコン改修工事	66,000,000

■ 光熱水費

(単位 円)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
電 気 料	12,204,866	6,286,550	5,918,316	5,762,776
上下水道使用料	1,084,755	47,414	1,037,341	1,104,467

[成 果]

令和4年度は改修工事として、空調機器の入替を行いました。

電気使用量は、前年度の照明LED化の効果もあり、前年度比7%削減となりました。一方、電気料金については、電力供給不足に伴う価格高騰により、令和4年度末まで契約していた電気小売事業者が倒産し、契約相手先が変更となった影響で前年と比較し倍増する結果となりました。

庁舎の適切な管理を推進することにより、来庁者の安全かつ快適な利用、職員の効率的な業務の執行に寄与しています。

4 年度予算 (円)	4 年度決算 (円)	4 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
115,289,000	113,240,727	3,966,981	0	0	0	109,273,746

※令和 4 年度予算のうち、850,000 円を令和 5 年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■〇A 機器のリース等

リ ー ス 等 内 容	主 な 内 容	金額 (円)
基 幹 系 シ ス テ ム 機 器	住基、税務、福祉等基幹系業務情報の一元管理	51,652,920
財 務 会 計 シ ス テ ム 機 器	歳入歳出予算及び会計事務の一元管理	3,244,308
庁 内 ネ ッ ト ワ ー ク 機 器	庁内ネットワークを構成する通信機器	6,811,776
統 合 仮 想 基 盤 シ ス テ ム 機 器	データセンターでのシステム、機器の一元管理	9,457,855
情 報 系 パ ソ コ ン 及 び オ フ ィ ス ソ フ ト	パソコン及び文書作成、表計算ソフト等オフィスソフト	7,054,080

■社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）関係

委 託 内 容	主 な 内 容	金額 (円)
特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連事務の委任に係る交付金	世帯、税情報等の情報を連携するために必要な電子計算機の設置等関連事務の委任に対する J-LIS への交付金	3,101,000

■マイナポイント関係

主 な 内 容	金額 (円)
マイナポイント申込支援業務委託	1,507,000

■基幹系システム機器等更新

主 な 内 容	金額 (円)
基幹系パソコンの新ブラウザインストール及び OS 等更新設定業務委託	3,265,900
基幹系システム庁内ネットワーク機器更改業務委託	4,357,430

[成 果]

情報通信機器を適切に管理し、システムの安定稼働を図るよう運用を行いました。

平成 28 年度に導入したクラウドサーバである宮代町統合仮想基盤について、システムの更改を行いました。

基幹系システムについては、Internet Explorer のサポート終了に伴う各パソコンの新ブラウザ導入及び OS バージョンアップ等の設定作業を行いました。また、システムの安定運用を図るため、庁内ネットワーク機器の更改を行いました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
533,000	476,082	0	459,640	0	0	16,442

〔主な実施内容〕

調査名	主な内容	金額(円)
学校基本調査	<p>在学者数や教職員などの学校に関する基本的事項の調査。</p> <p>毎年実施</p> <p>【調査対象】 小学校4校 中学校3校 幼稚園4園</p>	11,000
令和4年就業構造基本調査	<p>15歳以上の世帯員を対象に、就業・不就業の状態を明らかにし、就業構造に関する基礎資料を得ることを目的に実施しました。</p> <p>5年ごとに実施</p> <p>【調査対象】 5区</p> <p>【統計従事者】 指導員1人、調査員5人</p>	306,300
令和5年住宅・土地統計調査単位区設定	<p>令和5年に実施する住宅・土地統計調査に先立ち、令和4年12月から令和5年2月にかけて「住宅」と「住宅以外で人が居住する建物」の数などの状況を実地確認し、調査区域を明確にしました。</p> <p>5年ごとに実施</p> <p>【調査対象】 41区 【統計従事者】 指導員5人</p>	142,340

〔成 果〕

例年行っている調査に加え、令和4年度は就業構造基本調査を実施しました。これらの結果は、国の基本的な方針決定の基礎資料として活用されるほか、地方公共団体における雇用対策などの各種施策に利用されます。また、令和5年度に実施する住宅・土地統計調査の準備として単位区設定を行い、「住宅」と「住宅以外で人が居住する建物」の数などの状況を実地確認し、調査区域を明確にしました。

住 民 課

■ 本年度の成果

戸籍住民基本台帳管理事業では、関係法令に基づく戸籍簿及び住民基本台帳を適正に管理するとともに、正確かつ迅速に各種証明書を発行しました。

マイナンバーカードの交付件数は、マイナポイントの影響もあり前年度から大幅に増加し、23,768件となり、交付率は70.6%に達しました。

後期高齢者医療制度では、被保険者の健康増進及び疾病の早期発見を促進するため、後期高齢者健康診査や人間ドック受診費用の助成を実施しました。被保険者数の増加等の理由により、前年度と比較し、健康診査受診者数、人間ドック受診費用の助成対象者ともに増加しました。

■ 本年度の主要事業

戸籍住民基本台帳管理事業	90
旅券事務事業	92
後期高齢者健康診査事業	92
後期高齢者疾病予防事業	93

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
21,876,000	16,477,817	4,400,000	1,739,936	0	10,337,881	0

※令和3年度の繰越分を含みます。

※令和4年度予算のうち、4,542,010円を令和5年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■戸籍・住民基本台帳等の取扱件数

(1) 戸籍届出件数

(単位 件)

種類	届出		他市町村 から送付	計
	本籍人届出	非本籍人届出		
出生	87	95	78	260
養子縁組	10	4	6	20
養子離縁	5	0	6	11
婚姻	81	35	162	278
離婚	37	3	25	65
死亡	293	142	56	491
入籍	28	1	20	49
転籍	109	1	58	168
その他	70	3	17	90
不受理申出	6	1	0	7
合計	726	285	428	1,439

(2) 住民異動状況

(単位 人)

年度	増加人口				減少人口			
	種類	男	女	計	種類	男	女	計
4年度	転入	733	624	1,357	転出	775	621	1,396
	出生	93	91	184	死亡	253	201	454
	その他	7	7	14	その他	14	6	20
	計	833	722	1,555	計	1,042	828	1,870
比較	転入	49	83	132	転出	158	65	223
	出生	△22	△11	△33	死亡	34	26	60
	その他	△2	0	△2	その他	△4	△3	△7
	計	25	72	97	計	188	88	276
3年度	転入	684	541	1,225	転出	617	556	1,173
	出生	115	102	217	死亡	219	175	394
	その他	9	7	16	その他	18	9	27
	計	808	650	1,458	計	854	740	1,594

■戸籍・住民基本台帳等の証明発行件数

(1) 証明種類別発行件数

(単位 件)

内 訳	有 料	無 料	計
戸 籍 謄 抄 本	5,889	1,401	7,290
戸 籍 証 明	132	203	335
戸 籍 の 附 票	485	669	1,154
住 民 票 の 写 し	14,594	962	15,556
住 民 票 記 載 事 項 証 明	365	0	365
住 民 台 帳 の 閲 覧	2	8	10
印 鑑 登 録 証 明 書	8,575	14	8,589
諸 証 明	288	60	348
臨 時 運 行 許 可 証	240	0	240
合 計	30,570	3,317	33,887

※住民票の写し、印鑑登録証明書の発行件数には、コンビニエンスストアにおける交付件数も含まれています。

(2) コンビニエンスストアにおける交付件数

(単位 件)

内 訳	宮代町内	宮代町外	計
住 民 票 の 写 し	1,242	928	2,170
印 鑑 登 録 証 明 書	1,161	595	1,756
合 計	2,403	1,523	3,926

■マイナンバーカード交付件数

(各年度末現在)

	4 年度	比較 (3→4)	3 年度	比較 (2→3)	2 年度
交付数(件)	23,768	8,310	15,458	4,150	11,308
交付率(%)	70.6	24.9	45.7	12.2	33.5

[成 果]

戸籍法、住民基本台帳法、その他関係法令に基づき、戸籍簿及び住民基本台帳を適正に管理するとともに、印鑑登録、住居表示、臨時運行許可、諸証明の発行などの各種業務を適正に行いました。

また、マイナンバーカード交付管理システムを導入して、マイナンバーカードの管理をより一層推進し、マイナンバーカードの交付率は70.6%になりました。

旅券事務事業

[戸籍住民担当]

決算書 P84

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
51,000	44,812	0	44,812	0	0	0

[主な実施内容]

■旅券の取扱件数 (単位 件)

	4年度	3年度	2年度
10年用	113	44	45
5年用	92	13	17

[成 果]

旅券法に基づくパスポートの申請受付、交付などの業務を適正に行いました。

新型コロナウイルス感染拡大による海外渡航の禁止や自粛が緩和したことにより、前年度に比べ取扱件数が増加しました。

後期高齢者健康診査事業

[国保・後期担当]

決算書 P130

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
23,630,000	23,574,583	0	0	0	19,890,304	3,684,279

[主な実施内容]

後期高齢者医療制度加入者を対象として、無料で受診できる健康診査を個別健診及び集団健診により実施しました。

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
健康診査受診者	2,175	297	1,878	1,776

[成 果]

健康診査を実施することで、後期高齢者医療制度加入者の健康保持及び増進、疾病の早期発見を図りました。令和4年度の受診者数は前年度と比較して297人と、大幅に増加しました。

後期高齢者疾病予防事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P130

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,831,000	3,827,904	0	0	0	2,151,900	1,676,004

【主な実施内容】

総合健診（人間ドック等）を受診した後期高齢者医療制度加入者を対象に1件あたり27,000円を助成しました。

（単位 人）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
総合健診受診者	141	12	129	94

【成 果】

被保険者の人間ドック等の受診費用を助成し、受診者の経済的負担の軽減を図りました。
令和4年度の受診者数は、前年度と比較して12人増加しました。

税 務 課

■ 本年度の成果

町税は、まちづくりの根幹を担う重要な財源であることから、事務処理にあたり地方税法及び税制改正等を踏まえ、公平かつ適正な賦課徴収に努めました。

町民税事業では、課税事務における正確性を第一に、併せてコストのスリム化を図るため、国税情報の電子連携をはじめ、e L T A X（エルタックス）を利用した各種電子届出や給与支払報告書等の提出を推進するとともに、スマートフォンやP Cによる確定申告の促進に努めました。また、個人住民税の特別徴収税額決定通知の電子通知や軽自動車税にかかる軽自動車O S S（軽自動車保有関係手続のワンストップサービス）及び軽J N K S（軽自動車税納付確認システム）を導入し、個人や事業者等の車両の登録や検査等にかかる事務負担を軽減しました。

固定資産税事業では、令和6年度評価替えに向けた準備として、基準日（1月1日）時点における標準宅地の鑑定評価を実施するとともに、通年の作業として法務局からの登記済通知書、新增築家屋等の調査及び償却資産の申告に基づく異動処理を実施しました。また、現地の確認や航空写真等を活用することにより正確な課税客体の把握を行い、公平かつ適正な賦課に努めました。

徴収対策事業では、引き続き現下の情勢に応じたきめ細かな納税相談を実施するとともに、新規滞納の発生を防止するため、S N S等を利用した納期内納付の広報や効果的な文書催告を行うことに努めました。また、納税誠意に欠ける滞納者に対しては、財産や納付能力の各種調査を実施して給与や預金等の債権差押を実施するとともに、要件に該当する場合は滞納処分の執行停止に取り組みました。

納税推進事業では、e L T A X（エルタックス）による「地方税共通納税システム（電子納付）」を推進し、安全で確実な「口座振替」の利用推奨を行うとともに、身近で便利な「コンビニエンスストア収納」やスマホで決済ができる「P a y B（ペイビー）」の利用促進に努めました。

また、町ホームページや窓口サービスにおける税務手続きの案内については、わかりやすい表示に努めるとともに、窓口や電話での各種の問合せにおいては、的確な対応を心がけることにより住民サービスの向上に努めました。

税務行政の使命は、納税者の皆様の自発的な納税の履行を適正かつ円滑に実現することであり、納税者の皆様から理解と信頼を得ることが何よりも重要です。そのため、税務行政に対して信頼を損なうことのないよう、引き続き関係法令に基づき適正かつ公平な税務行政を推進します。

■ 本年度の主要事業

町民税事業	-----	96
固定資産税事業	-----	98
徴収対策事業	-----	99
納税推進事業	-----	100

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,773,000	11,067,761	0	0	0	1,200	11,066,561

【主な実施内容】

■個人町民税の賦課の状況

町内に居住している個人に対して、個人町民税の賦課を行いました。(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
納税義務者数	17,794	35	17,759	17,930
所得割(特別徴収)	10,966	△59	11,025	10,989
(普通徴収)	5,167	85	5,082	5,286
(退職所得)	67	△11	78	57
均等割のみ	1,594	20	1,574	1,598

■法人町民税の賦課の状況

町内に事業所等がある法人に対して、法人町民税の賦課を行いました。(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
納税義務者数	543	6	537	515

■軽自動車税の賦課の状況

軽自動車等の所有者に対して、軽自動車税の賦課を行いました。(単位 台)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
軽自動車登録数	10,281	105	10,176	10,036
第一種(50cc以下)	857	△21	878	932
第二種(90cc以下)	77	10	67	74
第二種(125cc以下)	301	28	273	254
ミニカー	20	2	18	19
軽二輪	350	17	333	332
軽四輪乗用(営業用)	0	0	0	0
軽四輪乗用(自家用)	6,069	69	6,000	5,856
軽四輪貨物(営業用)	82	0	82	70
軽四輪貨物(自家用)	1,292	19	1,273	1,265
小型特殊(農耕用)	792	△28	820	829
小型特殊(その他)	23	△1	24	25
二輪の小型自動車	406	10	396	369
ポータトレラー	12	0	12	11
新規登録	1,671	115	1,556	1,623
廃車	1,478	52	1,426	1,461
移転変更	292	31	261	309

■町たばこ税の賦課の状況

町内で売り渡された紙巻たばこ等に対して、町たばこ税の賦課を行いました。(単位 本)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
売 渡 し 本 数	29,220,170	1,029,559	28,190,611	28,131,774
日本たばこ産業(株)	13,216,237	△11,853	13,228,090	13,790,155
TSネットワーク(株)	15,999,113	1,039,912	14,959,201	14,321,475
太豊通商(株)	4,820	1,500	3,320	20,144

■町県民税申告受付等の実施

適正な課税を行うために町県民税申告や所得税確定申告等の受付を実施しました。

(単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
町県民税・確定申告受付数	3,179	160	3,019	3,285
うち休日申告受付数	52	△3	55	49
農業所得事前相談受付数	122	△14	136	145

■電子申告等による受付状況

町税手続きについてeL TAX (エルタックス)を利用した電子申告・納税の受付を行いました。

(単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
電 子 申 告 等 件 数	31,599	564	31,035	30,260
給与支払報告	13,810	742	13,068	12,468
公的年金等支払報告	16,963	△208	17,171	17,071
法人町民税申告	546	25	521	457
償却資産申告	280	5	275	264
電 子 納 税 件 数	6,065	2,130	3,935	1,577
地方税共通納税システム	6,065	2,130	3,935	1,577

[成 果]

eL TAX (エルタックス)を利用した地方税電子申告・納税や国税とのデータ連携により、安全かつ効率的な賦課事務を推進し、適正かつ公平な賦課徴収を行うことで、町の主要財源を確保することができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,949,000	4,187,082	0	0	0	0	4,187,082

[主な実施内容]

■固定資産税の賦課の状況

町内に固定資産を所有する者に対して固定資産税の賦課を行いました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
納税義務者数(人)	14,830	14	14,816	14,791
土地評価総筆数(筆)	37,093	△226	37,319	37,194
土地評価総地積(千㎡)	11,857	△10	11,867	11,868
家屋評価総棟数(棟)	17,328	△4	17,332	17,314
家屋評価総床面積(千㎡)	1,760	6	1,754	1,748

■都市計画税の賦課の状況

都市計画事業等に要する費用にあてるため都市計画税の賦課を行いました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
納税義務者数(人)	10,606	△8	10,614	10,592
土地評価総筆数(筆)	15,024	△214	15,238	15,198
土地評価総地積(千㎡)	2,671	△8	2,679	2,679
家屋評価総棟数(棟)	9,569	36	9,533	9,505
家屋評価総床面積(千㎡)	1,172	7	1,165	1,165

■縦覧制度等

納税義務者の求めに対して固定資産課税台帳の閲覧等を行いました。(単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧件数	0	△2	2	0
固定資産課税台帳の閲覧件数	84	14	70	66
審査申出の件数	0	0	0	0
不服申立の件数	0	0	0	0

縦覧期間：令和4年4月1日から令和4年5月31日まで

[成 果]

土地、家屋及び償却資産について現況調査や航空写真等を活用し、課税客体の正確な把握に努め、電算システムに基づく効率的な評価を行うとともに、適正かつ公平な賦課を行うことができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,706,000	1,198,873	0	0	0	0	1,198,873

〔主な実施内容〕

事案に即した納税相談、文書や電話による催告等を早期に実施するとともに、納税誠意に欠ける滞納者に対しては給与・預金等の債権の差押を中心に滞納処分を行いました。

■ 収納率の状況

(単位 %)

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
現 年 度 課 税 分	個人町民税	99.1	△0.1	99.2	99.2
	特別徴収分	99.8	△0.2	100.0	99.9
	普通徴収分	96.9	△0.2	97.1	97.2
	法人町民税	99.8	0.1	99.7	99.4
	固定資産税	99.6	0.0	99.6	99.5
	都市計画税	99.5	0.0	99.5	99.3
	軽自動車税	99.0	△0.1	99.1	99.1
	町たばこ税	100.0	0.0	100.0	100.0
	町税計	99.3	△0.1	99.4	99.4
	国民健康保険税	95.5	△0.7	96.2	95.5
	現年度課税分計	98.8	△0.1	98.9	98.8
	滞 納 繰 越 分	個人町民税	34.0	△1.6	35.6
特別徴収分		29.1	△37.3	66.4	36.7
普通徴収分		34.4	2.1	32.3	37.6
法人町民税		0.0	△41.2	41.2	28.0
固定資産税		38.8	△4.1	42.9	41.1
都市計画税		44.1	0.2	43.9	53.0
軽自動車税		29.4	1.6	27.8	32.8
町税計		35.4	△3.1	38.5	38.9
国民健康保険税		24.7	△2.4	27.1	32.9
滞納繰越分計	29.1	△2.6	31.7	35.3	
合 計	96.7	0.1	96.6	96.6	

〔成 果〕

効果的な催告や財産調査等を早期に実施するとともに、納税誠意に欠ける滞納者に対しては債権の差押を中心に実効的な徴収対策に取り組んだ結果、収納率は前年度と比較して0.1ポイントアップし、96.7%となりました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,372,000	2,621,158	0	0	0	0	2,621,158

【主な実施内容】

■口座振替

納税者の利便性向上を図るため、安全で確実な口座振替を推奨しました。

【利用状況】

(単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
町 県 民 税 (普通徴収)	3,205	11	3,194	3,334
固定資産税 都市計画税	22,412	△328	22,740	22,842
軽自動車税	1,104	△17	1,121	1,148
国民健康保険税	10,450	△570	11,020	11,419
合 計	37,171	△904	38,075	38,743

■コンビニエンスストア収納

24時間いつでも便利に納税できるコンビニエンスストア収納により、納税者の利便性向上を図りました。

【利用状況】

(単位 件)

	区分	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
町 県 民 税 (普通徴収)	現年度分	5,413	△164	5,577	5,467
	滞繰分	769	△142	911	1,173
固定資産税 都市計画税	現年度分	14,048	△714	14,762	12,941
	滞繰分	352	△18	370	971
軽自動車税	現年度分	5,098	116	4,982	4,766
	滞繰分	33	△1	34	48
国民健康保険税	現年度分	8,701	△476	9,177	8,021
	滞繰分	954	△345	1,299	2,152
合 計		35,368	△1,744	37,112	35,539

■ P a y B（ペイビー）収納

スマホのアプリで口座を登録し納付書のバーコードを読み取ることでいつでもどこでも簡単に納税が可能な P a y B（ペイビー）収納の利用促進により、納税者の利便性向上を図りました。

【利用状況】

（単位 件）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
町 県 民 税 （普通徴収）	507	161	346	432
固 定 資 産 税 都 市 計 画 税	1,337	517	820	684
軽 自 動 車 税	146	△3	149	74
国民健康保険税	571	172	399	333
合 計	2,561	847	1,714	1,523

■ 地方税共通納税システム（電子納付）

e L T A X（エルタックス）による電子納税の円滑な運用を行うことで、複数の地方団体への一括納付を推進して事業者負担を軽減し、収納事務の効率化を図りました。

【利用状況】

（単位 件）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
町 県 民 税 （特別徴収）	5,953	2,079	3,874	1,548
法 人 町 民 税	112	51	61	29
合 計	6,065	2,130	3,935	1,577

【成 果】

口座振替、コンビニエンスストア収納、P a y B（ペイビー）によるスマホ決済といった収納手段の多様化を図るとともに、e L T A X（エルタックス）による地方税共通納税システム（電子納付）の運用を円滑に行うことで、納税しやすい環境整備による納税者の利便性や安全性の向上に努めました。

町 民 生 活 課

■ 本年度の成果

町民生活課では、町民の皆様の安心安全の確保と地域コミュニティ・市民活動の推進を目標に、以下の事業に取り組みました。

交通安全対策事業では、交通安全関係団体の皆様と各季に啓発活動を行い交通事故防止と交通安全意識の向上に努めるとともに、通学路を中心に道路の危険な箇所への路面標示や注意喚起看板を設置、また危険な交差点に道路反射鏡を設置することで安全の確保に努めました。

自転車対策事業では、駐輪場利用者が安心して利用できるよう適切に管理するとともに、和戸駅駐輪場及び姫宮駅西口駐輪場に防犯カメラの増設工事を行い、防犯対策の向上を図りました。さらに、職員によるパトロールや町民の皆様からの情報提供により発見された放置自転車を適宜撤去することにより、公共空間の美観と安全を確保しました。

防犯活動事業では、地区の要望をもとに防犯灯を設置するとともに、老朽化した防犯灯の交換修繕を実施しました。また、警察との連携により、特殊詐欺被害防止のため、防災行政無線などを通じ防犯情報を町民の皆様へお届けしました。さらに職員による防犯パトロールについても継続して実施しました。

防災活動事業では、備蓄品などの適正な管理を実施するとともに、備蓄食料の更新時期には、自主防災組織、社会福祉協議会などに配布することで有効活用を図りました。また、民間事業者と町との間で新たな協定を締結し、被災者の捜索や被害状況の把握への無人航空機（ドローン）の活用や、町内に完成した物流施設の一部を災害時の一時避難施設として活用することができるようになりました。

みんなで備える防災力強化促進事業（防災コミュニティ促進事業）では、自主防災組織が行う防災資機材の購入や自主防災訓練実施にあたっての費用等について補助金を交付し、自主防災組織の支援に努めました。

消防総務事業では、埼玉東部消防組合を円滑に共同運営するための必要経費を負担しました。

地域の力となる地区コミュニティセンター事業（地域コミュニティ活性化事業）では、第5次総合計画に基づき、地域コミュニティや地区・自治会のサポートを行うための地区コミュニティセンター開設に向け、すべての地区自治会を訪ねる、訪問事業の準備を行いました。

進修館オープンカレッジ事業（進修館管理事業）では、第5次総合計画の前期実行計画に基づき、地域づくりを担う人材やグループを生み出すため、様々な世代が定例的に集まり、地域の課題ややりたいことなどを語り合う場を設けました。様々な学び合いや実験的な取り組みを生み出し、参加者同士が触発される場となるよう、指定管理者と連携して、「進修館の修繕ワークショップ」や「キャンドルナイト」をテーマに進修館オープンカレッジを開催しました。

■ 令和4年度後期実行計画

地域の力となる地区コミュニティセンター事業	50
進修館オープンカレッジ	55
みんなで備える防災力強化促進事業	67

■ 本年度の主要事業

地域コミュニティ活性化事業	105
市民活動推進事業	106
交通安全対策事業	107
自転車対策事業	109
防犯活動事業	110
防災活動事業	110
災害に強いまちづくり啓発事業	112
進修館管理事業	113
消防総務事業	114

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
24,580,000	19,851,165	0	0	0	0	19,851,165

[主な実施内容]

■豊かな地域づくり推進事業費補助金の交付

地域コミュニティの活性化を図り、住みよい豊かなまちづくりを推進するために地区・自治会に対して補助金を交付しました。(単位 円)

事業名	内容	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
コミュニティ活動支援事業	各地区、自治会のコミュニティ活動	5,835,100	△54,900	5,890,000	5,896,300
	地域敬老会開催活動	2,628,825	802,620	1,826,205	0
	コミュニティ掲示板の維持管理運営	427,355	123,876	303,479	60,000
地域カステッアップ事業	地域の問題解決につながる活動	0	0	0	0
	花いっぱい活動	45,000	15,000	30,000	45,000
	地区連絡会活動	0	0	0	0
合計		8,936,280	886,596	8,049,684	6,001,300

■集会所の修繕・維持管理経費の補助

(単位 円)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
修繕補助金	1,627,000 7集会所	△1,326,000 △8集会所	2,953,000 15集会所	2,313,000 11集会所
集会所借地料 固定資産税部分等の補助金	768,072 14集会所	7,685 0集会所	760,387 14集会所	797,441 15集会所

■自治会長等報償金の交付

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
交付地区数	76	0	76	76
交付額	8,508,000	△70,400	8,578,400	8,594,400

76地区の区長・自治会長に自治会長等報償金を交付しました。

(単位 円)

■地区連絡会の開催

区長・自治会長同士で情報の共有や意見交換を行うため、町内4か所で地区連絡会を開催しました。各課からの連絡事項及び資料配布、区長・自治会長間での情報交換を行いました。

[成 果]

地域コミュニティの活性化のため、令和4年度は76の地区・自治会に対してさまざまな補助金を交付しました。

豊かな地域づくり推進事業費補助金については、地域コミュニティの活性化を図る事業や地域敬老会の開催運営費、地区・自治会活動の連絡手段であるコミュニティ掲示板の維持管理等に活用され、各地区自治会のコミュニティ活動の推進に寄与しました。

集会所の修繕・維持管理経費については、集会所のトイレ改修や室内照明のLED化をすることで、集会所の快適性を向上させるとともに、光熱費コスト削減や環境面の負荷軽減にも貢献することができました。

市民活動推進事業

[地域振興担当]

決算書 P70

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,688,000	1,579,835	0	0	0	0	1,579,835

[主な実施内容]

■町民まつりの開催

新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じつつ、規模を大幅に縮小し、次年度へ繋げるために実行委員会を立ち上げて町民まつりを開催しました。

事業名	期 日	場 所
第39回宮代町民まつり	8月21日(日)	スキップ広場及び コミュニティ広場

■クリーン宮代等の実施

郷土の豊かな自然を守り、美しく住みよい環境を作る活動の一環として、クリーン宮代及びクリーン古利根を実施しました。

事業名	期 日
クリーン宮代	5月29日(日)
クリーン古利根	3月5日(日)

[成 果]

多くの町民や各種団体が一緒に事業を実施することで、自分達が住む地域を自分達で美しくしていくとともに、地域コミュニティの活性化にもつながりました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,230,000	11,963,954	0	0	0	0	11,963,954

[主な実施内容]

交通安全運動の実施 14,880円

春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中、広報車巡回による広報活動を実施しました。

春の全国交通安全運動	夏の交通事故防止運動	秋の全国交通安全運動	冬の交通事故防止運動
4月6日～15日	7月15日～24日	9月21日～30日	12月1日～14日

・交通安全運動出陣式

開催日	4月2日	9月17日	12月1日
開催場所	杉戸町役場駐車場	スキップ広場	東武動物公園駅西口
内容	春の全国交通安全運動	秋の全国交通安全運動	冬の交通事故防止運動

・街頭キャンペーン

開催日	4月6日	9月22日
開催場所	東武動物公園駅西口	ピアシティ宮代
内容	春の全国交通安全運動	秋の全国交通安全運動
備考	夏の交通事故防止運動及び冬の交通事故防止運動は悪天候のため中止	

交通指導員による交通指導等 410,672円

通学時における児童等への交通指導を実施しました。

◇児童等への通学時における交差点での交通安全指導

◇交通安全運動(年4回)期間中の広報車両による広報活動 2人×44日 計88人

◇各小学校における交通安全教室 10人

◇登校指導連絡会議(笠原小学校) 4人

交通安全母の会による啓発活動 82,000円

◇高齢者世帯に対するお達者訪問を行い地域における交通安全の啓発活動を実施しました。

実施日	訪問地区	訪問軒数	参加者数	備考
5月24日	百間6丁目	100	8人	啓発チラシ等ポスティング
6月21日	百間6丁目、中島	100	7人	啓発チラシ等ポスティング
計		200	15人	

◇街頭キャンペーン

春の全国交通安全運動 4月6日 3人参加

秋の全国交通安全運動 9月22日 3人参加

交通安全施設の新設・修繕 11,149,906円

路面標示、道路照明灯、道路反射鏡等交通安全施設の新設及び修繕を行いました。

項目	工事数		金額（円）
	新設	修繕	
道路標示等工事	4カ所	8カ所	3,561,800
道路照明灯整備工事	1基	3基	2,427,700
道路反射鏡設置及び修理工	3基	14基	1,992,430

■道路標示等工事の実施

	実施箇所 (交差点名称等)	対策内容
新設	西条原・道佛2丁目・宮代1丁目・中	路面標示「注意」「通学路」外側線・破線・減速マーク
修繕	和戸1丁目	外側線・グリーンベルト・減速マーク・交差点マーク・路面標示「止まれ」
	和戸	外側線・グリーンベルト・破線・交差点マーク・路面標示「通学路注意」「止まれ」
	宮代台2丁目・須賀	路面標示「止まれ」
	山崎・西原	破線・減速マーク・交差点マーク・路面標示「カーブ注意」「止まれ」
	川端2丁目	路面標示「止まれ」
	本田3丁目	路面標示「学童注意」

[成 果]

交通指導員による児童等への交通指導や交通安全母の会による広報活動により、交通ルールの遵守と交通マナーに関する意識の向上を図ることができました。

また、道路反射鏡や路面標示といった交通安全施設の設置や修繕を進めたことで、道路の安全が確保され、交通事故を起こしにくい環境を整備することができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,049,000	6,239,975	0	0	0	5,843,470	396,505

[主な実施内容]

■放置自転車の撤去

安全な道路環境を確保するため、通行に支障となる放置自転車の撤去を行いました。

放置自転車撤去台数 (単位 台)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
放置自転車撤去台数	90	△2	92	100

放置自転車の場所別の撤去台数 (単位 台)

	放置禁止区域			放置禁止 区域以外	合計
	和戸駅周辺	東武動物公園駅周辺	姫宮駅周辺		
放置自転車撤去台数	1	22	4	63	90

■放置自転車の有効活用(リユース)

引き取り手のない放置自転車を宮代町自転車再利用促進会へリユース販売しました。

販売台数 8台(収入 6,800円)

■町営駐輪場の維持管理

5,110,990円

町営駐輪場の業務をシルバー人材センターへ管理委託しました。

使用料収入 (単位 円)

施設名	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
和戸駅第1駐輪場	2,449,250	△201,300	2,650,550	2,140,150
和戸駅第2駐輪場	938,200	△274,200	1,212,400	1,030,850
姫宮駅西口駐輪場	2,393,850	△32,650	2,426,500	2,103,350
計	5,781,300	△508,150	6,289,450	5,274,350

■駐輪場整備工事

586,300円

工事名	金額
駐輪場防犯カメラ設置工事	586,300円

[成 果]

町内パトロールや住民からの連絡により、放置された自転車を撤去・保管するとともに町営駐輪場に盗難防止ポスターを掲示する等利用者が必要とする情報の提供に努めました。また、盗難防止のため、防犯カメラの増設工事を実施しました。

防犯活動事業

[危機管理担当]

決算書 P74

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,167,000	11,057,136	0	0	0	0	11,057,136

[主な実施内容]

■防犯パトロールの実施

職員による青色回転灯を使用した防犯パトロールを実施しました。

- ・パトロール100回(週2回、但し、12月・1月は週3回実施)
- 令和4年4月12日～令和5年3月31日

■防犯灯の新設

193,600円

- ・防犯灯設置工事 11カ所

■防犯灯の維持管理

9,128,044円

維持管理内容	金額(単位:円)
防犯灯電気料	8,540,094
器具交換(蛍光管→一体型LED)	95,700
器具交換(旧型LED→一体型LED)	350,900
その他(器具の撤去、移設、点検等)	141,350

■防災・防犯マスター講座の実施

防災・防犯力の向上を目指し、密接な関係にある防災と防犯を総合的に学べるよう、防災・防犯マスター講座を実施しました。

参加者:10名

実施日:7月26日、8月26日、9月27日、10月16日、11月11日、12月13日

[成 果]

防犯灯を新設または修繕することにより、危険な道路も明るく安心して通行できるようになりました。今年度は老朽化した防犯灯を少ない電力量でも十分な光量を発し、道路を明るく照らせる最新型のものに交換しました。

また、防犯パトロールにおいては、犯罪の抑止力や事件の早期解決に役立つドライブレコーダーをパトロール車両に設置して、動く防犯カメラとして町内の警戒にあたりました。

防災活動事業

[危機管理担当]

決算書 P74

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
34,030,000	33,401,116	3,298,900	0	0	0	30,102,216

※令和3年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■防災行政無線の維持管理

3,013,068 円

維持管理内容	金額 (単位: 円)
防災行政無線電波使用料	76,250
防災行政無線固定局電気料	416,135
防災行政無線テレホンサービス 5 回線 (利用件数 3,697 件)	480,011
防災行政無線遠隔制御器電話料	1,837,044
埼玉県防災行政無線専用回線使用料	203,628

■防災情報システムの維持管理

2,129,594 円

維持管理内容	金額 (単位: 円)
防災情報システム電話回線使用料	1,416,244
防災情報システム管理委託料 (登録制メール)	53,350
テレビ埼玉 (テレ玉) 市町村データ放送サービス利用料	660,000

■防災通信機器の維持管理

110,628 円

維持管理内容	金額 (単位: 円)
災害時優先電話・災害用携帯電話 電話料	110,628

■防災施設維持管理

1,435,720 円

維持管理内容	金額 (単位: 円)
浄水機 (2 台)、発電機 (2 台) 保守点検料	74,800
防災倉庫、防災用施設修繕料	1,360,920

■防災行政無線施設保守業務委託

6,882,700 円

■ハザードマップ増刷業務委託

1,760,000 円

■地域防災計画改定等業務委託

9,680,000 円

■緊急地震速報電文変更業務委託

2,185,150 円

■避難所における感染症対策備品の購入

3,298,900 円

[成 果]

防災行政無線フリーダイヤル (ミヤシロオーツ) や防災・防犯情報を配信する登録制の町民メール、テレビ埼玉 (テレ玉) のデータ放送などの防災行政無線と連携したサービスを維持し、住民に対する多角的な防災情報の発信を行いました。

また、国の防災計画等の修正を踏まえ「個別避難計画作成の努力義務化」や「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所」等の位置付けを行うために地域防災計画を改定しました。令和 2 年度に世帯配布したハザードマップについても増刷しました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
164,000	130,842	0	0	0	0	130,842

[主な実施内容]

■地域防災訓練の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の地域防災訓練よりも開催規模を縮小しましたが、自主防災組織、宮代町消防団、赤十字奉仕団などの防災関係団体を構成メンバーとした実行委員会により訓練種目の検討や運営などを行い、市民参加による体験型の訓練を実施しました。

訓練当日は天候に恵まれ、様々な訓練のほか、要支援者疑似体験や防災関係用品の展示などを行いました。

- ① 実施日 令和4年10月16日(日)
- ② 場 所 宮代町立須賀小学校 校庭・体育館
- ③ 参加人数 297人
- ④ 訓練内容 住民避難訓練／消火器消火訓練／要支援者救出・搬送訓練／給水訓練
バケツリレー訓練／無人航空機(ドローン)救出訓練／仮設トイレ設営訓練
土のう積み訓練／仮設水利のホース延長訓練／応急手当訓練 など

■避難所開設訓練の実施

新型コロナウイルス等の感染症が発生し、収束していない状況での避難所の設営を想定し、感染症が蔓延している中で災害が発生した場合、いかにして避難所を運営していけばよいのか、地震による災害発生時により近い状況での訓練として、避難所開設担当職員を中心とした避難所開設訓練を実施しました。

- ① 実施日 令和4年7月2日(土)
- ② 場 所 宮代町立百間中学校 体育館
- ③ 参加人数 52人

[成 果]

地域防災訓練では、地震を想定した避難訓練や応急手当訓練、要支援者救出・搬送訓練などを実施して、自主防災組織をはじめとした防災関係団体の連携を強化しました。また、ペット防災の啓発や、防災グッズの展示など、様々な防災啓発を行ったほか、防災関係団体の協力のもと無人航空機(ドローン)による捜索と消防団との連携による救出訓練を実施するなど、防災に関する技術の向上と、住民の自助意識の高揚を図りました。

避難所開設訓練では、開始時間を予告せず、町職員への参集メールの受信から訓練を開始し、発災から職員が登庁するまでの参集時間を把握することができました。参集後は役割に応じて災害対策本部の立ち上げと避難所開設及び避難者の受け入れ訓練を行いました。避難所では、検温・問診リストを使用し、健康な者と感染の疑いがある者の動線が交差しないよう設営するとともに、体調不良者を隔離するスペースを設けました。また、災害対策本部立ち上げ後は、本部と避難所をタブレットによる通信で結び、避難所の様子を映像で確認しながら具体的な指示を出すことができ、災害対策本部も実践的な訓練をすることができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
138,724,000	80,586,030	0	0	45,600,000	250,000	34,736,030

※令和4年度予算のうち、51,799,000円を令和5年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

進修館の管理運営を行いました。

■大ホール及び2階ロビーの空調設備改修工事を実施しました。

■進修館の利用状況

令和4年度は359日開館しました。

・進修館

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
大ホール	利用件数	351	25	326	404
	利用人数	24,014	△19,484	43,498	10,513
小ホール	利用件数	389	26	363	233
	利用人数	6,730	435	6,295	3,723
集会室	利用件数	524	177	347	346
	利用人数	3,209	1,932	1,277	2,462
研修室	利用件数	411	97	314	350
	利用人数	4,954	1,819	3,135	2,674
食堂	利用件数	332	72	260	230
	利用人数	3,799	172	3,627	3,401
和室	利用件数	532	117	415	200
	利用人数	3,259	726	2,533	1,258
茶室	利用件数	222	46	176	127
	利用人数	861	213	648	498
談話室	利用件数	465	18	447	296
	利用人数	2,485	59	2,426	1,567
2階ロビー	利用件数	174	75	99	-
	利用人数	1,213	△241	1,454	-
芝生広場	利用件数	63	34	29	23
	利用人数	813	209	604	1,065
合計	利用件数	3,463	687	2,776	2,209
	利用人数	51,337	△14,160	65,497	27,161

・スキップ広場

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
スキップ広場	利用件数	197	126	71	11

[成 果]

施設の貸出では、新型コロナウイルス感染症対策による利用制限等の影響を受けながらも、地域住民や町内外の市民活動団体等の活動拠点として、集会、各種学習、市民活動等に利用され、地域住民の交流や各種団体による市民活動の推進に寄与しました。

また、大ホール及び2階ロビーの空調設備改修工事により、快適な施設利用ができるようになりました。

消防総務事業

[交通安全・消防担当]

決算書 P162

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
489,445,000	478,525,034	0	0	0	2,596,000	475,929,034

[主な実施内容]

■埼玉東部消防組合負担金

452,523,000 円

常備消防を受け持つ埼玉東部消防組合に負担金を支出しました。

(町内における火災・救急の状況)

火災発生状況 (令和4年1月1日～令和4年12月31日) 10件

救急出場件数 (令和4年1月1日～令和4年12月31日) 1,845件

■消防団の事業運営

2,890,000 円

消防設備の各種点検を実施するとともに、消防団員の知識・技術の向上を図るため各種研修及び訓練活動等については、感染防止対策をしながら実施しました。

・消防団員総数及び入退団状況

	団員数 (4/1 現在)	男性	女性
令和2年度	89	83	6
令和3年度	90	82	8
令和4年度	90	82	8

・団員出動状況

出動種別	回数	延べ人数	備 考
火災	4回	74人	※うち応援出動1回・9人
訓練等	79回	862人	
広報・指導	5回	28人	救命講習指導 (女性団員)
警戒	12回	142人	

・ 団員研修状況

研修名	開催日	場所	参加人数
県消防協会久喜支部(新任団員基礎教育研修)	令和4年6月13日	久喜消防署	3人
新入団員現地研修	令和5年1月22日	宮代消防署	3人
県消防協会(新任団員基礎教育研修)	令和5年3月12日	埼玉県消防学校	3人
県消防協会(消防団員初級幹部教育研修)	令和5年1月28日	埼玉県消防学校	1人
県消防協会(消防団員幹部教育研修)	令和5年2月11日	埼玉県消防学校	1人

・ 特別点検の実施

特別点検は、雨天が予想されたため、宮代消防署大会議室において、表彰のみ実施しました。

・ 正副団長会議の実施

令和4年6月29日

・ 役員（副分団長以上）会議の実施

令和4年4月3日、7月10日、9月29日、令和5年1月15日 4回実施

■ 消火栓の管理

3,969,686 円

- ・ 消火栓交換及び修繕 4カ所

[成 果]

コロナ禍の中でありましたが、消防組合及び消防団の活動が円滑に推進され、火災発生時や救急要請に対する迅速な対応が図れました。消防団については、年2回の統一訓練を実施することで消防団員の練度の維持に努めました。また、救急救命講習会や自主防災組織の防災訓練、防災リーダー養成講座等についても、消防組合職員や消防団員の協力により開催することができました。

環境資源課

■ 本年度の成果

環境資源課では、町民の皆様の快適な生活環境の保全・向上を図るために、以下の事業に取り組みました。

西原自然の森活用事業（里山体験事業編）では、第5次総合計画の前期実行計画事業として、福祉課、教育推進課など複数課・担当の連携による、福祉、文化及び自然という3つのテーマが融合したイベント「西原自然の森フェスタ2022」を開催しました。環境資源課は、自然観察や竹を活用したイベント（竹灯ろうアート制作・展示、自然観察会、竹クラフト体験、音魂会、チクタク竹林あそび、西原ナチュラルマルシェ）を行いました。

公害防止対策事業では、不法投棄対策として、警告看板の設置と投棄物の迅速な処理を行いました。

狂犬病予防事業では、引き続き飼い犬に対する狂犬病予防注射の実施の促進に努めました。また、飼い主の異動情報などを適正に管理するため、畜犬管理システムの改修を行いました。

合併処理浄化槽設置推進事業では、汲取り便槽及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進のための補助金交付や、浄化槽の適正管理の啓発として、一般社団法人埼玉県浄化槽協会と連携し、浄化槽利用各世帯に法定検査の受検促進など適正管理を促すダイレクトメールの送付を行いました。

環境衛生事業では、地区・自治会による側溝等の清掃活動の支援や、空き地の適正管理促進のための現地確認と是正指導文書の送付、野良猫の繁殖抑制（TNR）やえさ・トイレの適正管理促進などを行いました。

空き家対策事業では、空き家の適正管理促進のため、町が把握している空き家や、町民から相談を受けた空き家の現地確認と管理不全空き家への是正指導文書の送付を行いました。

清掃総務事業では、宮代町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について、宮代町廃棄物処理検討委員会での検証、見直しを行い、改訂版を策定しました。

■ 令和4年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（里山体験事業編） ----- 27

■ 本年度の主要事業

公害防止対策事業	-----	118
狂犬病予防事業	-----	118
合併処理浄化槽設置推進事業	-----	119
環境衛生事業	-----	120
広域利根斎場組合負担金事業	-----	121
清掃総務事業	-----	121

公害防止対策事業

[環境推進担当]

決算書 P72

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
144,000	8,926	0	8,926	0	0	0

[主な実施内容]

野外焼却や不法投棄などによる環境汚染を防止するため、通報等への迅速な対応及びパトロールを実施し、環境美化に努めました。

不法投棄処理状況			家電4品目の不法投棄状況(宮代町対応分)			
家庭ごみ	粗大ごみ	その他	テレビ	洗濯機・乾燥機	冷蔵庫	エアコン
35件	9件	0件	1台	0台	1台	0台
合計	44件		合計	2台		

[成果]

不法投棄について関係機関と連携し迅速に対応したことにより、不法投棄増加の抑制に向けた対応を行いました。

狂犬病予防事業

[環境推進担当]

決算書 P128

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
647,000	520,750	0	0	0	520,750	0

[主な実施内容]

■犬の登録事務

(単位 頭数)

内 容	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
犬の新規登録	115	△27	142	147
狂犬病予防注射済票の交付	1,205	△41	1,246	1,191
犬の鑑札の再交付	3	3	0	3
狂犬病予防注射済票の再交付	2	2	0	2
登録総頭数(年度末)	1,623	△21	1,644	1,672

■狂犬病予防集合注射の実施

(単位 頭数)

会 場	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度 B
宮代町保健センター	74	△15	89	中 止
すてっぷ宮代駐車場	36	1	35	
川端公民館	70	△1	71	
和戸公民館	49	△14	63	
ぐるる宮代第一駐車場	58	17	41	
東条原集会所	—	皆減	19	
宮代消防署駐車場	19	19	—	
計	306	△12	318	

■犬のしつけ方教室

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
参加人数	-	△19	19	20

※令和4年度は使用会場の都合により、開催を見合わせました。

■畜犬管理システムの改修

352,000円

- ・飼い主の転出等といった異動内容を適切に管理するため、住民基本台帳情報と連携させるための畜犬管理システムの改修を行いました。

[成 果]

今年度の狂犬病予防集合注射は6会場で実施し、狂犬病発生の防止と公衆衛生の向上に努めるとともに、狂犬病予防注射未実施者に対しては再通知を行い、接種率の向上に努めました。また、飼い主の異動情報などをより適正に管理するため、畜犬管理システムの改修を行いました。

合併処理浄化槽設置推進事業

[環境推進担当]

決算書 P136

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,568,000	3,342,000	1,671,000	1,200,000	0	0	471,000

[主な実施内容]

■合併処理浄化槽設置整備補助金の交付

- ・合併処理浄化槽設置者に対し、設置費用の一部を補助しました。

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
転換補助	件数 (件)	6	△2	8	10
	補助金額 (円)	3,342,000	△978,000	4,320,000	6,386,000

[成 果]

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対し6件の補助金を交付しました。また、浄化槽の適正管理の啓発として、一般社団法人埼玉県浄化槽協会と連携し、浄化槽利用各世帯に法定検査の受検促進など適正管理を促すダイレクトメールの送付を行いました。これにより、公共用水域における水質汚濁防止を推進することができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,636,000	3,075,452	0	400,000	0	343,609	2,331,843

[主な実施内容]

■側溝等清掃たい積物の適正処分

- ・地域の方々のご協力による春季及び秋季地区清掃活動に伴い、カマス袋を配布し、汚泥の回収処分を実施しました。

カマス袋の配布	約2,300枚
側溝等清掃汚泥運搬業務委託	27.11 t × 40,000 円 × 1.10 = 1,192,840 円

■あき地環境保全

- ・快適な生活環境の保全及び火災予防・防犯のため、雑草等が繁茂している土地所有者に対し必要な指導又は助言を行いました。

		件数	筆数	うち市街地
対象面積	159,071 m ²	189	354	14,494 m ²
処理面積	56,346 m ²	89	140	9,146 m ²
自己処理	55,693 m ²	85	153	8,863 m ²
委託処理	653 m ²	4	5	283 m ²
処理率	35.4%	—	—	63.1%

■犬猫等の死骸処理状況

- ・町道上の犬猫等の死骸を処理し、環境衛生の向上に努めました。

	犬	猫	たぬき	その他	計
処理件数	0件	28件	14件	32件	74件

※その他⇒カラス・ハト等

■野良猫の繁殖抑制等の実施

- ・猫対策（地域猫活動）の一環である野良猫の繁殖抑制（TNR）を進めるため、埼玉県地域猫活動推進事業費補助金を活用してボランティア団体への支援等を行い、137匹の野良猫の不妊手術を行いました。

■環境問題処理状況

- ・住民からの苦情により現地調査等を行い、対応可能な範囲で環境問題解決に努めました。

雑草・樹木	不法投棄	猫相談	野外焼却	水質	騒音・振動	その他	計
51件	44件	5件	36件	4件	12件	112件	264件

※その他⇒空き家・空き地、害虫対応等

[成 果]

側溝等清掃たい積物の処分や土地所有者等に対するあき地の適正な管理についての指導を行った結果、側溝からの害虫の発生を未然に防ぐとともに繁茂した雑草等の処分を行うことで火災・犯罪等を予防することができ、快適な生活環境を保全することができました。また、野良猫の繁殖抑制（TNR）や、えさ・トイレの適正な管理のための活動促進を行うことによって、猫を起因とする地域の環境問題の解決につなげることができました。

広域利根斎場組合負担金事業

[環境推進担当]

決算書 P138

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,384,000	12,384,000	0	0	0	0	12,384,000

[主な実施内容]

■広域利根斎場組合負担金 12,384,000円
火葬場及び葬祭場の管理運営を受け持つ広域利根斎場組合に負担金を支出しました。

■メモリアルトネの使用状況

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
人	死亡件数	484	108	376	397
	利用件数	288	59	229	243
小動物	利用件数	172	39	133	133

[成 果]

火葬場及び葬祭場を管理運営することにより、288件の利用がありました。

清掃総務事業

[資源循環担当]

決算書 P138

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
557,192,000	557,006,817	0	0	0	0	557,006,817

[主な実施内容]

■久喜宮代衛生組合負担金 554,384,000円
塵芥及びし尿の収集・処理を受け持つ久喜宮代衛生組合に負担金を支出しました。

・資源回収状況(宮代町分)

(単位 t)

種 別	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
可燃系	1,340	△143	1,483	1,565
不燃系	576	△44	620	630
プラスチック系	999	△9	1,008	1,055
計	2,915	△196	3,111	3,250

・ごみ搬入量（宮代町分）

（単位 t）

種 別	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
燃やせるごみ	6,219	73	6,146	6,439
燃やせないごみ	308	△30	338	389
粗大ごみ	152	△14	166	206
有害ごみ	36	△1	37	29
計	6,715	28	6,687	7,063

・し尿収集量（宮代町分）

（単位 kℓ）

種 別	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
し尿	692	113	579	424

■宮代町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画改訂版の策定

2,543,300 円

平成29年度から令和13年度を計画期間とする宮代町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和5年4月の改訂に向け、廃棄物行政に識見を有する人及び公募市民等13名で構成する宮代町廃棄物処理検討委員会において、検討を行いました。

本委員会からの答申を受け、改訂案の作成、パブリックコメントを実施し、本計画改訂版の策定を行いました。

[成 果]

ごみ6,715 t及びし尿692 kℓを適正に処理することにより、町内の清潔な環境を維持し、また、腐敗物等による悪臭等の防止を図ることで地域の環境衛生が向上しました。

また、長期的・総合的な視点に立った一般廃棄物処理のあり方を示すとともに、地球環境に配慮し、地域において循環型社会、脱炭素社会の形成を目的とする宮代町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画改訂版を策定しました。

福 祉 課

■ 本年度の成果

令和4年度におきましては、引き続き町民の皆様が住みなれた地域で、生涯にわたって安心して自立した生活が送れるよう、社会福祉関係団体への支援や各種制度の効果的な運用に努めたところであり、次のような成果をあげることができました。

社会福祉関係では、社会福祉協議会及び民生委員・児童委員協議会に補助金を交付するとともに、様々な活動への支援や連携を行うことにより地域福祉の充実に向けた取組や、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、生活・暮らしの支援を受けられるよう「住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金」、物価・賃金・生活総合対策として「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」を住民税非課税世帯に給付しました。

障がい者福祉関係では、障がいのある方が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、第5期障がい者基本計画、第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画に基づき、各種障がい福祉事業を実施することにより、障がいのある方の身体的・経済的負担及びその介護者の負担の軽減を図りました。

また、手話への理解、手話の普及及び手話に関する施策の推進のため、(仮称)宮代町手話言語条例検討委員会を開催し、手話言語条例に関する検討を行いました

■ 令和4年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（新たな福祉の拠点づくり編） ----- 58

■ 本年度の主要事業

社会福祉事業 -----	124
重度心身障害者医療費支給事業 -----	125
重度心身障害者手当支給事業 -----	125
障害者総合支援事業 -----	126
福祉交流センター運営事業 -----	127
宮代町生活サポート事業 -----	128
介護給付費等支給審査会運営事業 -----	128
障害者地域生活支援事業 -----	129
障害者更生援護事業 -----	130
福祉タクシー等利用料金助成事業 -----	131
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 -----	132
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業 -----	132
障害福祉サービス事業所等緊急支援事業 -----	133

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
32,730,000	32,028,936	2,224,560	3,172,220	0	0	26,632,156

[主な実施内容]

■食事食材提供事業業務委託 2,224,560円(提供食数 2,345食)

■社会福祉関連補助金の交付

社会福祉の向上を図るため、各団体の活動等を支援しました。

(単位 円)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
社会福祉推進事業補助金	24,735,000	499,000	24,236,000	24,228,250
民生委員・児童委員活動費等補助金	4,302,230	132,690	4,169,540	4,194,650

[成 果]

食事食材提供事業では、コロナ禍で生活に困窮した町民に対し、延べ47回、食事や食材の提供を行いました。

社会福祉推進事業においては、社会福祉協議会等に補助金を交付しました。

社会福祉協議会では、地域福祉の充実を図るため、福祉ボランティアとの連携やひとり暮らし高齢者宅への歳末訪問活動などの事業を展開しました。これらの活動を継続的に実施することで安心・安全な地域福祉の実現に寄与しました。

民生委員・児童委員は、令和4年12月に一斉改選となり、47人の委員が委嘱となりました。活動については、コロナ禍により直接面談時には感染症対策を講じながら、主にひとり暮らしの高齢世帯を対象とした訪問活動により、生活状況の把握をすることや介護保険制度等の情報提供など、安心して暮らせる地域社会づくりに寄与しました。



◀食品寄付BOXを無印良品東武動物公園駅前に設置

フードドライブ事業のため、町内7か所に食品寄付BOXを設置

- すてっぷ宮代
- 役場(福祉課・子育て支援課)
- 郵便局(和戸・宮代・姫宮)
- 無印良品東武動物公園駅前

重度心身障害者医療費支給事業

[福祉支援担当]

決算書 P92

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
58,859,000	55,199,427	0	26,895,359	0	0	28,304,068

[主な実施内容]

■重度心身障害者医療費の支給

重度の心身障がいのある方の医療費の自己負担分に対して助成しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
登録者数 (人)	608	△24	632	653
支給件数 (件)	15,598	899	14,699	14,646
支給総額 (円)	54,552,615	814,024	53,738,591	56,990,566
登録者一人あたりの支給額 (円)	89,724	4,695	85,029	87,274
一件あたりの支給額 (円)	3,497	△159	3,656	3,891

※小数点以下、切り捨て

[成 果]

重度の心身障がいのある方608人に対して、15,598件の医療費助成を行い、受給者の経済的負担軽減を図ることができました。

重度心身障害者手当支給事業

[福祉支援担当]

決算書 P92

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
24,993,000	24,751,500	0	7,345,000	0	0	17,406,500

[主な実施内容]

在宅の重度の障がいのある方の経済的な負担を軽減するため、重度心身障害者手当の支給を実施しました。

■重度心身障害者手当の支給

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
身体1・2級 療育(A)・A 精神1級	延べ支給人数(人)	4,090	85	4,005	4,052
	支給額(円)	20,440,500	415,500	20,025,000	20,260,000
身体3級	延べ支給人数(人)	1,133	△77	1,210	1,216
	支給額(円)	2,266,000	△154,000	2,420,000	2,432,000
療育 B	延べ支給人数(人)	812	△16	828	772
	支給額(円)	2,030,000	△40,000	2,070,000	1,930,000
合計	延べ支給人数(人)	6,035	△8	6,043	6,040
	支給額(円)	24,736,500	221,500	24,515,000	24,622,000

[成 果]

在宅の重度の障がいのある方延べ6,035人に対して、重度心身障害者手当を支給したことにより、受給者の経済的支援を図ることができました。

障害者総合支援事業

[福祉支援担当]

決算書 P92

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
828,498,000	798,459,887	406,984,824	203,387,412	0	0	188,087,651

[主な実施内容]

障がいのある方に対し、地域で自立した日常生活・社会活動を営むための各種福祉サービスに係る費用(介護給付費・訓練等給付費)、自立支援医療費(更生医療・育成医療)、補装具費を給付し、障がいのある方の生活の支援を実施しました。

また、第6期障がい者基本計画等の策定に向けたアンケート調査を実施しました。

■介護給付費・訓練等給付費・療養介護医療費

事業名称		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
介護給付費・ 訓練等給付費	利用者数(人)	354	32	322	314
	支出総額(円)	745,007,692	45,709,004	699,298,688	649,375,515
療養介護医療費	利用者数(人)	5	0	5	5
	支出総額(円)	3,704,198	△71,462	3,775,660	4,070,601

■自立支援医療費

事業名称		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
更生医療	利用者数(人)	55	0	55	51
	支出総額(円)	27,662,705	10,553,279	17,109,426	20,416,116
育成医療	利用者数(人)	9	△1	10	8
	支出総額(円)	512,423	△79,145	591,568	500,330

■補装具費

事業名称		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
補装具費	延べ交付者(人)	36	5	31	49
	延べ修理者数(人)	20	△7	27	22
	支出総額(円)	4,685,479	△54,324	4,739,803	10,010,575

■補装具の種類及び交付・修理延べ件数（児童含む）

種類	延べ件数	種類	延べ件数	種類	延べ件数
装具	12件	車いす	8件	補聴器	21件
歩行器	1件	電動車いす	4件	眼鏡	2件
視覚障害者安全つえ	4件	座位保持装置	4件		
合計					56件

■障害者等実態調査の実施

3,036,000円

[成 果]

障害福祉サービスの利用者354人に対し、介護給付費等を給付し、障がいのある方の日常生活や社会生活に必要な支援や訓練の提供に寄与しました。

また、病院等の医療施設で障害福祉サービスを利用している方の医療費を給付する療養介護医療の実施や、身体の機能障がいを軽減・改善するための自立支援医療（更生医療・育成医療）の実施、身体機能を補完するための補装具の購入・修理の費用の給付を行い、利用者の経済的負担および介護者の負担軽減を図ることができました。

福祉交流センター運営事業

[福祉支援担当]

決算書 P94

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,738,000	3,737,220	0	0	0	0	3,737,220

[主な実施内容]

高齢者や障がいのある方、児童などが気軽に集える交流事業を福祉交流センター陽だまりサロンで実施しました。

■利用状況

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
一 般	668	116	552	325
障 が い 者	18	△20	38	41
高 齢 者	3,166	118	3,048	1,635
小 中 高 生	324	251	73	87
乳 幼 児	57	46	11	8
合 計	4,233	511	3,722	2,096

[成 果]

福祉交流センターにおいて、定期事業（健康体操、さをり織り体験等）のほか、イベントを74回実施し、高齢者や児童等の交流の輪が広まりました。また、施設関係者による利用調整会議を毎月1回開催し、イベントの検証や見直しなど適正な事業運営を行いました。

宮代町生活サポート事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P94

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,500,000	606,970	0	302,000	0	0	304,970

[主な実施内容]

登録された民間の事業者が実施する、障がいのある方の一時預かりなどの福祉サービスに対して、補助金を交付し、支援しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
登録事業所数(数)	13	1	12	12
利用数(人)	10	0	10	9
利用時間数(時間)	319.0	△27.0	346.0	351.0
支給総額(円)	606,970	△54,260	661,230	687,155

[成 果]

一時預かりや送迎等のサービスを10人に対して提供し、介護者の負担軽減を図ることができました。

介護給付費等支給審査会運営事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P94

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,171,000	846,258	0	0	0	0	846,258

[主な実施内容]

障害福祉サービスを受けようとする障がいのある方に対して、障害支援区分の審査・判定を実施し、介護給付費・訓練等給付費の支給決定を行いました。

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給対象者	56	△37	93	26
介護給付費のみ	29	△25	54	15
介護給付費+訓練等給付費	7	△13	20	5
訓練等給付費のみ	20	1	19	6

[成 果]

障害福祉サービスを受けようとする障がいのある方56人に対して、障害支援区分の審査・判定を実施し、介護給付費等の支給決定を行い、生活するために必要なサービス提供をしました。

障害者地域生活支援事業

[福祉支援担当]

決算書 P94

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
118,098,920	111,614,807	8,151,000	4,075,000	0	80,293,462	19,095,345

※令和3年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

障がいのある方が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、各種事業を実施しました。

また、手話言語条例策定に向けて(仮称)宮代町手話言語条例検討委員会を設置し、条例に盛り込む内容等について検討しました。

■相談支援事業

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
延べ利用者数(人)	925	△127	1,052	877
支給総額(円)	7,577,064	679,499	6,897,565	6,826,323

※令和4年度は広域事業の幹事としての支出をしており、支出総額は55,060,000円となりました。

■基幹相談支援センター

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給総額(円)	2,510,229	△8,796	2,519,025	2,991,498

※令和4年度は広域事業の幹事としての支出をしており、支出総額は18,241,000円となりました。

■日常生活用具給付等事業

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
延べ利用者数(人)	699	△65	764	714
支給総額(円)	7,474,330	△796,856	8,271,186	7,812,127

■日常生活用具の種類及び支給人数(身体障がい者・重度障がい児(者))

種類	延べ人数	種類	延べ人数
ストマ用装具	537人	移動移乗支援用具	1人
紙おむつ等	138人	視覚障害者用ポータブルレコーダー	1人
入浴補助用具	1人	人工喉頭(人工鼻)	12人
特殊マット	1人	訓練用ベッド	1人
音声式体温計	1人	視覚障害者用時計	1人
パルスオキシメーター	1人	拡大読書器	1人
頭部保護帽	3人	合計	699人

■意思疎通支援事業

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
延べ利用者数(人)	14	6	8	10
支給総額(円)	816,000	129,000	687,000	684,000

※支給総額816,000円のうち、540,000円は手話通訳者・要約筆記者の派遣を委託している埼玉聴覚障害者情報センターの事務管理費となっています。

■地域活動支援センター事業

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
延べ利用者数(人)	1,005	△152	1,157	1,109
支給総額(円)	2,232,868	358,905	1,873,963	2,317,171

※令和4年度は広域事業の幹事としての支出をしており、支出総額は11,028,335円となりました。

■移動支援事業

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
延べ利用者数(人)	469	△79	548	704
支給総額(円)	2,966,655	△106,919	3,073,574	4,046,737

■紙おむつ購入費支給事業

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
登録者数(人)	39	0	39	53
延べ支給件数(件)	266	△16	282	263
支給総額(円)	1,092,993	△9,971	1,102,964	1,111,137

[成 果]

障がいのある方への相談支援、日常生活用具費用の助成、病院等での受診の際の手話通訳者等の派遣、日中の活動の場の提供、外出介助、紙おむつ購入費の支給等、障がいのある方のニーズに応じた利便性の高いサービスを提供したことで、利用者の経済的負担および介護者の負担軽減を図ることができました。

障害者更生援護事業

[福祉支援担当]

決算書 P96

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,117,000	270,000	0	135,000	0	0	135,000

[主な実施内容]

障がいのある方が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、各種事業を実施しました。

■在宅重症心身障害児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
利用日数(日)	20	△10	30	26
支給総額(円)	270,000	△30,000	300,000	310,000

■小児慢性特定疾患児日常生活用具給付金

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給件数(件)	0	△2	2	0
支給総額(円)	0	△90,320	90,320	0

■難聴児補聴器購入費補助金

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給件数(件)	0	△1	1	0
支給総額(円)	0	△200,000	200,000	0

[成 果]

医療的ケアが必要な在宅の重症心身障がい児等を介助する家族の精神的、身体的負担の軽減を図るため、ショートステイ促進事業やデイサービス促進事業を実施する事業者に対し、在宅重症心身障害児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金を交付しました。

福祉タクシー等利用料金助成事業

[福祉支援担当]

決算書 P96

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,208,000	6,594,932	0	0	0	0	6,594,932

[主な実施内容]

障がいのある方の日常生活の利便性の向上と経済的負担を軽減し、地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、福祉タクシーを利用した場合の利用料金の一部又は自動車燃料費の一部を助成しました。

■福祉タクシー券・自動車燃料費助成券の利用状況

	タクシー券	自動車燃料費助成券	合計
利用人数(人)	475	632	1,107
交付枚数(枚)	14,679	6,947	21,626
利用枚数(枚)	5,582	5,578	11,160
支給額(円)	3,312,300	2,789,000	6,101,300
手数料(円)	558,200	—	558,200

タクシー券と自動車燃料助成券の併用を選択している場合、両方に利用人数をカウントしています。

[成 果]

障がいのある方1,107人に対して、福祉タクシー券・自動車燃料費助成券を交付し、障がいのある方の外出を容易にするとともに、経済的負担軽減を図ることができました。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業

[福祉支援担当]

決算書 P96

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
172,100,000	79,549,533	72,886,930	0	0	0	6,662,603

※令和3年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方々に対し、生活・暮らしの支援を行う取組として、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」の給付を実施しました。

[成 果]

住民税非課税世帯等に対して、一世帯当たり10万円の臨時特別給付金を582件(令和4年度給付分)給付し、経済的支援を図ることができました。

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業

[福祉支援担当]

決算書 P98

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
185,794,000	143,942,711	143,942,000	0	0	0	711

[主な実施内容]

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯に対し、生活・暮らしの支援を行う取組として、「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の給付を実施しました。

[成 果]

住民税非課税世帯等に対して、一世帯当たり5万円の臨時特別給付金を2,712件給付し、経済的支援を図ることができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
800,000	800,000	800,000	0	0	0	0

〔主な実施内容〕

原油価格、電気料金、ガス料金その他の物価の高騰の影響を軽減し、地域の安定的な福祉サービスの提供を図るため、宮代町内の障害福祉事業所等を運営する者に対し、緊急支援金を支給しました。

〔成 果〕

障害福祉サービス事業所等に対して、一法人当たり5万円の緊急支援金を16件支給し、経済的支援を図ることができました。

子 育 て 支 援 課

■本年度の成果

令和4年度におきましては、地域に子育ての輪を広げ、子どもたちの夢と笑顔をはぐくめるよう、次のような事業に取り組みました。

こども笑顔担当では、次代の社会を担う子どもたちの健やかな成長に資するため、児童手当の支給を行うとともに、「こども医療費」、「ひとり親家庭等医療費」及び「未熟児養育医療費」の助成により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図りました。このうち、「こども医療費」と「ひとり親家庭等医療費」については、県内指定医療機関での現物給付を開始しました。また、「こども医療費」は、入院に係る医療費の助成対象年齢を18歳年度末までに拡大しました。

このほか、新型コロナウイルス感染症にかかる国による緊急経済対策として「子育て世帯生活支援特別給付金給付事業」を実施する一方、町独自の取り組みとして「子育て世帯への臨時特別給付金給付事業」及び「宮代町子育て世帯応援金給付事業」を実施し、子育て世帯に対する給付金等の支給を行いました。

子育てに関する情報提供や相談及び交流を図る場としての「子育てひろば」及び「子育て支援センター」においては、感染症対策のための利用人数の制限等を段階的に解除したことにより、令和3年度と比べると利用者数等が増加しました。

第5次宮代町総合計画前期実行計画事業である「身近な場所で子育てサロン事業」及び「地域のみんなで子どもたちの居場所づくり事業」については、モデル事業や活動を広げるフォーラム等を実施し、あわせて支援策の検討を行いました。

こども保育担当では、子育て家庭が必要とする教育・保育サービスの相談、申請窓口として、各々の家庭に寄り添った対応を行うとともに、「幼児教育・保育の無償化」に基づく給付の支給認定等を適切に実施しました。

前年度に引き続き、国事業として保育士や学童保育所職員を対象とした処遇改善（賃上げ）事業及び、新型コロナウイルス感染症対策として必要な備品購入等の支援を行いました。

また、県事業に併せて物価高騰の影響を受けた民間保育施設等に対し、給付金による支援を行いました。

保育所の整備については、令和5年4月開所に向けた民間認可保育所「宮東保育園」の整備事業に対する支援を行い、学童保育所については、笠原小学校「ふじ第二児童クラブ」の建設を進め、令和5年3月に竣工しました。

こども安心担当では、増加する児童虐待への対応や要保護児童等への支援強化を図ることを目的に、専任の有資格者を配置した「子ども家庭総合支援拠点」を設置しました。支援拠点では、支援が必要な世帯に対して、定期的なお弁当や食材等の提供等を通じて子どもや家庭の状況を把握し、さまざまな支援を行いました。

また、ヤングケアラー対策として町立小中学校生にパンフレットを配布し、啓発に努めました。子育て援助事業として、「ファミリーサポートセンター運営事業」及び「緊急サポート運営事業」

等を実施しました。

町立保育園では、家庭との緊密な連携・協力体制のもと、感染対策を施しながら安心、安全な保育環境を確保するとともに、一人ひとりの個性や発達過程を踏まえながら、子どもたちの主体性や豊かな感性、表現力を育むことを目標に掲げ、保育を実施しました。

また、引き続きみやしろ保育園においては、「障害児デイサービス事業」「病児保育・病後児保育事業」「一時預かり保育事業」を実施し、様々な保育ニーズに即した子育て支援策を実施しました。

■ 令和4年度前期実行計画

身近な場所で子育てサロン事業	52
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業①	53

■ 本年度の主要事業

学童保育所運営事業	137
学童保育所整備事業	138
ひとり親家庭等の医療費支給事業	138
児童福祉対策事業	139
こども医療費支給事業	140
みんな子育て！こども未来事業	141
障害児デイサービス事業	143
未熟児養育医療費給付事業	143
私立幼稚園運営支援事業	144
緊急サポート運営事業	144
ファミリーサポートセンター運営事業	145
子育てのための施設等利用給付事業	146
子ども家庭総合支援事業	147
子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	147
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	148
宮代町子育て世帯応援金給付事業	148
児童手当支給事業	149
みやしろ保育所運営事業	150
国納保育所運営事業	151
保育所管理事業	151

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
170,809,400	165,550,893	42,739,597	42,180,000	0	30,945,740	49,685,556

※令和3年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

小学校に在学する児童のうち、保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者に代わり保育を行いました。

令和2年度からすべての児童クラブにおいて、指定管理者による管理運営を導入しています。

■各学童入所状況

(年間平均・単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
かえで第一児童クラブ	34	△ 3	37	42
かえで第二児童クラブ	52	△ 1	53	36
かしの木児童クラブ	81	3	78	84
いちょうの木児童クラブ	59	△ 4	63	65
いちょうの木児童クラブ分室	16	2	14	15
ふじ児童クラブ	180	29	151	138
合 計	422	26	396	380

※ いちょうの木児童クラブ分室については、平成31年4月から東小学校敷地外の民間施設にて実施

※ ふじ児童クラブについては、令和2年4月から新施設に移転

※ かえで第二児童クラブについては、令和3年6月から2クラスでの運営を実施

■指定管理者

	指定管理者	指定期間
かえで第一児童クラブ かえで第二児童クラブ	特定非営利活動法人 宮代町かえで児童クラブ	H31. 4. 1~R6. 3. 31
かしの木児童クラブ いちょうの木児童クラブ いちょうの木児童クラブ分室 ふじ児童クラブ	株式会社 アンフィニ	R2. 4. 1~R7. 3. 31

[成 果]

保護者の就労を支援するために、学童保育所において放課後や学校の長期休暇時に児童の余暇指導等を行いました。さらに、指定管理者による安心・安全、適正な管理運営により、児童の自主性、社会性、創造性を養いながら、健全育成を図ることができました。

学童保育所整備事業

[こども保育担当]

決算書 P112

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
162,836,000	162,424,738	58,119,000	14,529,000	0	0	89,776,738

[主な実施内容]

増加する学童保育所(放課後児童クラブ)への入所希望児童を受け入れるため、笠原小学校にある学童保育所(ふじ児童クラブ)について、定員120名(3支援単位)のふじ第二児童クラブを保健センター駐車場内に増設しました。

■ふじ第二児童クラブ整備工事(学童保育所整備事業)

157,575,000円

[成 果]

令和5年度において、ふじ第二児童クラブの増設により、ふじ児童クラブの定員が280名となったため、利用希望者212名すべての児童が入所できました。

ひとり親家庭等の医療費支給事業

[こども笑顔担当]

決算書 P104

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,401,000	7,716,263	0	3,364,132	0	0	4,352,131

[主な実施内容]

■ひとり親家庭等の医療費(一部負担分)を支給しました。

令和5年1月から、県内指定医療機関で現物給付となりました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
平均対象者数(人)	205	△25	230	269
延べ件数(件)	2,533	△132	2,665	3,086
支給総額(円)	7,575,172	△110,743	7,685,915	9,667,557
一件あたりの支給額(円)	2,991	107	2,884	3,133

[成 果]

ひとり親家庭等に医療費(一部負担分)を支給することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
239,828,700	237,584,271	136,255,589	13,366,000	0	0	87,962,682

※令和3年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

子ども・子育て支援事業計画に基づき、質の高い幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の推進を図り、あわせて事業の実施状況等を検証するため、計画の進行管理を行いました。また、民間保育所等に入所中の児童の健全育成を図るため、各種特別保育事業に対し補助を行いました。

■民間保育所等補助金（特別保育事業） 27,785,000円

延長保育事業や低年齢児保育事業など、児童福祉の向上を図る事業について補助金を交付しました。

■民間保育所等補助金（感染症対策事業・保育士等処遇改善臨時特例事業・ICT化推進事業）

4,310,000円

民間保育所等における新型コロナウイルス感染拡大防止を図る事業の経費の一部又は全部、及び施設に従事する保育士等の処遇改善に係る経費の一部並びにICT化推進等事業について補助金を交付しました。

■民間保育所等補助金（待機児童対策事業費補助金） 9,521,210円

認可定員に対し、継続して120%を超えて、児童を受け入れる体制を整備する保育所に対し補助金を交付しました。

■民間保育所等給食費補助金 5,920,000円

児童の発育段階、健康状態及びアレルギー等の体質に配慮した給食を提供する取り組みについて補助金を交付しました。

■民間社会福祉施設整備事業費補助金 134,476,000円

社会福祉法人等が行う保育所等の整備事業に対して補助金を交付しました。

■物価高騰対策給付金（民間保育所等・放課後児童クラブ） 1,206,700円

物価高騰により運営に影響を受けた民間保育施設及び放課後児童クラブに対して給付を行いました。

■副食費の補足給付費補助金 2,630,828円

幼稚園利用者の給食費（副食費）の一部について補助を行いました。

■PCR検査キット等の購入

989,292円

保育所及び学童保育所等における新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、保育従事者用の簡易抗原検査キットを購入し、町内の各施設に配布しました。

[成 果]

子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行い、安心して子育てできる環境整備等を進めることができました。

また、民間保育所等に対して補助を行い、入所児童の受入拡大を図るとともに、延長保育や子育て支援センター、一時預かり事業等の多様な保育を提供することにより、児童の健全育成、仕事と家庭の両立支援を図ることができました。

こども医療費支給事業

[こども笑顔担当]

決算書 P106

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
106,715,000	94,328,595	0	12,803,100	0	0	81,525,495

[主な実施内容]

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、こども医療費を助成しました。
令和4年10月から、県内指定医療機関で現物給付となりました。

■入院分

中学校卒業年度末までの入院分に係るこども医療費の一部負担金に対して全額助成しました。
令和4年10月から18歳年度末までに拡大しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
平均対象者数(人)	3,720	△56	3,776	3,829
延べ件数(件)	227	△46	273	273
支給総額(円)	8,948,100	△2,692,142	11,640,242	10,017,781
一件あたりの支給額(円)	39,419	△3,219	42,638	36,695

■通院分

中学校卒業年度末までの通院分に係るこども医療費の一部負担金に対して全額助成しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
平均対象者数(人)	3,720	△56	3,776	3,829
延べ件数(件)	37,270	△3,428	40,698	40,137
支給総額(円)	82,395,446	12,967,073	69,428,373	66,429,829
一件あたりの支給額(円)	2,211	505	1,706	1,655

[成 果]

医療費の一部負担金を助成することによって子育て家庭の経済的負担を軽減し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,527,000	4,142,610	864,000	864,000	0	500,000	1,914,610

【主な実施内容】

子育てに関する情報提供や各種相談受付などを行うとともに、親子及び保護者間の交流の場の提供、乳幼児等と他世代や地域との交流を図る事業を実施しました。

昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として利用人数の制限等を実施しましたが、段階的に制限を緩和したこともあり、子育て支援センターの利用人数は増加し、各種教室イベント等の参加人数も持ち直しつつあります。

■子育て支援センターの利用者数

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
子育てひろば	12,178	2,148	10,030	5,153
こども	7,532	1,696	5,836	2,960
保護者	4,646	452	4,194	2,193
げんきっ子	2,468	400	2,068	1,434
こども	1,419	221	1,198	809
保護者	1,049	179	870	625

■主な実施事業（子育てひろば）

①幼児、児童に健全な遊びの機会を設け、情緒を豊かにすることや親子間での交流を図ることを目的とした事業

(単位 人)

事業名	内 容	参加者数
年齢別教室	1～3歳児を対象とした親子での遊びや友だちづくり	613
工作親子教室	幼児、児童、親子向けの工作教室等	523
乳児向け教室	親子での遊びや友だちづくり	193
絵本の日	あおむしの皆さんによる乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせ	110

②子育て中の親等を対象にしたリフレッシュ事業

(単位 人)

事業名	内 容	参加者数
産後ボディケア講座	産後ボディケアによる子育て世代ママのリフレッシュ	35

③屋外等広い場所で体を動かしてあそぶ事業

(単位 人)

イベント名	内 容	参加者数
はじめてのあそび他	ベースボール5、SASEEN体験等	151

④三世代交流事業

(単位 人)

事業名	内 容	参加者数
まこも馬づくり	七夕のまこも馬を作り、伝統行事への理解を深める	19
ミニ門松づくり	ミニ門松を作り、正月文化を体験する	28
紙とんぼづくり	昔ながらの遊びを体験し、ふれあい親しむ	100

■主な実施事業（げんきっ子）

①幼児、児童に健全な遊びの機会を設け、情緒を豊かにすることや親子間での交流を図ることを目的とした事業 (単位 人)

事業名	内 容	延べ参加者数
げんきっ子の日	簡単な製作等	241
園庭開放	国納保育園の園庭で遊ぶ	153
幼児向け教室他	ボーイズスキンケア講座、はみがき教室等	27
運動会他	ミニ縁日、ミニ運動会、ハロウィンパーティ、クリスマス会、水遊び、プラバンキーホルダー作り、リトミック	206

②子育て中の親等を対象にしたリフレッシュ事業

(単位 人)

事業名	内 容	参加者数
産後ボディケア講座	産後ボディケアによる子育て世代ママのリフレッシュ	10
ベビーマッサージ講座	ベビーマッサージによる子育て世代ママのリフレッシュ	9
ヨガ教室	ヨガ教室による子育て世代ママのリフレッシュ	16

■子育て相談の実施

役場内「子育てひろば」にて毎週月・水・木曜日に、また国納保育園内「げんきっ子」にて毎週火・金曜日に、専門の相談員による子育て相談を実施しました。

・相談件数

(単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
育 児 相 談	75	△18	93	64
子育てひろば	20	2	18	18
げんきっ子	55	△20	75	46
乳幼児健全育成相談	139	19	120	43
こども家庭相談	43	15	28	15
オンライン子育て相談	0	0	0	0

[成 果]

■乳幼児、児童向け事業

乳幼児、児童に健全な遊びの機会を設けたことにより、子どもの情緒を豊かにし、親子間での交流を図ることができました。

■屋外等広い場所で体を動かしてあそぶ事業

新型コロナウイルス感染症の影響により遊ぶ機会が失われていた親子に、屋外等広い場所で体を動かし遊ぶ事業を実施し、親子や家族間の交流を図ることができました。

■三世代交流事業

子どもや高齢者との交流の場として、まこも馬づくり、ミニ門松づくり、紙とんぼづくりを開催し、子どもたちの豊かな情操と社会性、協調性を育むとともに、文化や伝統に触れる機会を作りました。

■子育て相談

子育てについての不安や悩みなどを持っている保護者に対する相談、援助を実施し、子育て中の孤独感や不安感などの解消を図ることができました。

障害児デイサービス事業

[みやしろ保育園]

決算書 P108

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
367,000	308,484	0	0	0	0	308,484

[主な実施内容]

町内に居住する2歳児から小学校就学の始期に達するまでの児童を対象とし、心身に発達の遅れが見られ、医療機関または保健センターにおいて療育が必要と認められた児童を受入れ、基本的動作の指導、訓練及び給食保健衛生並びに集団生活への適応訓練等の療育を行い、児童の健やかな発育を支援するとともに、家族への支援も実施しました。(令和4年度受入児童 4人)

[成 果]

児童の成長・発達状況や個性に配慮した保育を行うとともに、保護者への助言・相談を実施し、あわせて言語聴覚士による言葉の発達相談を行うなど、児童それぞれに合った療育的な取り組みにより、集団生活に必要な友だちとのかかわりや習慣を身につけることへの支援ができました。

未熟児養育医療費給付事業

[こども笑顔担当]

決算書 P108

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,403,000	1,772,628	560,000	280,000	0	328,740	603,888

[主な実施内容]

身体の発育が未熟な状態で生まれ、入院を必要とする乳児に対して、その治療に必要な医療費を町が負担しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
対 象 者 数 (人)	9	△5	14	8
延 べ 件 数 (件)	17	△7	24	13
支 給 総 額 (円)	1,771,997	△640,575	2,412,572	1,310,960
一件あたりの支給額(円)	104,235	3,711	100,524	100,843

[成 果]

養育のため入院を必要とする未熟児の入院費を助成し、安心して必要な医療を受けられるよう支援することにより、乳児の健康の保持・増進を図ることができました。

私立幼稚園運営支援事業

[こども保育担当]

決算書 P108

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,285,000	1,587,628	0	0	0	0	1,587,628

[主な実施内容]

■私立幼稚園振興助成金の交付

幼児教育の向上及び障がい児教育の充実を促進するとともに、保護者の負担軽減を図ることを目的として私立幼稚園に振興助成金を交付しました。

(単位 円)

幼稚園名	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
宮代幼稚園	150,000	0	150,000	150,000
宮代須賀幼稚園	150,000	0	150,000	150,000
宝光寺幼稚園	390,000	240,000	150,000	150,000
姫宮成就院幼稚園	896,000	△354,000	1,250,000	1,110,000
合計	1,586,000	△114,000	1,700,000	1,560,000

[成 果]

町内私立幼稚園に対し助成を行うことにより、保護者の負担を増やすことなく、各幼稚園の学習環境等の改善や、幼児教育プログラムの向上及び心身障がい児教育の充実に寄与することができました。

緊急サポート運営事業

[こども安心担当]

決算書 P110

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
528,000	528,000	176,000	176,000	0	0	176,000

[主な実施内容]

地域で安心して子育てができるように、子育ての急なお手伝いをしてほしい方(利用会員)と子育てのお手伝いができる方(提供会員)がそれぞれ会員となり、有償の援助活動を行うことで子育てを助け合いました。

■事業概要

援助内容 子どもの風邪等で保育施設を利用できないときの預かり、保護者の体調不良等で保育が困難なときの預かり、宿泊を伴う子どもの預かりなど

利用時間 24時間(宿泊可) ※申込は利用希望日の当日まで

■緊急サポート会員数

(単位 人)

名 称	4 年度 A	増減 A-B	3 年度 B	2 年度
利用会員	62	6	56	37
提供会員	21	9	12	12
両方会員	0	0	0	0
合 計	83	15	68	49

■緊急サポート活動状況

(単位 件)

活動内容	4 年度 A	増減 A-B	3 年度 B	2 年度
病 児	0	0	0	0
預 かり	3	3	0	1
送 迎	0	0	0	0
宿 泊	0	0	0	0
合 計	3	3	0	1

[成 果]

前年度は利用実績がありませんでしたが、令和4年度は早期・夜間等の緊急時の子どもの預かりを行い、子育て世帯を支援することができました。

ファミリーサポートセンター運営事業

[こども安心担当]

決算書 P110

4 年度予算 (円)	4 年度決算 (円)	4 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,947,000	4,675,300	1,544,000	1,544,000	0	500,000	1,087,300

[主な実施内容]

地域で安心して子育てができるように、子育てのお手伝いをしてほしい方(利用会員)と、子育てのお手伝いができる方(提供会員)が会員となり、地域で子育てを助け合う有償の援助活動です。

■事業概要

援助内容 保育園、幼稚園、学童保育所、習い事への送迎及びその前後の預かりなど

親のリフレッシュのための預かり、学校行事への参加時の預かりなど

利用時間 午前6時～午後8時 ※申込は利用希望日の2か月前から2週間前まで

■ファミリー・サポート・センター会員数

(単位 人)

名 称	4 年度 A	増減 A-B	3 年度 B	2 年度
利用会員	105	12	93	77
提供会員	62	6	56	55
両方会員	3	0	3	2
合 計	170	18	152	134

■ファミリー・サポート・センター活動状況

(単位 件)

活 動 内 容		4 年 度 A	増 減 A-B	3 年 度 B	2 年 度
保育園 幼稚園	開始前・終了後の送迎	87	2	85	66
	開始前・終了後の託児	33	30	3	10
学 童	開始前・終了後の送迎	240	△8	248	196
	開始前・終了後の託児	87	△99	186	91
小学校	開始前・終了後の送迎	13	△2	15	10
	開始前・終了後の託児	0	△1	1	4
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの 学校行事の場合の送迎・預かり		22	3	19	0
保護者等の外出の場合の送迎・預かり		29	27	2	0
保護者等の就労（短期・臨時・求職活動等）の場 合の送迎・預かり		2	2	0	4
保護者等の病気、急用等の場合の送迎・預かり		0	0	0	0
学習塾や習い事等の送迎		28	3	25	25
保育所施設等入所前の援助		0	0	0	0
保護者等のリフレッシュや習い事のための預かり		0	△33	33	0
その他		90	5	85	210
合 計		631	△71	702	616

[成 果]

保育園や学童保育、習い事への送迎、保護者の就労や外出時の預かり保育等の援助活動により、子育て世帯を支援することができました。

子育てのための施設等利用給付事業

[こども保育担当]

決算書 P110

4 年度予算 (円)	4 年度決算 (円)	4 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
178,926,000	138,999,950	69,373,985	34,287,668	0	0	35,338,297

[主な実施内容]

幼児教育・保育無償化により、子ども・子育て支援新制度未移行の私立幼稚園等に就園する満3歳児・3歳児・4歳児・5歳児のいる世帯の保護者に対して、特定子ども・子育て支援施設等（幼稚園、預かり保育、認可外保育、一時保育等）の利用に要した費用について施設等利用費を支給しました。

(単位 円)

	4 年 度 A	増 減 A-B	3 年 度 B	2 年 度
幼 稚 園	130,140,000	△ 8,480,640	138,620,640	148,440,130
預かり保育事業	5,131,050	45,510	5,085,540	4,547,290
認可外保育施設	3,550,300	210,300	3,340,000	2,628,790
一時預かり事業	178,600	△125,800	304,400	106,550
合 計	138,999,950	△8,350,630	147,350,580	155,722,760

[成 果]

私立幼稚園等の保護者の負担を軽減することにより、幼児教育が受けやすい環境を整えました。また、預かり保育や認可外保育施設等の利用料を支給することにより、保護者の就労等を支援しました。

子ども家庭総合支援事業

[こども安心担当]

決算書 P110

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,929,000	7,358,717	4,764,000	352,000	0	0	2,242,717

[主な実施内容]

保育園や学校等へ訪問し、虐待防止の周知や見守りが必要な世帯に関する情報収集を行うとともに、ヤングケアラーの周知のため町立小中学校生へパンフレットを配布しました。

また、子どもの養育等に関して悩みや不安があるなど、見守りが必要な世帯を定期的に訪問し、食材やお弁当の提供を通じて子どもや家庭の状況把握を行いました。

■生活支援

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B
対象世帯数(世帯)	6	3	3
対象者数(人)	25	11	14
家庭訪問等の支援(回)	249	166	83

※令和3年7月開始

■お弁当配布 (令和3年7月から開始)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B
対象世帯数(世帯)	13	1	12
対象者数(人)	51	6	45
弁当配布(回)	51	16	35
弁当配布(個)	2,245	765	1,480

※令和3年7月開始

[成 果]

保育園や学校等を訪問し、虐待の未然防止のための情報収集を行うことができました。また、定期的な家庭訪問により、子どもや家庭の状況を把握しながら、必要な生活支援等を行い、虐待の早期発見及び防止を図りました。

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

[こども笑顔担当]

決算書 P112

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,200,000	6,700,220	6,700,000				220

※令和3年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

国の新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策において、所得制限により支援対象とならなかった児童手当の特例給付を受給する公務員または16～18歳児童を養育する世帯に対し、町独自の取り組みとして対象児童一人あたり10万円の給付金を支給しました。

支給対象者数(人)	58
支給対象児童数(人)	67
支給額(円)	6,700,000

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活の支援に寄与することができました。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

[こども笑顔担当]

決算書 P112

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,995,000	12,176,145	12,176,145	0	0	0	0

[主な実施内容]

新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための経済対策として、18歳以下の児童を養育する低所得の子育て世帯に対し、対象児童一人あたり5万円の給付金を支給しました。

支給対象者数(人)	131
支給対象児童数(人)	223
支給額(円)	11,150,000

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活の支援に寄与することができました。

宮代町子育て世帯応援金給付事業

[こども笑顔担当]

決算書 P112

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
123,046,000	120,367,410	120,092,025	0	0	0	275,385

[主な実施内容]

新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響に対応するための経済対策として、中学生以下の児童を養育する子育て世帯に対し、対象児童一人あたり2万円の給付金を支給しました。さらに、追加給付分として対象児童一人あたり1万円の給付金を支給しました。

支給対象者数（人）	2,391
支給対象児童数（人）	3,987
支 給 額（円）	119,220,000

[成 果]

新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活の支援に寄与することができました。

児童手当支給事業

[こども笑顔担当]

決算書 P114

4年度予算 （円）	4年度決算 （円）	4年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
429,395,000	418,449,063	290,513,666	63,645,666	0	0	64,289,731

[主な実施内容]

次代の社会を担う児童の健やかな成長を社会全体で応援する観点から、中学校卒業までの児童を養育している方に児童手当を支給しました。

令和4年6月から、所得上限限度額が設けられました。

■支給額（一人あたり月額）

3歳未満：15,000円、3歳以上小学校修了前：10,000円（第3子以降は15,000円）

中学生：10,000円 ※所得制限限度額以上、所得上限限度額未満の場合は、一律5,000円（特例給付）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
延べ児童数（人）	38,582	△1,373	39,955	40,838
被用者	32,990	△1,121	34,111	34,508
非被用者	5,592	△252	5,844	6,330
延べ受給者数（人）	23,414	△955	24,369	25,297
被用者	20,084	△689	20,773	21,289
非被用者	3,330	△266	3,596	4,008
支給総額（円）	417,935,000	△12,200,000	430,135,000	443,145,000
被用者	356,795,000	△10,200,000	366,995,000	373,905,000
非被用者	61,140,000	△2,000,000	63,140,000	69,240,000

※ 6月（2～5月分）、10月（6～9月分）、2月（10～1月分）支給

[成 果]

児童を養育している方に児童手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与することができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
30,358,000	28,609,525	4,615,869	2,581,000	0	9,138,562	12,274,094

[主な実施内容]

保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者の協力のもとに家庭と連携を図り、家庭養育の補完を行いました。

保育園においては、子どもたちが健康、安全で情緒の安定した生活が送れるよう環境を整備し、健全な心身の発達を図るとともに、保育目標「あかるいこ つよいこ すなおなこ」に基づき、子どもひとりひとりの個性を尊重した保育を実施しました。

■一時預かりの実施

一時的な保育需要、保護者の傷病等による緊急時の保育需要及び保護者の育児に伴う心理的、身体的負担を解消するなどの保育ニーズに対応するため、一時預かりを実施しました。

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
みやしろ保育園	1,024	△320	1,344	853

■病児保育・病後児保育の実施

病気又はその回復期にある生後6か月から小学校3年生までの子どもを対象とするもので、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言中は、感染拡大予防として利用対象を外傷のみに制限して実施しました。

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
みやしろ保育園	34	1	33	7

■工事・修繕の実施

(工事 3,135,869円) (修繕 1,071,699円)

快適な保育環境を維持するため、園舎照明器具のLED化や自動水栓器具取付工事等を実施しました。また、利用者の安全・危機管理のため、外部放送設備増設・自動ドア電気錠の設置・エントランス雨漏り修繕等を実施しました。

■第三者評価の受審

第三者評価委託料 304,000円

みやしろ保育園が提供する福祉サービスの質について改善すべき点や目標を明らかにし、質の向上を図りました。

[成 果]

通常保育をはじめ、一時保育、病児保育・病後児保育等、様々な状況にあわせた保育の実施により、子どもの健全な育成や就労している保護者等の負担軽減に寄与することができました。また、園生活において、全ての児童が健康で安全に過ごせるように感染対策を施しながら、保育内容や体験活動を工夫することにより、一人ひとりの感受性を豊かに育み、思いやりの気持ちが生まれるような保育を実施することができました。

国納保育所運営事業

〔国納保育園〕

決算書 P118

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
35,797,000	32,608,491	3,872,781	0	0	8,331,929	20,403,781

〔主な実施内容〕

保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者の協力のもとに家庭と連携を図り、家庭養育の補完を行いました。

保育園においては、子どもたちが健康、安全で情緒の安定した生活が送れるよう、健全な心身の発達を図るとともに、保育目標「あかるいこ つよいこ すなおなこ」に基づき、一人ひとりの個性を尊重した保育を実施しました。

■工事・修繕の実施

(工事 5,025,911 円) (修繕 699,666 円)

快適な保育環境を維持するため、園舎照明器具のLED化や自動水栓器具取付工事等を実施しました。また、利用者の安全・施設整備のため、保育室床張替工事・トップライトシーリング打替工事等を実施しました。

〔成 果〕

健康で安全な生活を過ごせるように感染対策を施しながら、主体的な活動を通して、子ども一人ひとりの想像力、創造力を引き出し、また、ともだちへの思いやりが育まれるような保育を実施することができました。

保育所管理事業

〔こども保育担当〕

決算書 P120

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
511,415,000	476,241,473	230,372,840	97,342,786	0	27,290,220	121,235,627

〔主な実施内容〕

保護者の就労等により保育を必要とする児童について、保護者に代わり保育施設等で保育を行うため、公立保育園の運営管理及び私立保育所等への保育の委託を行いました。

■管内入所延べ児童数

(単位 人)

	公 立		私 立						合 計
	国納	みやしろ	姫宮	百間	本田	カント・ナラー 5丁目園	カント・ナラー 2丁目園	カント・ナラー ピアティ園	
3歳未満児	410	420	319	371	324	239	204	260	2,547
3歳以上児	688	795	520	528	708	0	0	0	3,239
合 計	1,098	1,215	839	899	1,032	239	204	260	5,786

■委託延べ児童数

(単位 人)

	公 立		私 立		合 計
	市町村名	人 数	市町村名	人 数	
3 歳未満児	久喜市	9	春日部市	45	160
	古河市	9	白岡市	12	
	上尾市	12	伊奈町	12	
	杉戸町	5	久喜市	36	
			越谷市	18	
			杉戸町	2	
3 歳以上児	幸手市	28	春日部市	67	127
	春日部市	22	蓮田市	5	
	杉戸町	5			
合 計		90		197	287

■受託延べ児童数

(単位 人)

	公 立		私 立		合 計
	市町村名	人 数	市町村名	人 数	
3 歳未満児	幸手市	10	杉戸町	13	27
			春日部市	4	
3 歳以上児	杉戸町	23	杉戸町	24	78
	白岡市	12	蓮田市	9	
	春日部市	4			
	上尾市	6			
合 計		55		50	105

[成 果]

保護者の就労や病気などにより保育を必要とする場合において、児童を保育施設等で保育することにより、家庭等の負担を軽減し、児童の心身の健全な発達を図ることができました。

健康介護課

■ 本年度の成果

健康介護課では、「みやしろ健康福祉プラン」並びに「宮代町健康増進計画及び食育推進計画」に基づき、町民の皆様が住み慣れた宮代町で健康で自立した生活を送ることができるよう、そして安心して老後が迎えられるよう、各種事業に取り組みました。

柱のひとつ、「高齢者支援」では、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、様々な立場の方々に応じた環境づくりを行いました。

まず、地域の中で、人と人がつながりながら互いを思いやる社会を築くために、「地域交流サロン」や自治会単位での「地域敬老会」、「さわやかクラブ」などの地域活動への支援、そして災害時に自力での避難が困難な方が無事に避難できるよう、地域の自主防災組織への名簿提供など、地域コミュニティの醸成を図りながら、高齢者の方を介して互いに支え合う地域づくりに努めました。

また、加齢による体力の衰えを防ぎ、自立した生活を送れるよう、ニーズに応じた介護予防の講座・教室を充実してご用意しました。その上で、介護が必要となった方やそのご家族の方のご負担を軽減できるよう、介護保険制度を適切に運営いたしました。

さらに、介護事業所に対して新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための抗原検査キットの配布、物価高騰対策緊急支援金の支給を実施しました。

いまひとつの柱は、「町民の皆様の健康の維持・増進」です。

感染症や疾病の予防対策として、乳幼児の定期予防接種をはじめとした定期の予防接種を着実に実施したほか、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策の要となるワクチン接種に取り組み、接種対象を拡大し、乳幼児から高齢者までの町民の皆様に円滑に接種いただくことができました。併せて、疾病の早期発見・早期治療につながるよう各種がん検診等を実施、受診勧奨にも努めました。

母子保健では、妊娠から出産、そして育児までの子育てを総合的に支えるために設置した「子育て世代包括支援センター」を拠点として、母子健康手帳の交付から妊婦への面接、出産後の赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査、健康相談など、継続した育児支援を行いました。また、継続的な相談支援と出産・育児用品購入等の経済的負担軽減を図る経済的支援として、令和4年度から出産・子育て応援交付金事業を開始しました。

これらの取組を掲げた、町の健康増進計画では、「健康は宝 ずっと健康 ずっと笑顔のまち ～ほどよく、コツコツ健康づくり～」を基本理念としています。この理念に基づき、町民の皆様が普段の生活から健康を意識され、ご自身で健康づくりに取り組めるよう、「みやしろ健康マイレージ事業」を始めとした啓発にも努めています。

引き続き、すべての町民の皆様お一人お一人に寄り添った、きめ細やかなサービスが提供できるよう、取り組んでまいります。

■ 令和4年度前期実行計画

おかえりなさい地域デビュー事業	56
若い世代の健康づくり促進事業	60
高齢者困りごとサポート隊事業	69

■ 本年度の主要事業

みやしろ健康福祉プラン策定事業	155
低所得者利用者負担対策事業	155
避難行動要支援者支援事業	156
長寿いきがい支援事業	157
高齢者施設等感染症対策事業	157
高齢者施設等緊急支援事業	158
保健衛生総務事業	158
保健予防事業	159
母子保健事業	162
健康診査事業	166
健康教育事業	167
健康相談事業	168
不妊治療費助成事業	168
出産・子育て応援交付金事業	169
新型コロナウイルスワクチン接種事業	170
福祉医療センター運営事業	171

みやしろ健康福祉プラン策定事業

[高齢者支援担当・介護保険担当]

決算書 P100

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,312,000	2,466,600	0	0	0	0	2,466,600

[主な実施内容]

■みやしろ健康福祉事業運営委員会 高齢者福祉部会の運営 46,600円

「みやしろ健康福祉プランー高齢者編」の第8期介護保険事業計画の進行管理を行いました。

会議の名称	回数	開催月
みやしろ健康福祉事業運営委員会高齢者福祉部会	2回	6月、12月

■みやしろ健康福祉プラン高齢者編策定に伴う実態調査の実施 2,420,000円

令和6年度から令和8年度を計画期間とする宮代町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の基礎資料として、要介護者を含む高齢者の生活状況やサービスニーズ等を把握するための事前調査を行いました。

[成 果]

高齢者福祉部会では、第8期計画の令和3年度最終評価及び令和4年度目標設定・中間評価において委員から様々な意見を伺いながら検討を行いました。また、実態調査を行い、要介護状態になるリスク発生状況や日常生活地域におけるニーズや課題の特定、在宅介護における実態を把握するために必要な基礎資料の収集を行なうことができました。

低所得者利用者負担対策事業

[介護保険担当]

決算書 P100

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,192,000	4,485,120	0	0	0	0	4,485,120

[主な実施内容]

■介護サービス利用者負担の助成

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給者数(人)	249	△24	273	313
支給総額(円)	4,485,120	△338,300	4,823,420	5,605,000
支給者一人あたりの支給額(円)	18,013	345	17,668	17,907

[成 果]

低所得の介護サービス利用者の負担軽減を図りました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
194,000	46,478	0	0	0	0	46,478

[主な実施内容]

■自主防災組織に対し避難行動要支援者対策への取組の推進

自主防災組織連絡協議会にて、自主防災会の代表者に対し、避難行動要支援者支援制度について説明し、個別避難計画の作成を依頼しました。

(単位 人)

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
対象者数		806	△122	928	1,099
情報提供同意者数		612	△44	656	678
同意者内訳	要介護度3以上の認定を受けている方	205	3	202	215
	身体障害者手帳の交付を受けている方	226	△13	239	247
	精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている方	11	1	10	9
	療育手帳(A)又はAの交付を受けている方	60	△5	65	66
	その他	220	△45	265	285

※身体障害者手帳：視覚障害1級・2級、聴覚障害2級、上肢機能障害1級・2級、下肢機能障害1級・2級、体幹機能障害1級～3級の身体障害者手帳の交付を受けている方

※同意者内訳：1人で複数該当する場合があります、情報提供同意者数と一致しない

■あんしんカード設置事業

高齢者や障がい者等が、自宅や外出先において急病又は事故等が発生した場合に、本人の身元情報等を救急隊員や関係機関に伝達する手段の一つとして、あんしんカード及びあんしんカード(携帯用)を利用いただきました。

あんしんカード設置状況

(単位 人、各年3月31日現在)

区分	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
あんしんカードのみ	33	4	29	25
あんしんカード(携帯用)のみ	29	0	29	27
あんしんカード及びあんしんカード(携帯用)	791	42	749	726
計	853	46	807	778

[成果]

避難行動要支援者名簿の更新、自主防災組織への名簿提供に併せ、個別避難支援計画の作成を促進し、援護を必要とする方が安心して暮らせるよう努めました。

あんしんカードは、高齢者や障がい者等が自宅や外出先で設置、携帯することで、緊急事態に備えることができました。

長寿いきがい支援事業

[高齢者支援担当]

決算書 P102

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
13,260,000	12,081,579	0	0	0	0	12,081,579

[主な実施内容]

■町民グラウンドゴルフ大会及び町民親睦輪投げ大会の開催 中止

町民グラウンドゴルフ大会及び町民親睦輪投げ大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

■敬老祝品(商品券)の贈呈 4,748,404円

敬老の日を記念して高齢者の長寿を祝い、年度内に節目の年齢を迎える方に宮代町ご当地商品券「ありがとう」を贈呈しました。100歳の方については国からの祝い品とともに町長が訪問して手渡ししました。

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
77歳(5千円分)	363	△150	513	545
88歳(1万円分)	183	25	158	174
99歳(1万円分)	7	△6	13	10
100歳(5万円分)	9	1	8	5
101歳以上(1万円分)	12	3	9	10

[成 果]

対象者へ敬老祝品(商品券)を贈呈し、敬老の意を表するとともに、長寿を祝福し、高齢者福祉の増進を図りました。

高齢者施設等感染症対策事業

[介護保険担当]

決算書 P102

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,112,000	2,112,000	2,112,000	0	0	0	0

[主な実施内容]

■抗原定性検査キットの配布

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、重症化リスクの高い高齢者と接する介護事業所へ抗原検査キットを配布することで、医療機関受診の是非の早期判断を促し、介護事業所内の感染拡大の防止に努めました。

[成 果]

町内の46介護事業所に合計1,430個の検査キットを配布しました。

高齢者施設等緊急支援事業

[介護保険担当] 決算書 P102

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,600,000	2,400,000	2,400,000	0	0	0	0

[主な実施内容]

■緊急支援金の支給

原油価格、電気料金、ガス料金その他の物価の高騰の影響を軽減し、地域の安定的な福祉サービスの提供を図るため、町内の介護事業所等に物価高騰対策緊急支援金を支給しました。

[成 果]

町内の43介護事業所に合計240万円の支援金を支給しました。

保健衛生総務事業

[健康増進室] 決算書 P122

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
13,741,000	13,032,859	1,850,000	102,000	0	35,352	11,045,507

[主な実施内容]

■保健センター改修等

保健センター内の改修工事等を行いました。

件 名	金 額
自動ドア修繕(内側)	418,000円
ガス感知器の更新	286,000円

■献血推進事業

町内各会場において、埼玉県赤十字血液センターとともに献血を実施しました。

(受付者数、単位 人)

会 場	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
宮代町役場(春)	36	1	35	32
日本工業大学(春)	103	△29	132	—
宮代町役場(秋) ※NPO法人宮代クラブと共催	82	17	65	62
日本工業大学(秋)	67	△62	129	—
県立宮代高校	中止	△23	23	22
宮代町役場(冬)	43	15	28	31
合 計	331	△81	412	147

■医療機関等に対する物価高騰対策緊急支援金

物価高騰の影響を受けた医療機関等に対する緊急支援金

支給対象施設	支給単価（円）	支給件数（件）	支給金額（円）
診療所	100,000	10	1,000,000
歯科診療所	50,000	11	550,000
調剤薬局	30,000	10	300,000

【成 果】

より多くの方に献血していただけるよう、町内のNPO法人や赤十字奉仕団と連携して取り組み、輸血を必要とする医療機関へ供給されました。また、物価高騰の影響を受けた医療機関などに対し、緊急支援金を支給しました。

保健予防事業

〔健康増進室〕

決算書 P126

4年度予算 （円）	4年度決算 （円）	4年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
109,525,000	94,522,151	4,222,270	0	0	0	90,299,881

【主な実施内容】

■結核予防事業（65歳以上の胸部レントゲン撮影の人数）

（単位 人）

区 分	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
検診受診数	1,312	57	1,255	1,529

■定期予防接種

1) 乳幼児の接種者数、接種状況

①接種者数

（単位 人）

区 分	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
B C G	192	△6	198	226
四種混合	720	△157	877	904
ポリオ （不活化ワクチン）	0	0	0	0
日本脳炎	1,142	354	788	1,196
麻疹風疹	460	0	460	497
ヒブ	725	△126	851	918
小児肺炎球菌	727	△123	850	905
水痘	370	△58	428	480
B型肝炎	535	△90	625	654
子宮頸がん予防	254	175	79	5
ロタリックス	216	△95	311	114
ロタテック	183	△7	190	62

※子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月14日以降、積極的な勧奨の差し控えが続いていたが、

ワクチンの接種による有効性が副反応リスクを明らかに上回ることが認められたため、令和3年11月に積極的勧奨を再開。

②乳幼児健診における予防接種状況 (単位 人)

健康診査	来所者数	予 防 接 種 の 種 類	接 種 者 数	接 種 完 了 率
10か月児 健康診査	199	B C G	197	99.0%
		四種混合(初回)	196	98.5%
		ヒブ(初回)	197	99.0%
		肺炎球菌(初回)	197	99.0%
1歳6か月児 健康診査	211	B C G	208	98.6%
		麻しん・風しん(1期)	198	93.8%
3歳児 健康診査	249	四種混合(追加)	239	96.0%
		麻しん・風しん(1期)	245	98.4%

2) 児童の接種者数 (単位 人)

区 分	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
二種混合	183	△23	206	189

■高齢者インフルエンザ予防接種 (単位 人)

区 分	4年度 A			増減 A-B (実施者数)	3年度 B			2年度		
	対象者数	実施者数	接種率		対象者数	実施者数	接種率	対象者数	実施者数	接種率
65歳以上	11,045	6,495	58.8%	199	11,034	6,296	57.1%	10,763	7,488	69.6%

※対象者数：10月1日現在、65歳以上人口

■成人用肺炎球菌予防接種 (単位 人)

区 分	4年度 A			増減 A-B (実施者数)	3年度 B			2年度		
	対象者数	実施者数	接種率		対象者数	実施者数	接種率	対象者数	実施者数	接種率
65・70・ 75・80・ 85・90・ 95・100歳	1,511	308	20.4%	△75	1,450	383	26.4%	1,471	355	24.1%

※対象年齢は生年月日の指定があります。

■大人の風しん予防接種費用の一部助成

区分	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
申請者数（人）	6	4	2	9
助成者数（人）	6	4	2	9
助成額合計（円）	18,000	12,000	6,000	27,000

■風しん追加的対策事業

(単位 人)

対象者	4年度 A			増減 A-B 抗体検査 実施者	3年度 B		
	クーポン 交付者数	抗体検査 実施者	予防接種 実施者		クーポン 交付者数	抗体検査 実施者	予防接種 実施者
昭和 47 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれ男 性（無料クーポン 券再発行希望者）	3,538	47	16	25	4	22	12
昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 47 年 4 月 1 日生まれ男 性（無料クーポン 券送付者）		107	23	54	6	53	10

※令和 4 年度は、接種期間が令和 7 年 3 月末まで延長となったため、上記対象者に改めてクーポン券を送付。

■新型コロナウイルス感染症検査費用の一部助成(令和 3 年度開始)

区 分	4年度 A	増減 A-B	3年度 B
助成件数（件）	740	418	322
助成額合計（円）	1,284,270	733,090	551,180

■新型コロナウイルス感染症による自宅療養者に対する支援

内 容	4年度
パルスオキシメーター配送（件）	2,343
食糧支援（件）	40

[成 果]

成人用肺炎球菌予防接種は、国指定の対象年齢の方へ個別通知を行いました。小児定期予防接種は、対象者への個別通知や就学児健診時のチラシの配布、さらに、年度末には第 2 期 MR ワクチンの未接種者に対し接種勧奨ハガキの送付を行い、適切な時期でのワクチン接種につなげました。

子宮頸がんワクチンの積極的な勧奨の差し控えが終了したため、令和 4 年 4 月から個別通知による勧奨を行いました。

また、風しんの流行を受け、公的接種を受ける機会がなかった世代の男性を対象に検査及び接種のクーポン券を改めて送付するとともに、妊娠を希望する方やその配偶者等を対象に、県が実施する風しん抗体検査を受け、抗体価が十分でなく予防接種を行った方に対し、予防接種費用の一部を助成しました。その他、新型コロナウイルス感染症のまん延防止と治療を目的にPCR検査や抗原検査を受けた方への費用を助成し負担軽減を図りました。

母子保健事業

[健康増進室]

決算書 P126

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
32,570,000	26,361,339	1,564,000	0	0	0	24,797,339

[主な実施内容]

■子育て世代包括支援センター

(単位 人)

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
来所人数		309	△13	322	332
内訳 (延人数)	母子健康手帳の交付	180	△16	196	215
	妊婦健診助成券差し替え	23	△3	26	14
	予 防 接 種	83	2	81	92
	不 妊 治 療 関 係	25	10	15	21
	そ の 他	34	15	19	22

■産後ケア事業

訪問型

(単位 人)

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
利用者	実人数	2	△5	7	5
	延人数	5	△6	11	10

宿泊型(令和3年度開始)

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B
利用者(実人数)	1	△1	2

■母子健康手帳交付

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
19歳以下	1	0	1	1
20歳～29歳	70	△14	84	80
30歳～39歳	101	3	98	122
40歳～45歳	8	△5	13	12
合 計	180	△16	196	215

■妊婦健康診査（受診券回数14回）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
一人当たり助成額（円）	102,190	0	102,190	101,610
助成額合計（円）	17,180,800	△2,099,680	19,280,480	19,714,580
受診延人数（人）	2,314	△279	2,593	2,666

■新生児聴覚スクリーニング検査（令和3年度開始）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B
助成額合計（円）	823,000	△105,700	923,700
検査人数（人）	170	△24	194

■産婦健康診査（令和4年度開始）

	4年度
助成額合計（円）	789,000
受診人数（人）	158

[成 果]

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援をするために、子育て世代包括支援センターでの面談を通じて様々な悩みや相談に対応しながら、母子健康手帳を交付しました。妊娠中から個別相談や育児支援の情報提供を行い、妊娠や出産の不安を軽減し、出産後の育児支援につなげました。

■ママ・パパ教室（母親学級 両親学級）

（延人数（実人数）、単位 人）

参加者	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
妊婦	31 (18)	△17 (△9)	48 (27)	33 (19)
夫等	6 (4)	6 (4)	0 (0)	1 (1)
合計	37 (22)	△11 (△5)	48 (27)	34 (20)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため妊婦のみのコースとして実施していたが、令和4年度冬コースから夫等の参加を再開。

■はじめての孫育て教室

（単位 人）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B
参加者	2	△2	4

[成 果]

妊婦に対し、妊娠や出産についての正しい知識と情報を伝えました。また、実習を通して参加者同士の交流と感情の共有ができ、妊娠・出産等に対する不安の軽減と育児の孤立化を予防しました。また、「はじめての孫育て教室」を実施し、育児知識を提供することで子育て世帯への支援強化を図りました。

■すくすく広場（ママ・パパ教室同窓会）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度から開催を見合わせていたが、令和5年春コースの同窓会から再開予定。

■乳幼児健康診査（各12回／年 実施）

（単位 人）

健康診査	4年度 A			増減 A-B (受診児)	3年度 B			2年度		
	該当児	受診児	受診率		該当児	受診児	受診率	該当児	受診児	受診率
4 か 月 児	183	183	100.0	△31	215	214	99.5	219	217	99.0
10 か 月 児	203	199	98.0	△14	213	213	100.0	226	223	98.6
1歳6か月児	212	211	99.5	△14	229	225	98.2	241	238	98.7
3 歳 児	249	249	100.0	41	210	208	99.0	254	251	98.8
合 計	847	842	99.4	△18	867	860	99.1	940	929	98.8

[成 果]

受診者全員に個別指導を行い、コロナ禍における育児の悩みや困りごと等、個々に応じた助言や指導等で不安の軽減や育児の孤立防止に努めました。未来所者には地区担当保健師が訪問し、子育ての状況を把握しました。

■2歳の親子教室（月1回実施）※子の実人数

（単位 人）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
参加者	46	△11	57	35

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年9月より、毎月予約制で実施。

[成 果]

2歳3か月児を対象に、歯科衛生士、保健師による親子教室を実施しました。歯の健康の話や、歯の染め出し、ブラッシング指導に加え全員に個別相談を行い、発育・発達や子育ての悩みや相談に対応しました。

■母と子の幼児学級（かるがもクラブ）

（単位 組）

4年度 A			増減 A-B (延組数)	3年度 B		2年度	
実施回数	実組数	延組数		実組数	延組数	実組数	延組数
年12回	16	67	△5	15	72	10	58

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月～令和2年8月まで中止し、令和2年9月から再開。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため8月と9月を中止とし10月から人数を少なくして2部制で再開した。

[成 果]

1歳6か月児健診、3歳児健診等でことばや発達に遅れのみられる幼児に対し、言語聴覚士、臨床心理士、保健師による集団遊びと個別面接を行い、それぞれの職種の視点から適切な支援により、育児不安の軽減と適切な療育につなげました。

■ことばの相談・心理相談

(単位 組)

		4年度 A		増減 A-B (延組数)	3年度 B		2年度	
		実組数	延組数		実組数	延組数	実組数	延組数
種別	実施回数							
ことばの相談	58回	86	196	△23	87	219	77	171
心理相談	43回	74	104	8	70	96	56	95

※新型コロナウイルス感染症の拡大により、8月のことばの相談1回分中止。

[成 果]

言語聴覚士のことばの相談、臨床心理士による心理相談により、専門的な相談や助言が親の不安を和らげ、家族が子どもと適切な関わりができるようになり、子どもの健やかな成長を促しました。

■健康相談・栄養相談

(単位 人)

		4年度 A			増減 A-B (延人数)	3年度 B			2年度		
		回数	実人数	延人数		回数	実人数	延人数	回数	実人数	延人数
定	健康相談	42回	255	792	68	42回	256	724	31回	184	460
例	栄養相談	42回	28	38	1	42回	32	37	31回	33	38

■離乳食教室

(単位 人)

		4年度 A		増減 A-B (延人数)	3年度 B		2年度	
実人数	延人数	実人数	延人数		実人数	延人数	実人数	延人数
47	52		6	44	46	21	22	

■訪問支援

(単位 人)

種別	4年度 A		増減 A-B (延人数)	3年度 B		2年度	
	実人数	延人数		実人数	延人数	実人数	延人数
新生児	6	7	△12	19	19	7	8
乳児	184	210	△5	198	215	193	213
幼児	11	17	△4	19	21	14	14
小学生	1	2	2	0	0	1	1
妊産婦	188	216	△9	216	225	198	221
合計	390	452	△28	452	480	413	457

(再掲) 赤ちゃん訪問 (生後4か月までの全戸訪問事業)

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
訪問 (実人数)	190	△27	217	195
面接	1	△2	3	1

[成 果]

健康・栄養相談、離乳食教室、訪問支援、面接等を行い、適切な育児情報の提供と育児不安の軽減を図りました。また、毎月ケース対応会議を開き、個々の支援を見直しながら適切な支援に努めました。

健康診査事業

〔健康増進室〕 決算書 P128

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
30,724,000	23,672,913	1,419,000	665,000	0	581,800	21,007,113

[主な実施内容]

(単位 人)

検 診	実施方法		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
健康診査	集 団	受 診 者	4	△3	7	4
		要経過観察者	2	△1	3	1
		要医療者	0	0	0	0
胃がん検診	集 団	受 診 者	1,160	9	1,151	1,068
		要精検者	81	△12	93	73
肺がん検診	集 団	胸部レントゲン	1,732	80	1,652	1,529
		喀痰検査	45	△9	54	55
		要精検者	70	51	19	56
子宮頸がん	集 団	受 診 者	459	△79	469	408
	個 別		333		792	402
		要精検者	10	7	3	8
乳がん検診	集 団	受 診 者	477	△60	521	435
	個 別		207		684	223
		要精検者	33	△14	47	26
大腸がん検診	個 別	受 診 者	2,549	△90	2,639	2,828
		要精検者	132	△18	150	153
骨粗しょう症検診	集 団	受 診 者	248	28	220	204
		要精検者	97	19	78	68
肝炎ウイルス検診	集 団	受 診 者	29	1	28	18
		要精検者	0	0	0	0

[成 果]

各種検診を実施することで、がんや疾病の早期発見につなげました。

健康教育事業

[健康増進室]

決算書 P128

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,025,000	5,190,817	0	485,000	0	153,000	4,552,817

[主な実施内容]

■健康教室等

(延人数、単位 人)

区 分	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
骨粗しょう症検診集団栄養指導	244	21	223	136
貯骨とエクサ!	95	△18	113	67
貯骨とクッキング!	15	2	13	7
知っ得!けんこう講習	71	19	52	25
健康長寿サポーター養成講習	23	2	21	21
食生活改善普及事業	15	3	12	中止
ウォーキングイベント	47	△6	53	51
40歳の健活講座	4	△3	7	6
ゲートキーパー養成講習	37	△21	58	31
こころの健康講座	22	22		
スッキリ運動教室	61	36	25	
その他	18	△32	50	28
合 計	652	25	627	372

■みやしろ健康マイレージ事業

(単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
健康マイレージ登録者	4,106	590	3,516	2,824
健脚チャレンジ参加延人数	163	81	82	32

[成 果]

食生活、運動、歯科、こころの健康づくりをテーマとした各種健康教室を通じて、町民の疾病予防及び健康増進の普及啓発に努めました。こころの健康講座では、「ポジティブ認知行動療法～自分を励ます10の方法～」をテーマとし、メンタルヘルスに関する情報提供や意識啓発を図りました。みやしろ健康マイレージ事業では、事業参加者向けプログラム「健脚チャレンジ」を開催し、ウォーキング効果をより高めるトレーニング及び食生活改善による健康増進に努めました。

健康相談事業

[健康増進室]

決算書 P130

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
36,000	33,776	0	0	0	0	33,776

[主な実施内容]

(延人数、単位 人)

区 分		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
精神保健 相 談	訪問・面接相談	21	2	19	5
	電話・メール相談	66	△15	81	111
その他の健康相談(面接・電話)		1	△4	5	3
定 例 栄 養 相 談		22	6	16	25
合 計		110	△11	121	144

[成 果]

町民の個々の健康相談を実施することで、それぞれの健康問題の解決を図りました。

不妊治療費助成事業

[健康増進室]

決算書 P130

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,290,000	1,224,100	0	380,000	0	0	844,100

[主な実施内容]

■不妊治療費助成事業

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
助 成 者 数(人)	19	△5	24	15
助 成 額 合 計(円)	944,100	△255,900	1,200,000	718,490
妊 娠 数(人)	12	3	9	7

※埼玉県不妊治療費助成事業の支給決定を受けた夫婦1組につき1年間5万円を限度に通算で5年間支給

■早期不妊検査費助成事業

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
申 請 者 数(人)	13	0	13	12
助 成 者 数(人)	13	0	13	12
助 成 額 合 計(円)	260,000	0	260,000	240,000

■不育症検査費助成事業

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
申 請 者 数(人)	1	△2	3	1
助 成 者 数(人)	1	△2	3	1
助 成 額 合 計(円)	20,000	△40,000	60,000	15,000

[成 果]

令和4年4月から不妊治療が保険適用となり、助成対象は令和4年3月31日までに決定された経過措置分のみ対象となりました。検査についても継続して助成を行い、経済的負担の軽減を図りました。その結果、12人の方の妊娠を確認しました。

出産・子育て応援交付金事業

[健康増進室]

決算書 P136

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
26,500,000	5,149,234	3,432,000	858,000	0	0	859,234

※令和4年度予算のうち、20,350,616円を令和5年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■ 出産応援給付金

	4年度 A
助成者数(人)	63
助成額合計(円)	3,150,000

■ 子育て応援給付金

	4年度 A
助成者数(人)	39
助成額合計(円)	1,950,000

[成 果]

妊娠から出産・子育てまで安心して過ごしていただくため、保健師等の面談など継続的な「相談支援」と、出産・育児用品購入等の経済的負担を軽減するための「経済的支援」を併せて行いました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

[健康増進室] 決算書 P132

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
657,201,959	379,906,348	313,013,978	0	0	1,045,143	65,847,227

※令和3年度からの繰越分を含みます。

※令和4年度予算のうち、254,600,000円を令和5年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■新型コロナウイルスワクチンの接種推進

令和4年4月から年間を通して追加接種を含めたワクチン接種を行いました。

■ワクチン接種の状況(令和5年3月26日時点)

	初回接種			追加接種 オミクロン株対応二価ワクチン
	12歳以上	5歳～11歳	6か月～4歳	
対象者 a	32,349人	1,857人	957人	32,349人
接種者 b	27,880人	511人	44人	18,131人
接種率 b/a	86.2%	27.5%	4.6%	56.0%
合計	28,435人			18,131人
接種率	80.9%			56.0%

[成 果]

対象拡大などの国方針に適切に対応し、町民の皆さまの感染症へ対策を円滑にすすめることができました。

令和5年度も引き続き初回接種及び追加接種を進めていきます。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
59,160,000	48,634,401	0	0	0	5,130,600	43,503,801

※ 令和4年度予算のうち、5,500,000円を令和5年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

- 1) 指定管理者：公益社団法人 地域医療振興協会
- 2) 利用状況

■診療所

(単位 人)

種 別 / 年 度		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
外 来	初 診	3,419	602	2,817	3,078
	再 診	17,293	552	16,741	16,085
	そ の 他	11,263	△415	11,678	13,103
	合 計	31,975	739	31,236	32,266
	総合診療科	16,060	442	15,618	15,591
	整形外科	319	△57	376	375
	小児科	4,333	769	3,564	3,197
	予防接種	8,921	△604	9,525	10,742
	健 診	2,302	181	2,121	2,323
	ド ッ ク	40	8	32	38
別 掲	新 患	719	△101	820	819
	時 間 外	11	6	5	4
	救 急 車	0	△1	1	1
入 院	入 院	76	△9	85	83
	退 院	78	△5	83	84
	延べ入院者数	2,473	244	2,229	2,185
医 療	訪問リハビリ	268	98	170	145
	往 診	0	0	0	0
	訪 問 診 療	12	1	11	19
	訪 問 看 護	0	0	0	0

■介護老人保健施設

①入所サービス

(単位 人)

種 別 / 年 度		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
施 設	入 所	49	17	32	43
	退 所	52	17	35	39
	延べ入所者数	24,250	△280	24,530	25,627

②通所リハビリテーション（デイケア）・訪問リハビリテーション（単位 人）

種別 / 年度	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
通所リハビリテーション	9,821	△132	9,953	10,068
通所利用者数	5,779	△157	5,936	6,373
短期通所利用者数	4,042	25	4,017	3,695
訪問リハビリテーション	1,203	△273	1,476	1,660

③短期入所療養介護（ショートステイ）（単位 人）

種別 / 年度	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
利用者数	0	0	0	2

④居宅介護支援事業（ケアプラン作成）（単位 人）

種別 / 年度	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
利用者数	1,031	33	998	966

3) 公設宮代福祉医療センター運営健全化交付金

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
金額(円)	10,944,000	△285,000	11,229,000	11,108,000

※地方交付税法に基づき、普通交付税の基準財政需要額に算入される診療所の数及び病床数により算出される額

4) 運営懇話会・管理運営協議会の開催

会議	期日	出席者数	内容
第1回運営懇話会	令和4年6月28日	8人	利用状況・経営状況(3年度、2年度比較)、取組
第2回運営懇話会	令和4年10月31日	8人	利用状況・経営状況(4年度上半期)、取組、意見・要望
第1回管理運営協議会	令和4年11月18日	12人	利用状況・経営状況(4年度上半期)、取組、意見・要望

[成果]

診療所、介護老人保健施設の運営を通して、地域の医療・介護活動及び町民の健康増進に努めました。

産 業 観 光 課

■ 本年度の成果

農地調整担当及び農業振興担当では、農業従事者の高齢化や後継者不足、遊休農地の増加等の農業に関する課題に対応し、農地の有効利用及び担い手の育成・確保を図るため、次に掲げる対策を行いました。

第一に、農地の利用を促進し遊休農地の解消と利活用を図るため、農業委員及び農地利用最適化推進委員、宮代町地域農業再生協議会等と連携し、農地の利用状況調査の実施や遊休農地の再生・営農再開への支援、規模拡大のための農地の斡旋等を行いました。

また、宮東・中島地区においては、地元農家の代表者による準備委員会と調整し、埼玉型ほ場整備事業の実現に向けて全地権者を対象に説明会を開催し、事業参加への意向確認（仮同意）を行いました。さらに、基礎調査を実施して圃場整備基本計画を策定しました。

第二に、担い手対策として、「農業担い手塾」において、町内農業者や関係機関の協力のもと新規就農者の育成支援を行いました。また、稲作農家の栽培技術向上を図るため、「稲作講座」を実施しました。さらに、令和4年6月3日発生の降ひょうによる被害を受けた販売農家に対する支援として、宮代町特別災害農作物生産者支援金や農業災害対策特別措置事業補助金を交付したほか、燃料・生産資材等の高騰への負担を軽減するため、生産農家に対し農業経営継続生産者支援金を交付しました。

第三に、農業の6次産業化の推進として、宮代産農産物等を積極的に取り扱う飲食店や食品加工所等をPRし、農商連携を拡大する「宮代町地産地消推進の店」制度において、新たに1店舗を認定し、地産地消の取組みを町内外に広く発信しました。

第四に、新しい村管理運営事業では、令和2年4月1日からの指定管理者制度による株式会社新しい村との指定管理の3年度目として、直売所の運営や水稻苗の育苗、野菜等の収穫体験などの各種農体験プログラム等を実施しました。また、新しい村の魅力をより高めていくために、市民参加による検討を経て「新しい村魅力アッププラン」を策定しました。

商工観光担当では、地域産業の活性化のため次の事業を展開しました。

第一に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者への支援として、新型コロナウイルス感染症対策個別相談会の実施や、事業者物価高騰対策支援金事業補助金の交付、事業者・お店支援金の支給、キャッシュレス決済促進キャンペーンの実施など、様々な支援を実施しました。

第二に、創業支援として、自分の得意なことや経験を活かして月3万円の純利益を目標とするスモールビジネス講座「わたしたちの月3万円ビジネス講座」を昨年度に引き続き開催しました。また、起業創業支援ウェブサイト「宮代で働こっ」で、働く人の特集、創業に関する講座やセミナー、補助金などの情報を発信するとともに創業に係る費用についても補助しました。

第三に、町内商工業の振興を図るために、店舗・住宅リフォーム事業補助金、商工業活性化事業補助金を交付したほか、商工業者による特産品づくりを支援するため「メイドインみやしろ」推奨品の認定を行いました。

第四に、観光事業として、稲刈り体験やブルーベリーの摘み取り体験などの新しい村グリーンツーリズム事業の実施や観光情報紙「宮代 iLine (いーね)」の発行などを行いました。

■ 令和4年度前期実行計画

新しい村魅力アップ事業	31
集落で支えあう営農事業	33
宮代農業人材育成事業	35
小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業	51

■ 令和4年度の主要事業

水田農業構造改革対策事業	175
農業経営基盤強化対策事業	176
新しい村管理運営事業	178
商工業振興事業	179
宮代ブランド創造事業	180
消費者対策事業	181

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,472,000	4,276,331	0	2,257,150	0	0	2,019,181

【主な実施内容】

■新生児誕生お祝い宮代産米贈呈事業の実施

宮代産米の消費拡大・地産地消の推進や子育て世帯への応援のため、新たにお子さんが誕生した世帯に対し、新生児1人につき「宮代産特別栽培米コシヒカリ」を20kg贈呈しました。

贈呈決定件数	176件
お米引換券交付枚数(引換券5kg×4枚)	704枚
引き換えられた米の数量(1袋5kg)	739袋

【成 果】

宮代産米のおいしさを知っていただくことにより、宮代産米の消費拡大に寄与しました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
13,083,000	12,471,525	4,880,000	1,167,000	0	607,000	5,817,525

[主な実施内容]

■利用権設定による農地の集積

利用権設定件数	新規	42件	更新	67件
利用権設定面積	新規	79,805㎡	更新	107,305.47㎡

■農地流動化奨励補助金制度による支援の実施

●農地集積に対する補助金

・農地の有効活用を図り、利用権設定による農地の利用集積により経営規模の拡大を図った農家に対し補助金を交付しました。

新規交付決定件数	8件
交付対象面積	29,848㎡
交付決定額(基本助成のみ)	578,000円

■耕作放棄地再生利用対策

耕作放棄地の再生を促進し、再生した農地を担い手農業者への集積につなげるため、宮代町地域農業再生協議会が実施する再生事業に対する支援を行いました。

令和4年度実績(再生作業の実施面積合計 4,877㎡)

・宇東地内	965㎡	・大字和戸及び大字国納地内	3,912㎡
-------	------	---------------	--------

■農業近代化資金利子補助制度による支援の実施

農業機械及び栽培施設設備等の導入にあたり、融資機関から農業近代化資金の融資を受けた農家に対し利子補助金を交付しました。

・利子補助金の額	31,477円
・補助対象件数	11件

■宮代町特別災害農作物生産者支援金の交付

令和4年6月3日に発生した降ひょうにより、野菜や果樹等の農作物に大きな被害を受けた販売農家に対し、今後の営農継続と経営維持を図るため、1経営体あたり5万円を交付しました。

・交付件数	80件
・交付額	4,000,000円

■農業災害対策特別措置事業補助金の交付

令和4年6月3日に発生した降ひょうに伴う特別災害の指定を受けた被害農家に対し、病害虫防除用農薬や代替作又は次期作用の種苗・肥料等の購入費用(掛かり増し経費)の一部を助成しました。

- ・交付件数 26件
- ・交付額 2,369,032円

■宮代町農業経営継続生産者支援金の交付

原油価格や農業用生産資材等の高騰によって厳しい経営環境下にある生産者に対し、農業生産に係る負担を軽減し農業経営の継続を支援するため、前年分（令和3年）の税務申告による農業収入額に応じて1万円～10万円を交付しました。

- ・交付件数 219件
- ・交付額 4,880,000円

[成 果]

担い手農業者による農地の利用集積が拡大されるとともに、耕作放棄地の再生利用を支援して担い手農家による営農再開につなげました。

降ひょうによる被害を受けた販売農家や農業生産資材等の高騰による影響を受けている生産農家に対して各支援金を交付し、次期作の作付や営農継続に向けた取組みへの支援を行いました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
45,037,000	44,457,584	0	0	0	3,000,800	41,456,784

[主な実施内容]

■新しい村指定管理料	33,383,700円
■新しい村魅力アッププラン策定業務委託料	9,130,000円
■新しい村あずまや橋柱修繕工事	1,183,380円
■新しい村育苗施設ガラスハウス屋根修繕	152,130円

[成 果]

指定管理業務として、各施設の管理及び各種事業の展開を図りました。

■地産地消モデル事業

- ・地場農産物の確保と販売強化に努めました。販売農産物(野菜、果物)の地場産割合48.00%。
- ・年間営業日数:317日、年間来客者数(レジ通過者数):185,406人
- ・高齢化や労働力不足により出荷困難となった生産者への集荷及び買い物が困難な方への配達事業を実施しました。

■農家支援・農業サービス事業

- ・水稻苗の生産販売 自社利用分を含めて30,624枚の苗を生産販売しました。
- ・コシヒカリ(特別栽培米含む)、ミルキークイーン、彩のきずな、満月もち、飼料用米の5銘柄を栽培し、合計2,588袋(約77,640kg)の収穫となりました。

■農体験・農園交流事業

- ・ほっつけ等での田植え、稲刈り体験を合計32回実施しました(参加者延べ2,202人)。
- ・さつまいもの収穫体験を実施しました(参加者延べ231人)。(ブルーベリーやラベンダーの摘み取りについては、降雹被害により中止)
- ・農のあるまちづくり講座(ほっつけ農遊塾、酵素シロップ作り、ハーブの寄せ植え、料理教室等)を合計27回実施しました(参加者延べ367人)。

■新しい村あずまや橋柱修繕工事

- ・図書館とほっつけを結ぶあずまや橋が老朽化により腐食が進んで危険な状況にあったため、修繕工事を実施しました。

■新しい村育苗施設ガラスハウス屋根修繕

- ・6月3日の降雹により新しい村育苗施設のガラスハウスの屋根ガラスが2枚割れ、使用に支障が出たため、修繕しました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
107,303,000	87,470,617	55,314,631	0	0	500,000	31,655,986

※令和3年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■新型コロナウイルス感染症対策事業個別相談会	1,745,700円
■宮代町商工会補助金(商工業振興事業補助金)	11,000,000円
■小規模事業者経営改善資金利子補給金	320,100円
■商店会等街路灯電気料補助金	144,000円
■店舗・住宅リフォーム事業補助金	3,470,000円
■商工業活性化事業補助金	789,000円
■事業者物価高騰対策支援金事業補助金	11,611,259円
■事業者・お店支援金	21,969,352円
■キャッシュレス決済事業負担金	30,504,934円

[成 果]

宮代町商工会と連携して各種事業を展開することにより、地域商工業の活性化、地域の賑わいの創出に寄与しました。また、新型コロナウイルス感染拡大により、収入減となった事業者への事業継続の支援、町内経済活性化のため、各種事業による消費喚起を図りました。

<p>■新型コロナウイルス感染症対策個別相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 117件 	<p>■キャッシュレス決済導入促進キャンペーン</p> <p>最大25%のPayPayポイントを付与(上限3,000円相当/回、10,000円相当/人)</p> <p>1回目(キャンペーン第2弾)</p> <p>期間 令和4年7月1日～7月31日</p> <p>参加店舗数 153店舗</p> <p>利用総額 51,024,811円、</p> <p>付与ポイント 11,596,276円相当</p>
<p>■小規模事業者経営改善資金利子補給金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 18件 	<p>2回目(キャンペーン第3弾)</p> <p>期間 令和5年1月1日～1月31日</p> <p>参加店舗数 181店舗</p> <p>利用総額 81,229,236円、</p> <p>付与ポイント 18,908,658円相当</p>
<p>■商店会等街路灯電気料補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 2団体 	
<p>■店舗・住宅リフォーム事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 44件 	
<p>■商工業活性化事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営・設備拡張事業 4件 ・販路拡大促進事業 1件 	
<p>■事業者・お店支援金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 217件 	

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,946,000	4,793,745	2,319,086	0	0	1,138,000	1,336,659

【主な実施内容】

■「メイドインみやしろ」推奨品の認定

- ・申請件数：58品目（うち新規申請5品目） ※令和3年度：54品目
- ・認定件数：58品目（うち新規認定5品目） ※令和3年度：54品目

※新規申請・認定品

「宮代町の風景」MINTオリジナルカレンダー	社会福祉法人じりつ
米粉クッキー	(株)料理設計
ハーブクッキー	(株)料理設計
米粉食パン	(株)料理設計
宮代あげもち(醤油・塩)	(株)Jファーム

■「宮代 iLine (いーね)」の発行 1,637,163円

- ・第21号(9月発行)
特集「みやしろのマルシェ」
- ・第22号(3月発行)
特集「みやしろのものづくり」
- ・発行部数：各3万部
(うち2万4千部は東武線沿線自治体にポスティング)



■ぶらり宮代の増刷 617,100円

町内のみどころを紹介した観光マップである「ぶらり宮代」(vol.1~6、総集編)の増刷を行いました。

- ・印刷部数：各3,000部

■マルシェの開催

メイドインみやしろ推奨品取扱事業者の支援、及び町内での起業及び出店を目指している方に販売の機会を提供し、起業を支援するためする取組として、ミヤシロまーぶるマルシェを開催しました。

【成 果】

町内商工業者による特産品づくりを支援するとともに、これらの特産品や町の観光イベントのPR活動を行うことで、地域産業の活性化、交流人口の増加、町の知名度の向上に寄与しました。

また、ふるさと納税を活用し、メイドインみやしろ推奨品を全国的に周知し、販路拡大に努めました。

宮代 iLine (いーね) の発行、ぶらり宮代の増刷を行い、町内外の方に町の魅力をPRしました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
114,000	85,203	0	0	0	0	85,203

[主な実施内容]**■消費生活相談員による相談窓口の開設**

- ・開設日：年間 89日（毎週月・水曜日）
- ・相談件数：118件（前年度比9件減）

■多重債務相談窓口の開設**■宮代町消費生活センター啓発用品の配布**

- ・町内の中学校の新3年生対象に啓発冊子配布

■消費者被害防止活動

- ・消費者被害防止サポーターへの定期的な情報発信
- ・特殊詐欺（オレオレ詐欺や架空請求詐欺など）による高齢者被害の未然防止のため、高齢者見守り支援ネットワーク会議において研修会を実施

[成 果]

専門の消費生活相談員による相談窓口を週2回開設し、杉戸町との相談窓口相互利用をすることで、週4回の相談体制を実現しています。また、消費者被害防止サポーターによる啓発活動に取り組みました。

まちづくり建設課

■ 本年度の成果

令和4年度は、東武動物公園駅周辺の賑わいの創出と住民の皆様方の暮らしやすさの向上を目指して、まちづくりに関する各種事業を積極的に進めました。

具体的には、東武動物公園駅西口では、県道春日部久喜線と西口駅前広場へのアクセス道路となる都市計画道路中央通り線の交差点改良工事を進めるとともに駅西口周辺まちづくり構想を策定しました。また、東武動物公園駅東口では、関係地権者等の用地交渉及び用地買収を実施しました。

広域道路ネットワークの整備として、都市計画道路春日部久喜線（町道第12号線）の用地交渉や歩道等の整備工事等を実施しました。

また、都市計画の分野におきましては、字東地内から春日部市の北春日部駅西口にアクセスする都市計画道路春日部久喜線について都市計画変更の告示を行いました。

まちづくり建設課では、引き続き、国や県の補助金を最大限に活用するとともに、計画的かつ効率的に事業を実施し、賑わいの創出や暮らしやすさの向上に努めてまいります。

■ 令和4年度前期実行計画

東武動物公園駅西口わくわくロード事業	37
岸辺遊歩道整備事業	42
地域のオリジナルパークをつくろう！	43
広域道路ネットワークの整備	46
東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	47
和戸駅周辺活性化事業	48
姫宮駅西側周辺活性化事業	49

■ 本年度の主要事業

道路維持管理事業	184
都市計画道路整備事業	185
地区生活道路整備事業	186
橋りょう維持管理事業	187
一般住宅耐震対策事業	188
公園等環境管理事業	189

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
83,638,000	82,123,913	4,300,000	0	3,800,000	11,143,225	62,880,688

[主な実施内容]

■測量設計委託

- ・道路修繕工事に伴う測量設計業務委託 1,870,000円

■清掃委託

- ・道路清掃等業務委託 2,004,154円

■除草・樹木管理委託

- ・街路樹管理・除草業務委託 7,346,972円

■道路修繕工事実績

工事の種類	工事箇所	件数	金額
道路修繕工事	字金原地内 他	4件	44,497,200円
応急修繕工事	町内	56件	12,685,850円
道路維持管理工事(単価契約)	町内	15件	12,442,901円
合計		75件	69,625,951円

■その他

- ・原材料費等 1,276,836円

[成 果]

道路の舗装修繕の実施や適切な維持管理により、道路機能の低下を抑制し、通学路の安全確保や地域住民の皆様の利便性向上を図りました。

都市計画道路整備事業

[道路担当]

決算書 P156

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
183,810,000	125,613,623	24,266,000	0	21,700,000	43,541,000	36,106,623

※令和3年度の繰越分を含みます。

※令和4年度予算のうち、53,750,000円を令和5年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■業務委託

- ・(都) 春日部久喜線 (町道第12号線) 測量設計・除草等 2,366,765円

■道路改良工事 (歩車道、地盤改良等)

- ・(都) 春日部久喜線 (町道第12号線) 歩車道・地盤改良 109,430,500円

■支障物件移設補償

- ・(都) 春日部久喜線 支障電柱等の移設 13,756,544円

■その他

- ・土地借上料 59,814円

[成 果]

(都) 春日部久喜線 (町道第12号線) に係る支障物件移設補償及び歩車道、地盤改良工事等を実施するなど、事業推進を図りました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,386,000	3,845,119	0	0	0	0	3,845,119

[主な実施内容]

■ 測量調査等業務委託

- ・ 用地測量業務委託等 242,000円

■ 道路整備工事

- ・ 町道第635号線 (大字国納) 1,045,000円
- ・ 町道第702号線・町道第1437号線 (大字国納) 237,847円
- ・ 町道第1530号線 (字山崎) 93,535円
- ・ 町道第1114号線 (宮代台3丁目) 264,000円
- ・ 町道第210号線 (字川端) 627,187円
- 計 2,267,569円

■ 負担金、補助及び交付金

- ・ 建築後退用地補助金 9件 1,335,550円

[成 果]

大字国納地内 (町道第635号線) 他において道路整備を実施するなど、地域住民の皆様の利便性向上を図りました。

橋りょう維持管理事業

[道路担当]

決算書 P156

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
47,000,000	45,046,100	16,445,000	0	8,500,000	0	20,101,100

[主な実施内容]

■設計委託

- ・北橋 (字中) 107,800円
 - ・橋梁点検 33橋 9,207,000円
 - ・橋梁長寿命化修繕計画更新 1,453,100円
 - ・基準点復旧 231,000円
- 計 10,998,900円

■橋梁補修工事

- ・北橋 (字中) 34,047,200円

[成 果]

宮代町橋梁長寿命化修繕計画に従って、橋梁の修繕を実施し、道路橋の適切な維持管理を図りました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
301,000	301,000	0	0	0	0	301,000

※令和3年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■既存建築物耐震診断・耐震改修工事等補助金及び既存ブロック塀等撤去補助金の交付
 地元建築士や工務店、広報紙等を通じて各種制度の周知を図りました。

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
耐震診断補助	件数 (件)	0	△3	3	0
	補助金額 (円)	0	△207,000	207,000	0
耐震改修工事補助	件数 (件)	0	0	0	1
	補助金額 (円)	0	0	0	500,000
建替え工事補助	件数 (件)	1	1	0	0
	補助金額 (円)	300,000	300,000	0	0
ブロック塀等撤去補助	件数 (件)	0	△1	1	2
	補助金額 (円)	0	△31,000	31,000	142,000
合計	件数 (件)	1	△3	4	3
	補助金額 (円)	300,000	62,000	238,000	642,000

補助金 300,000円

その他負担金 1,000円

■既存建築物耐震診断・耐震改修工事・既存ブロック塀等撤去に関する相談環境の整備

窓口や電話での対応のほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、地元建築士や工務店と連携・協力して耐震・リフォーム相談会を開催しました。

[成 果]

地元建築士や工務店、広報紙等を通じて住宅の耐震化に関する情報を提供することで、各種制度の周知を図ることができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
37,272,000	36,925,461	4,620,000	0	0	156,610	32,148,851

【主な実施内容】

■はらっパーク宮代の利用状況

広い芝生スペースで家族連れやグループがのびのびと自由を楽しむだけでなく、グラウンドゴルフやランニングバイクの大会等で多くの方々が利用しました。

(多目的広場の利用人数)

種 別	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
グラウンドゴルフ	15,403	△1,643	17,046	15,250
アーチェリー	4,556	1,034	3,522	1,526
サッカー	5,699	1,913	3,786	6,733
ラグビー	1,428	325	1,103	573
運動会など	494	59	435	598

はらっパーク宮代指定管理料

12,565,000円

■公園管理協定に基づく住民主体の維持管理

地区（自治会）の皆さんにご協力いただき、町内31公園等を対象として公園管理協定を締結し、住民主体による公園の維持管理に努めました。

公園管理協定に基づく地区（自治会）と町の役割分担は、下記のとおりです。

地 区 （ 自 治 会 ）	町
<ul style="list-style-type: none"> ・危険行為者等に対する注意・通報 ・遊具の破損、害虫発生等の通報 ・空き缶、ゴミ等の収集・廃棄 ・雑草等の除草・廃棄 ・樹木等の軽微な剪定 ・その他簡易な施設修繕等 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期パトロールの実施 ・遊具等の点検・修繕 ・樹木等の剪定 ・病害虫の駆除・消毒 ・電気、水道料金の支払い ・苦情等への対応 ・その他公園全般の維持管理等

公園管理報奨金

164,000円

■街区公園等の維持管理

町内57箇所の街区公園等については、草刈、樹木の剪定等に加え、遊具等の点検を実施しました。また、職員による公園パトロールにより安全に利用できる公園環境に努めました。

街区公園等維持管理に関する費用

24,190,461円

■その他 負担金

6,000円

【成 果】

はらっパーク宮代については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、適正な施設運営に努めました。また、新たな自主事業として、スポーツフェスティバルの開催や調整池へのパンプトラックの設置等を行いました。

街区公園については、計画的な草刈や樹木剪定、遊具の点検・修繕により、安心・安全に利用できる公園環境に努めました。

教 育 推 進 課

■ 本年度の成果

本年度につきましては、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下での学校教育活動、生涯学習活動となりました。

そのような状況下にあっても、必要な感染対策を講じ創意工夫を図ることで、次世代を担う子供たちがいきいきと学び健やかに成長するための学校教育の充実、町民の皆さんが健康で活力に満ちた生活を送るための生涯学習施策の推進を図るとともに、教育支援センターの包括的な支援体制の構築や運営、小学校のトイレの洋式化を進めるなど、教育環境の向上に努めることで心豊かでたくましい児童生徒の育成と町民の創意を生かした学びの場づくりの取組を行い、次のような成果をあげることが出来ました。

1. 教育総務・学校教育

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行いながら、例年同様の教育活動が実施できるように努めてまいりました。

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人一人を大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上に着実な成果をあげることができました。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」を活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、19年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、小中9年間を見通した計画を作成し、指導の一貫性を持って、特色ある教育活動が展開されました。その成果として、島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会では、オンラインによる交流会を通して、島村盛助氏の功績を改めて確認するとともに、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育て、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを図ることができました。

環境教育においても、兄弟姉妹関係また学校内で内容が引き継がれ、家庭において省エネ活動に課題意識をもって取り組むことにより、児童生徒だけでなく家族全体の環境意識の向上を図ることができました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級（知的、自閉・情緒）を、また難聴・言語障害通級指導教室は2教室で、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域ぐるみで取り組むという地域・家庭・学校が一体となった取り組みを進めました。また、コロナ禍の中、学校評議員会及び須賀中学校と東小学校に設置されている学校運営協議会を開催し、地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、教育委員会事務局内に配置されている教育相談員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組み、また、令和4年4月に開設した教育支援センターの支援体制の構築、安定した運営のために努めてまいりました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒への交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、老朽化の進む学校施設において、小学校のトイレの一部を大規模改修しました。さらに、児童生徒が安心・安全に学校施設を利用できる教育環境を整備するため、学校施設個別施設計画に基づき、須賀小学校及び須賀中学校の体育館について、非構造部材改修工事を実施いたしました。

学校給食では、新しい生活様式に基づく給食のルールを徹底し、新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、引き続き、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進し、令和4年度には米約23.8トン、野菜等約12.6トン、合わせて35品目、約36.4トンを使用しました。また、須賀中学校、百間中学校において給食配膳用エレベーターの改修を実施しました。

宮代町立小中学校適正配置事業では、小中学校の再編の取組についての住民説明会を町内4ヶ所で実施しました。また、須賀小学校地域拠点施設の再整備の取組をスタートし、職員プロジェクトチーム及び須賀小学校地域拠点施設検討委員会を立ち上げ、無作為抽出ワークショップや住民意識調査の結果をもとに、須賀小学校地域拠点施設基本構想の案を作成いたしました。

2. 生涯学習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、町民文化祭をはじめとする不特定多数の方が参加・来場され、感染拡大防止措置が困難な事業については中止となりました。そのような中においても、成人式に代わり20歳の方をお祝いする「二十歳のつどい」を東武動物公園内の屋外施設で開催するほか、小学生の知的好奇心を刺激する「子ども大学みやしろ」については、参加人数を縮小するなど感染対策に万全を期して開催することができました。また、公民館では、利用件数及び利用者とも増加し、文化芸術から軽スポーツまでの様々な活動に利用いただきました。

3. 町立図書館

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しつつ、指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用、町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供を行いました。また、日本工業大学や社会福祉協議会、健康介護課との学民官連携による取組、保健センターとの共催企画による食育展など、他分野との連携事業を積極的に展開するなど、地域力を生かした図書館の新たな魅力アップへの取組を行いました。

4. スポーツ振興

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じつつ、町民の体力向上やスポーツに親しむ機会を提供するため、施設の維持管理や各行事を行いました。本年度については町民体育祭に替わり、年齢や障がいの有無に関わらず楽しめる“ユニバーサルスポーツ”を中心に、全27種類の競技を自由に体験できるスポーツフェスティバルを開催し、多くの方々が参加されました。また、宮代町総合運動公園においては、指定管理者の持つ専門性を生かした様々な種目の教室に前年度を上回る参加がありました。

5. 文化財保護

郷土資料館では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、昨年度同様に受講人数を減じて「夏休み体験講座 郷土資料館へ行こう」や「歴史講座」などを開催しました。また、西原自然の森敷地内の活用促進を図るため、他課と共催で「西原自然の森サマーフェスタ」や「西原自然の森フェスタ2022」を開催し、多くの方にご来場いただきました。

文化財保護においては、まちづくり基金を活用して、字中にある石碑の「島村先生誨誘之碑」に対して文化財案内板を設置しました。

埋蔵文化財発掘事業では、個人住宅の建設に伴う試掘調査を実施しました。また、過去の発掘調査における成果として、平成26・29年度・令和元年度姫宮神社遺跡調査をはじめとした発掘調査報告書第25集「中寺遺跡・道仏北遺跡・地藏院遺跡・山崎遺跡・姫宮神社遺跡」を刊行するとともに、令和3年度道仏遺跡発掘調査、平成元年度地藏遺跡第2次調査及び平成29年度道仏遺跡発掘調査で出土した遺物整理を行いました。

■ 令和4年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）	29
まちなかどこでもミュージアム事業	38
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	54
人権・平和推進事業	62
日工大サイエンスプロジェクト	71
宮代町立小中学校適正配置事業	72

■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	195
いじめ・不登校対策事業	196
小中一貫教育推進事業	196
町民みんなが先生推進事業	198
英語教育推進事業	198
I C T教育推進事業	198
小学校施設管理事業	199
小学校要準特別支援教育就学援助事業	199
小学校環境教育推進事業	200
中学校施設管理事業	200
中学校要準特別支援教育就学援助事業	201
学校給食運営管理事業	201
社会教育活動事業	202
人権教育推進事業	202
青少年健全育成事業	203
公民館管理運営事業	204
図書館管理運営事業	205
総合運動公園管理事業	208
社会体育施設維持管理事業	209
生涯スポーツ振興事業	210
文化財保護事業	212
埋蔵文化財発掘調査事業	213
資料館管理運営事業	214

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
140,000	93,190	0	0	0	0	93,190

[主な実施内容]

■新入学児童全員に防犯ブザーの配布

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

■通学路点検

小学校、中学校の通学路を点検し、通学路の把握とともに、危険箇所を確認し、地域、警察、関係課と連携して改善に向けて努めてきました。

■「こども110番の家」の設置

「こども110番の家」は、現在121軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったりしたときの駆込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校4校182人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

[成 果]

登下校指導及び通学路の点検等の活動もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども110番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生していません。

スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まっています。

いじめ・不登校対策事業

[学校教育担当] 決算書 P170

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,291,000	974,398	0	0	0	0	974,398

[主な実施内容]

各中学校に1人の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制としてボランティアの相談員を併せて1人ずつ配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、教育支援センターに教育相談員を配置し、学校と委員会間の情報共有に努め、児童生徒や保護者へのフォローアップを実施しました。

令和3年度に設置された「宮代町いじめ問題調査委員会」は、令和4年度中5回開催され、令和4年12月26日に、教育長に調査報告書が提出されました。

[成 果]

令和4年度の不登校の児童生徒は44人でした。

ただし、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員(さわやか相談員)、ボランティア相談員、教育相談員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から小中学校7校に派遣されたスクールカウンセラーの協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では0.96%、中学校においては4.23%です。

小中一貫教育推進事業

[学校教育担当] 決算書 P170

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
230,000	226,940	0	0	0	0	226,940

[主な実施内容]

■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

第1回目は委員が集まり今年度の各中学校区での取組について話し合いを行いました。それぞれの中学校区での取組を参考にしながら、中学校区ごとに小中一貫の取組が進められるよう実施しました。第2回は、1年間の成果や課題を挙げ、令和5年度の教育活動につなげられるよう、まとめを行いました。

各中学校区では、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、交流等が難しいこともありました。工夫をしながら取組を行いました。

須賀小・中学校では、Sプランをもとに「力いっぱい!」「全力」を合言葉にして取り組みました。今年度は、「つなぐ」をキーワードに、ねらいを「指導をつなぐ、児童生徒の心をつなぐ、教職員の意識をつなぐ」として取り組みました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため人と

人との交流が難しい中でしたが、何事にも前向きに一生懸命取り組む児童生徒の育成に取り組むことができました。

東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、ゆずり葉プランに基づいて、今年度は、「教科における緩やかな連携」「学習内容の関連の明確化」「英語科授業の連携」「挨拶運動での交流」「生活面・学びにおける共通事項の確認及び実践」を継続して行いました。それにより、中1ギャップをなくし、学習意欲を向上させながら学びを深めること、小中の交流を通して豊かな心の育成を図ることを目指し指導を進めることができました。

百間小学校・前原中学校では、Mプランに基づいて、「気持ちよく挨拶できる児童生徒」「人の話を目を見てしっかり聞ける児童生徒」「学習（家庭学習）に進んで取り組む児童生徒」「研修を通しての教職員の資質向上」を継続して行いました。学力の向上と豊かな心の育成を目指し、1年間取り組むことができました。

■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動・英語科の一層の推進を図りました。また、小学校では、英語の専科教員が担任、外国語活動補助員や英語指導助手（ALT）と連携して指導し、外国語教育の充実に向け取り組みました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインや動画による交流をしました。

■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。各校の取組は、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

[成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。コロナ禍ではありましたが、中学校区ごとに小中9年間を見通したプランを作成し、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげることができました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図りました。令和2年度からは、小学校で新しい学習指導要領のもと、小学校3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間の外国語科の授業を実施しています。百間中学校区で行われていた外国語教育研究の成果を生かしながら、指導の充実に図ることができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使っでの授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。

町民みんなが先生推進事業

〔学校教育担当〕 決算書 P170

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,027,000	782,114	0	294,000	0	0	488,114

[主な実施内容]

「町民みんなが先生」制度により、部活動等で4人の方々が小中学生の指導を行いました。

[成 果]

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

英語教育推進事業

〔学校教育担当〕 決算書 P172

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,450,000	15,888,300	0	0	0	1,000,000	14,888,300

[主な実施内容]

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校には英語指導助手を2校に1人配置しました。

[成 果]

小学校においては、外国語活動・英語科学習の中で、英語の音声にたくさんふれながら、児童が英語を身につける指導を行うことができました。また、他国の文化を知る国際理解教育が推進できました。

中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合う活動や、具体的な場面や状況に合った表現を用いて、事実や思いを伝える活動を行うことができました。その結果、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区においてオンラインで開催し、小・中学校における英語の学習の成果等を発表することができました。

ICT教育推進事業

〔教育総務担当〕 決算書 P174

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
42,859,000	42,832,457	0	0	0	0	42,832,457

[主な実施内容]

各小・中学校のパソコン室の管理、GIGAスクール構想の実現に向け1人1台の情報端末を活用したICT教育の推進に取り組みました。

[成 果]

1人1台情報端末の活用を通じて、子供たちの情報活用能力を高め、主体的・対話的で深い学びを実現しました。

小学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P178

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
155,158,000	154,583,178	56,707,398	0	20,800,000	292,980	76,782,800

※令和3年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■町内各小学校の施設整備・改修・修繕(主なもの)

内 容	契約期間	金額(円)
令和4年度小学校屋内運動場非構造部材改修工事(付帯工事含む)	R4.6.8~R5.3.31	26,094,000
令和4年度小学校トイレ改修工事(その1)	R4.6.8~R4.10.31	27,720,000
令和4年度小学校トイレ改修工事(その2)	R4.6.8~R4.10.31	20,240,000
笠原小学校校長室間仕切壁及び出入口設置工事	R5.1.16~R5.2.24	2,794,800
笠原小学校電気設備移設工事	R5.1.16~R5.2.20	3,476,000
笠原小学校ネットワーク整備工事	R5.1.19~R5.3.31	1,204,500

[成 果]

須賀小学校屋内運動場において、地震による落下物(照明やバスケットゴール等)から児童等を守るため、落下防止対策を実施しました。

また、各小学校のトイレ改修工事(一部)を実施し、教育環境の改善とトイレ洋式化率の向上を図りました。

笠原小学校の児童数増加による普通教室不足を解消するため、校長室及び職員室を移設しました。

小学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P182

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,949,000	10,518,527	398,000	0	0	0	10,120,527

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は130人(7,679,614円)となりました。また、特別支援教育就

学奨励費支給者は27人（801,553円）となりました。

加えて、翌年度新小学1年生・中学1年生となる新入学児童生徒の保護者に対して、入学準備のための学用品費の事前支給をしました。事前支給者は36人（2,037,360円）となりました。

小学校環境教育推進事業

[学校教育担当]

決算書 P-

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,000	0	0	0	0	0	0

[主な実施内容]

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議をオンラインで実施し、各小・中学校が、話し合った内容を踏まえた環境対策に取り組みました。

[成 果]

令和4年12月9日、進修館小ホールと各校をオンラインでつなぎ「キッズエコサミット宮代2022」を開催しました。小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で年間をとおして取り組んだ環境への取組を紹介しました。

また、自分たちで行える環境への取組について話し合う「子ども環境会議」も開催しました。電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を実施しました。町内小・中学生が取り組み、「お風呂の残り湯を花の水やりや洗濯に使った」「使わない家電のスイッチを消したり、コンセントをぬいたりした」など、子供たちが自ら考えた取組が見られ、環境への意識が高まっています。

中学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P186

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
107,613,000	106,511,601	9,865,494	0	44,200,000	190,840	52,255,267

[主な実施内容]

■町内各中学校の施設整備・改修・修繕(主なもの)

内 容	契約期間	金額(円)
令和4年度中学校屋内運動場非構造部材改修工事(付帯工事含む)	R4.6.8~R5.3.31	33,614,000
給食配膳用エレベーター改修工事(須賀中、百間中)	R4.6.8~R5.3.31	24,796,200
中学校トイレ改修工事設計業務委託	R4.9.20~R5.2.28	5,192,000

[成 果]

須賀中学校屋内運動場において、地震による落下物(照明やバスケットゴール等)から生徒等を守るため、落下防止対策を実施しました。

また、教育環境の改善とトイレ洋式化率の向上を図るため、トイレ改修工事(一部)の設計業務を実施しました。

中学校要準特別支援教育就学援助事業

〔学校教育担当〕

決算書 P188

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,425,000	6,870,576	209,000	0	0	0	6,661,576

【主な実施内容】

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

【成 果】

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は70人(6,505,723円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は9人(364,853円)となりました。

学校給食運営管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P200

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
325,713,000	325,254,294	1,207,270	0	0	114,255,795	209,791,229

【主な実施内容】

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を6回、給食に使う物資について検討する物資検討会を11回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を1回開催しました。さらに、特定の食材についてアレルギーを持っている児童生徒に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

新型コロナウイルス対策としては、新しい生活様式に基づく給食のルール(同一方向を向いての黙食、配膳の盛り切り等)を運用し、感染拡大防止に努めました。

■学校給食における宮代産農作物の使用状況

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
品 目 数	35品目	40品目	33品目
使 用 量 (米・野菜等)	米 23.8トン 野菜等 12.6トン	米 24.4トン 野菜等 14.5トン	米 20.8トン 野菜等 11.3トン

【成 果】

・食育の推進

児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、我が家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成につながるよう取り組みました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,493,000	1,044,903	198,864	0	0	0	846,039

〔主な実施内容〕

■みやしろ大学

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいづくりや健康づくりにつながる講座、ウォーキングなどを開催しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点からすべての講座が中止になりました。

■町民文化祭

宮代町文化協会との共催により、進修館を会場に舞台発表や作品展示を実施しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から中止になりました。

■二十歳のつどい(令和5年1月8日(日))

605,964円

令和4年4月からの改正民法の施行による成人年齢の引き下げにより、「二十歳のつどい」として20歳の方を対象として、町の特色を活かし、レジャーランドのある「東武動物公園」を会場に開催しました。企画、運営は新20歳の対象者で構成される実行委員会により行われ、222人が参加しました。

〔成 果〕

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、会場の特性上、十分な三密対策を取ることが困難なみやしろ大学や町民文化祭は中止となりました。

一方で、二十歳のつどいについては、東武レジャー企画(株)の協力により、レジャーランドのある地域特性を活かし、東武動物公園イベントステージHOLA!(オーラ)を会場に、式典を開催することができました。

人権教育推進事業

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
922,000	791,232	0	0	0	0	791,232

〔主な実施内容〕

■子ども人権講座の開催

40,000円

町内の小学校6年生全員を対象に子ども人権講座「視力を失って見えたもの」を開催し、259人が受講し、命の大切さについて学ぶことができました。

■人権文集(あおぞら第28集)の発行

94,861円

各小・中学校の児童生徒が書いた人権作文・標語を作品集にまとめました。また、オンライ

ンを併用して開催した作文発表会には、会場校の5、6年生131人、一般13人が参加しました。

■宮代町人権教育推進協議会への助成

472,525円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を実施しました。

[成 果]

子ども人権講座では、講師から視力を失いながらも「あきらめないこと」「挑戦する気持ちを持ち続けること」を話してもらい、子供たちにとって生きることの視座をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成では、子供たち一人一人が人権問題について考える機会となりました。

青少年健全育成事業

[生涯学習室] 決算書 P190

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
305,000	183,316	0	0	0	11,000	172,316

[主な実施内容]

■子ども大学みやしろ

30,000円

日本工業大学と連携し、小学校4～6年生を対象に「子ども大学みやしろ」を開校しました。

講義名	期日	場所	参加者数
動物の10倍速く動く！ 植物の筋肉？	9月4日(日)	日本工業大学 E24棟	30人
お家でヒーロー！ お洗濯お手伝いセミナー	10月16日(日)	笠原小学校 家庭科室	31人
SDGsたんけんたい ～エコキャンパスツアーへしゅっぱつ！～	11月13日(日)	日本工業大学 5号館	31人
光の謎	11月27日(日)	日本工業大学 E24棟	29人

■新みやしろ郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた大会

20,085円

宮代町と埼玉県それぞれの歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催するものです。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から新みやしろ郷土かるた大会は中止となりました。

大会名	期日	場所	対象	参加者数
彩の国21世紀郷土かるた宮代大会	1月22日(日)	百間小学校 体育館	小学校4～6年生	16人

■宮代町青少年相談員の活動

令和4年7月に予定していた、栃木県日光市湯西川「安らぎの森キャンプ場」でのサマーキャンプは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

■放課後子供教室

5,310円

国の「新・放課後子ども総合プラン」及び町の「宮代町子ども子育て支援事業計画」に基づき、①放課後に安心して過ごせる居場所の確保、②地域住民との交流、③スポーツや文化活動等の体験機会の提供を目的に実施するものです。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての事業が中止となりました。

■宮代町青少年健全育成推進員の活動

104,000円

青少年健全育成推進員による有害図書等取扱店舗の巡視活動及び年末における青少年非行防止夜間パトロール活動を実施しました。なお、青少年健全育成駅前キャンペーン等の夏期における活動については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から活動を中止としました。

期 日	内 容
11月11日	町内コンビニエンスストア4店舗を巡視
12月16日	町内公共施設などを中心に22箇所を巡視

[成 果]

新みやしろ郷土かるた大会や放課後子供教室などは、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。彩の国21世紀郷土かるた大会は、一般社団法人埼玉県子ども会連合会の開催決定を受け、個人戦のみ開催しました。

子ども大学みやしろは、日本工業大学の協力のもと大教室の提供を受け、換気や手指の消毒などの感染対策をしながら実施することができました。学校では学ぶことができない特色ある授業を実施し、子供たちの知的好奇心を刺激する学びや体験、交流の機会を提供することができました。

公民館管理運営事業

[生涯学習室] 決算書 P192

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,044,000	4,535,610	0	0	0	2,476,660	2,058,950

[主な実施内容]

■公民館の利用状況

令和4年度は、308日開館し、3館で合計42,701人が利用しました。

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
百間公民館	利用回数	1,513	107	1,406	1,032
	利用人数	14,493	2,686	11,807	8,640
川端公民館	利用回数	1,916	49	1,867	1,430
	利用人数	13,171	408	12,763	10,144
和戸公民館	利用回数	1,977	85	1,892	1,270
	利用人数	15,037	1,446	13,591	9,562
合 計	利用回数	5,406	241	5,165	3,732
	利用人数	42,701	4,540	38,161	28,346

※令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月1日から5月31日まで休館。

[成 果]

文化、芸術、軽スポーツ、健康づくり、自治会など、さまざまな分野のサークル、団体の活動拠点として利用され、町民の生涯学習、地域コミュニティ活動の推進に寄与しました。

図書館管理運営事業

[生涯学習室] 決算書 P192

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
90,702,000	90,693,891	0	0	0	52,760	90,641,131

[主な実施内容]

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

■図書館の利用状況

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
開館日数(日)	290	0	290	181
貸出者数(人)	75,679	△1,333	77,012	49,361
うち広域対象	21,463	65	21,398	14,245
貸出冊数(冊・点)	266,832	△4,709	271,541	167,657
うち広域対象	71,147	2,301	68,846	43,836

※令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月8日から5月21日まで及び令和3年1月6日から3月21日まで休館。

■図書等の所蔵数の状況

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
図 書 (冊)	270,222	2,424	267,798	265,203
うち一般書	205,183	1,317	203,866	202,079
うち児童書	65,039	1,107	63,932	63,124

視 聴 覚 資 料 (点)	8,121	79	8,042	8,001
合 計	278,343	2,503	275,840	273,204

■各種行事等の実施状況

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例（定期）行事のほか、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したコンサートなどを開催し、延べ3,351人が参加しました。

【月例行事】

行 事 名	回数	参加者数
童話と絵本の会	全 14 回	238 人
紙芝居と折り紙	全 10 回	157 人
おはなし会	全 20 回	275 人
こども映画会	全 10 回	189 人
ライブラリーシアター	全 12 回	371 人
ナクソス音楽会	全 12 回	213 人
えほんの会（すいよう・にちよう）	全 23 回	334 人

【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
としょかんこどもまつり	4月24日（日）	70人
朗読会	5月22日（日）	25人
夏休み親子で楽しむおはなしと映画	7月23日（土） 8月20日（土）、27日（土）	76人
夏休み子ども映画会	7月24日（日）	23人
夏休みこども平和映画会	8月7日（日）	21人
夏休み科学あそび教室	8月4日（木）	24人
夏休みおはなし工作会	8月11日（木・祝）	9人
夏休み読書感想文教室	8月21日（日）	14人
漫談を楽しむ会	9月16日（金）	41人
図書リサイクル市	10月1日（土）、2日（日）	250人
朗読会	11月27日（日）	37人
クリスマスお楽しみ会	12月25日（日）	52人
ぬいぐるみおとまり会	1月8日（日）、9日（月・祝）	25人
おとなのための昔話と音楽	2月26日（日）	67人
雑誌リサイクル市	3月4日（土）、5日（日）	160人
春のおたのしみ会	3月11日（土）	40人

【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
よみうり回想サロン in 宮代	4月10日（日）	18人

マネー講座「正しい相続制度を知る、終活のススメ」	6月12日(日)	34人
ひゃっか王	6月11日(土)、12日(日)、 18日(土)、19日(日)、 25日(土)、26日(日)	72人
調べ学習ワークショップ	7月2日(土)、3日(日) 8月6日(土)、7日(日)	46人
ゆうべのこわ〜いおはなし会	8月28日(日)	58人
持ち寄りレコード鑑賞会	9月25日(日)	30人
アルツハイマー特別映画会	10月8日(土)	70人
よみうり回想サロン in 宮代	10月9日(日)	24人
日本工業大学特別講演会 「パーソナルモビリティ自動運転」	10月23日(日)	14人
大人のための16ミリ映画会	11月6日(日)	73人
バリアフリー映画会	11月16日(水)	75人
昭和の名人芸を聴く会	1月9日(月・祝)	30人
デジタル郷土史講座	2月23日(木・祝)	55人
みやしろ子ども司書講座	3月4日(土)、11日(土)、 18日(土)、25日(土)	4人
耳で聴いてギリシア神話	3月26日(日)	37人

【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用と町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供を行いました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの普及などが進み、多くの行事を再開することができました。とりわけ、日本工業大学や町社会福祉協議会、町健康介護課との学民官連携による取組をはじめ、保健センターとの共催企画による食育展など、他分野との連携事業を積極的に展開するなど、地域力を生かした図書館の新たな魅力アップへの取組を実施しました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
91,227,000	91,226,338	5,885,000	0	0	275,770	85,065,568

【主な実施内容】

指定管理者制度を活用し、総合運動公園の管理運営を行いました。

■総合運動公園の利用状況

令和4年度は317日開園し、197,873人が利用しました。

		4年度A	増減 A-B	3年度B	2年度
テニスコート	利用件数	3,362	△71	3,433	2,726
	利用人数	23,809	204	23,605	18,964
多目的広場	利用件数	119	△27	146	136
	利用人数	7,230	△956	8,186	6,656
野球場	利用件数	239	△6	245	156
	利用人数	16,599	37	16,562	10,980
ソフトボール場	利用件数	179	△18	197	169
	利用人数	4,946	△558	5,504	3,856
メインアリーナ	利用件数	1,434	△252	1,686	1,047
	利用人数	28,292	327	27,965	17,897
サブアリーナ	利用件数	1,165	588	577	856
	利用人数	14,566	△13,440	28,006	10,198
剣道場	利用件数	538	228	310	371
	利用人数	11,255	6,918	4,337	5,988
柔道場	利用件数	466	△94	560	340
	利用人数	6,254	△891	7,145	3,497
弓道場	利用件数	1,009	14	995	576
	利用人数	4,003	490	3,513	2,718
会議室	利用件数	413	△55	468	267
	利用人数	5,182	△67	5,249	3,582
研修室	利用件数	357	△10	367	195
	利用人数	5,729	△744	6,473	3,379
トレーニング室	利用件数	10,624	1,287	9,337	4,274
	利用人数	10,624	1,287	9,337	4,274
室内プール	利用件数	29,231	1,501	27,730	13,094
	利用人数	59,384	7,394	51,990	31,620
合計	利用件数	49,136	3,085	46,051	24,207
	利用人数	197,873	1	197,872	123,609

■教室等の自主事業実施状況

教室名	4年度A	増減 A-B	3年度B	2年度
水泳	30,767	6,204	24,563	19,158
テニス	4,119	385	3,734	4,009
体育	1,848	404	1,444	1,292
新体操	827	△227	1,054	720
フットサル	1,124	△451	1,575	1,219
バスケットボール	1,176	252	924	833
バドミントン	486	△19	505	326
健康教室	3,582	577	3,005	1,630
ヨガ	1,721	70	1,651	1,122
卓球	1,428	327	1,101	841
ビクトリークリニック	79	7	72	—
その他大会・教室	329	21	308	247
合計	47,486	7,550	39,936	31,397

※自主事業は、感染症対策を実施した上で段階的に実施。

■施設の主な工事等

内容	金額（円）
宮代町総合運動公園自動ドア交換工事	1,595,000
宮代町総合運動公園プール屋根改修工事	20,350,000
総合体育館シャワー室、室内プール採暖室等抗菌用タイル	5,885,000

[成 果]

指定管理者の持つ専門性やノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康教室など幅広い世代に対する事業を展開し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも19万人以上の方に施設を利用していただきました。

社会体育施設維持管理事業

[生涯学習室] 決算書 P198

4年度予算 （円）	4年度決算 （円）	4年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,890,000	3,809,094	0	0	0	279,600	3,529,494

[主な実施内容]

■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

令和4年度は359日開所し、45,933人が利用しました。

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
前原グラウンド	利用件数	404	28	376	309
	利用人数	9,746	2624	7,122	7,059
東 条 原 グラウンド	利用件数	269	△41	310	351
	利用人数	4,558	65	4,493	4,358
東グラウンド	利用件数	161	△68	229	494
	利用人数	2,163	△806	2,969	5,104
宮東グラウンド	利用件数	468	60	408	506
	利用人数	12,651	1,007	11,644	10,076
宮 東 テニスコート	利用件数	722	△1,037	1,759	1,285
	利用人数	14,720	△391	15,111	12,355
山 崎 アーチェリー場	利用件数	2,095	△496	2,591	2,521
	利用人数	2,095	△496	2,591	2,521
合 計	利用件数	4,119	△1,554	5,673	5,466
	利用人数	45,933	2,013	43,920	41,473

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響がありましたが、町民の身近なスポーツ・レクリエーション施設として、個人・スポーツ団体には、ソフトボールやテニスをはじめ、さまざまなスポーツの活動場所に利用され、町民の健康増進・体力向上が図られました。

生涯スポーツ振興事業

[生涯学習室]

決算書 P198

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,579,000	1,254,766	0	0	0	14,400	1,240,366

[主な実施内容]

■第1回町民スポーツフェスティバル

年齢や障がいの有無に関わらず楽しめる“ユニバーサルスポーツ”を中心に、全27種類9カ国のスポーツを自由に体験できるフェスティバルを開催しました。延べ4,436人の来場者が訪れ、町民の健康増進・体力向上が図られました。

■町民スポーツ大会

404,942円

宮代町体育協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、各種スポーツ大会を実施しました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、5種目を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加チーム 参加者数
野球の部	7～8月	総合運動公園野球場	17チーム

硬式テニスの部	9月	総合運動公園テニスコート	中止
ソフトボールの部	9～10月	総合運動公園ソフトボール場他	12チーム
サッカーの部	12月	総合運動公園多目的広場	5チーム
剣道の部	6月	総合体育館メインアリーナ	68名
バレーボールの部	11月	総合体育館メインアリーナ	中止
卓球の部	11月	笠原小学校体育館	14チーム

■第39回宮代町綱引大会

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数(チーム)
宮代町綱引大会	12月4日(日)	総合体育館メインアリーナ	中止

■少年少女スポーツ振興事業

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び雨天のため中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツフェスティバル	6月19日(日)	総合体育館 メインアリーナほか	中止
ロードレース大会	2月11日(土)	総合運動公園	中止

■その他の事業

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第25回ファミリーハイキング 10月～11月	秩父方面	ハイキングの楽しさや素晴らしい風景を味わい、家族のふれあいを深めます。	中止
第48回年少者スキー教室 1月7日(土)～9日(日)	日光湯元温泉 スキー場	小学校4～6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得を図ります。	中止
さいかつぼーる体験 9～3月	総合体育館 メインアリーナ サブアリーナ	埼玉葛地区発祥のニュースポーツ「さいかつぼーる」の体験を通して、日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供します。	87名
あそびと運動(トライ) 10月(秋季)	総合体育館 メインアリーナ	からだを動かすことの楽しさを知り、「動きのもと」を養う下地を作ることを目的に、小学校1～2年生を対象とした教室を実施します。	秋季(全3回) 延べ18名
あそびと運動(チャレンジ)	総合体育館 ほか	子どもの運動能力向上を目的に、小学校3～4年生を対象とした教室を実施します。	中止

※新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、一部事業が中止。または、規模を縮小して開催。

[成 果]

新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、多くの事業が中止となりましたが、感染対策を実施した上で、あそびと運動（トライ）事業を開催し、児童へのからだを動かす楽しさを知ってもらう機会をつくることができました。

文化財保護事業

[生涯学習室]

決算書 P192

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
776,000	648,058	0	0	0	300,000	348,058

[主な実施内容]

■文化財保護委員会の運営

159,300円

文化財の指定等を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を実施しました。また、指定解除となった東条原獅子舞の用具について、指定候補とするための資料調査を行いました。

■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の古代（遺跡）及び信仰（神社）に関する調査を令和3年度に引き続いて実施しました。

■歴史講座の実施

10,000円

3月12日、さいたま民俗文化研究所主席研究員で日本民俗学会会員の板垣時夫氏を講師に、「埼玉東部の民俗行事・芸能～獅子舞・神楽等～」を開催しました。前回は県東部地区の秋・冬の祭礼行事についてでしたが、今回は民俗行事や芸能を中心に、特に獅子舞や神楽等についてわかりやすく解説していただきました。受講者15人。

■文化財案内板等の設置

297,000円

宮代まちづくり基金を活用し、字中地内にある「島村先生誨誘（かいゆう）之碑」について、その由来等を記した案内板を設置しました。

■指定文化財保存事業への補助

17,000円

指定文化財の保護、保存を目的に、埼玉県指定有形文化財五社神社本殿の管理者に防災設備保守点検費用の補助を行いました。

[成 果]

文化財案内板を設置することで合計43基となり、これまで設置したものと合わせて多くの方に地域の歴史、由来を周知できるようになりました。講座の実施にあたっては、感染症対策を行いながら、受講人数を減らしての開催となりました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,473,000	13,574,294	1,368,000	684,000	0	0	11,522,294

[主な実施内容]

■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計327件の照会がありました。

■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第93条・94条の規定に係る発掘届が9件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

(1) 発掘届の原因

項目	件数
個人住宅	7
個人農地改良	1
工事	1

(2) 指示事項

項目	件数
工事立会	5
慎重工事	4
本調査	0

■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

639,864円

土地6件(合計約49㎡)の試掘調査を実施しました。

調査の原因

項目	件数
個人住宅	6

■埋蔵文化財の遺物整理

これまでの発掘調査で出土した遺物の整理作業として、令和3年度道仏遺跡発掘調査、平成元年度地蔵院遺跡第2次調査、平成29年度道仏遺跡発掘調査の遺物整理を行いました。

また、平成26年度地蔵院遺跡、平成26・29年度・令和元年度姫宮神社遺跡等の整理作業、原稿執筆、トレース作業、仮図版作成、出土遺物の復元作業、図面作成作業を行い、発掘報告書第25集「中寺遺跡・道仏北遺跡・地蔵院遺跡・山崎遺跡・姫宮神社遺跡」を刊行しました。

[成 果]

これまでに実施した発掘調査における発掘調査報告書第25集を刊行することができました。また、令和3年度に行った道仏遺跡発掘調査の出土遺物の整理作業にも着手できました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,079,000	10,291,827	0	0	0	15,800	10,276,027

[主な実施内容]

■郷土資料館の利用状況

令和4年度は、278日開館しました。

4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
8,503人	△151	8,654人	4,806人

■資料寄贈等

町民をはじめとした方々から、民具や古文書等16件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約270冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

■展示 町の歴史、文化の紹介

177,272円

区分	内容	期間	入館者数
特別展	真藏院の版木	令和4年10月 ～12月	1,580人
企画展	古文書に見る人々の暮らし4 古典に親しむ	令和4年3月 ～7月	2,064人 (4～7月分)
	身のまわりの生活史12 お皿いろいろ	令和4年7月～10月	3,053人
	おひなさま	令和5年1月～3月	1,353人
	宮代と用悪水～引く、溜める、流す～	令和5年3月～	453人 (3月分)

■各種講座・体験学習教室

51,254円

事業名	内容	参加者数
夏休みとっておき体験 「郷土資料館へ行こう」	7月27日～8月10日(計8回) 対象：小中学生 内容：縄文ペンダントづくり、まが玉づくり、組みひもブレスレットづくり、和とじノートづくり	延べ 76人
西原自然の森 サマーフェスタ	7月30日(土) 他課との共催で行った「西原自然の森サマーフェスタ」において、下記の事業を行った。 ■スタンプラリー「ニシハラを探検せよ！」 ■昔のノートを作ってみよう「和とじノートづくり」	50人

	<p>■古民家を味わう～蓄音機の調べ in 旧加藤家</p>	
<p>かやぶき民家で 聞く昔話</p>	<p>8月6日（土） 内容：旧加藤家住宅座敷において、宮代おはなしの会スウスのみなさんの協力により、昔話や島村蓼三（盛助）の作品「村の寶（たから）」を聞く会を開催した。</p>	25人
<p>移築民家と「アタラシイ」ゲキ17</p>	<p>8月7日（日） 内容：平成16年度を初回に、これまで計16回行ってきたもので、町指定文化財・旧加藤家住宅を舞台として、宮代町に伝わる昔話や伝説、あるいは周辺地域の歴史などを題材にした演劇を上演するものである。本年は、田宮虎彦／作「足摺岬」をテーマに開催。</p>	15人
<p>西原自然の森 フェスタ2022</p>	<p>12月3日（土） ■古民家音楽会 内容：旧加藤家住宅を舞台に、オカリナ・ハーモニカ・軽音楽のそれぞれのグループによる演奏会を開催した。</p> <p>12月4日（日） ■放課後駄菓子屋 内容：旧齋藤家住宅の土間を会場に、駄菓子屋を臨時開店した。</p>	60人 73人

■資料整理

79,065円

1. 町内から寄贈された古文書、民俗資料や歴史資料等の整理を実施しました。
2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理及び目録化等を実施しました。

■普及、啓発

学校教育との連携により、受け入れを実施しました。

1. 総合的な学習について、町内外の小中学校5校の受け入れをしました。
2. 博物館学芸員実習生3人を受け入れました。
3. 団体利用が11件ありました。
4. 職員派遣申請が4件あり、職員の派遣を実施しました。
5. 資料の館内利用が3件ありました。

[成 果]

本年度の特別展は「真藏院の版木」と題して、須賀にある真藏院で発見された江戸時代から大正時代の版木を紹介しました。御札や薬師如来などの絵像、寺の縁起に関するもの、薬に関する

ものなど、特徴的な内容のものが多く、全部で48点について紹介することができました。

企画展は、3月から7月にかけて「古文書に見る人々の暮らし4 古典に親しむ」と題し、収蔵資料の中から、「古今和歌集」や「落窪物語」「徒然草」「源氏物語」「南総里見八犬伝」などといった、今なお「古典文学」として読み継がれているものを紹介しました。また、7月から10月にかけては、「身のまわりの生活史12 お皿いろいろ」と題し、身近な「お皿」をテーマに収蔵品を紹介しました。特別展を挟み、1月から3月にかけては例年同様「おひなさま」の展示を行いました。さらに、3月からは「宮代と用悪水～引く、溜める、流す～」と題し、町域の河川をテーマに、町域に伝来した古文書類の中から用悪水について紹介しました。

西原自然の森活用事業としては、他課との共催事業として7月に「西原自然の森サマーフェスタ」を行い、スタンプラリーや体験講座などを実施しました。また12月には「西原自然の森フェスタ2022」を行い、町指定文化財の旧加藤家住宅を舞台に「古民家音楽会」を、旧齋藤家住宅土間入り口で「放課後駄菓子屋」を開催し、古民家の雰囲気を楽しむながら多くの方にご来場いただきました。



国民健康保険特別会計



令和4年度宮代町国民健康保険特別会計決算における主要施策の成果

令和4年度の歳入総額は、33億4,108万4千円で前年度に比べ3億9,230万7千円、率にして10.5%の減額、歳出総額は、33億3,233万8千円で前年度に比べ3億2,083万7千円、率にして8.8%の減額となりました。収支差引額は、874万6千円となりました。

団塊世代の後期高齢者医療制度への移行等に伴う被保険者数の減により、国保税収入が減少し、単年度の会計収支では5,760万2千円の赤字となりました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し2年間据え置きとなっていた税率等の見直しを行いました。また、県国保運営方針に基づき、令和8年度までの赤字解消に向け、令和5・7・8年度に税率の見直しを図る予定です。

歳入では、被保険者数の減少を背景に前年度と比較して保険基盤安定繰入金や、医療費の減少と共に普通交付金が減額となりました。歳出でも保険給付費や保健事業費などが減額となりました。

特定健康診査等実施事業では、感染予防対策をしたうえで実施したほか、生活習慣改善に向けた保健指導を実施しました。特定健康診査受診率向上に向け、インターネット予約を導入し、受診しやすい環境づくりを推進しました。合わせて、健診対象者の状況を受診履歴、年代、性別、健診結果値等を基に人工知能による分析・分類し、効果的な受診勧奨を行いました。

疾病予防事業では、レセプトや特定健診のデータから糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者や受診中断者の人工透析への移行を予防するため、生活習慣病重症化予防対策事業を実施した他、健康ステーション事業として、保健センターとの共同で、ぐるる宮代において「親子ウォーキング教室」と東武動物公園において「動物園ウォーク」を行い、被保険者の健康意識の向上に努めました。

令和4年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款名	4年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 国民健康保険税	628,637	18.8	94	△ 30,230
2 国庫支出金	0	0.0	0	△ 1,920
3 県支出金	2,356,409	70.5	353	△ 280,834
4 財産収入	2	0.0	0	△ 2
5 繰入金	269,067	8.1	40	△ 35,802
6 繰越金	80,216	2.4	12	△ 42,351
7 諸収入	6,753	0.2	1	△ 1,168
歳入合計	3,341,084	100.0	500	△ 392,307

歳出の状況

款名	4年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 総務費	54,782	1.6	8	2,354
2 保険給付費	2,265,196	68.0	339	△ 277,255
3 国民健康保険事業費納付金	875,871	26.3	131	△ 712
4 共同事業拠出金	0	0.0	0	0
5 保健事業費	54,242	1.6	8	△ 2,340
6 公債費	0	0.0	0	0
7 諸支出金	82,247	2.5	13	△ 42,884
8 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	3,332,338	100.0	499	△ 320,837

令和5年3月31日現在被保険者数
6,678人

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
658,867	17.6	695,538	被保険者数の減
1,920	0.1	3,499	災害等臨時特例補助金（新型コロナウイルス感染症対応分）の減
2,637,243	70.6	2,512,604	保険給付費等交付金の減
4	0.0	1	基金利子の減
304,869	8.2	275,924	その他一般会計繰入金の減
122,567	3.3	125,228	前年度その他繰越金の減
7,921	0.2	10,638	延滞金の減
3,733,391	100.0	3,623,432	

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
52,428	1.4	62,250	職員の人事異動に伴う人件費の増
2,542,451	69.6	2,401,993	療養給付費の減
876,583	24.0	855,064	国民健康保険事業費納付金の減
0	0.0	0	
56,582	1.6	55,420	特定健康診査、がん検診委託料の減
0	0.0	0	
125,131	3.4	126,137	一般会計繰出金の減
0	0.0	0	
3,653,175	100.0	3,500,864	

令和4年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	4年度	3年度	2年度
歳入総額 A	3,341,084	3,733,391	3,623,432
歳出総額 B	3,332,338	3,653,175	3,500,864
歳入歳出差引額 (A - B) C	8,746	80,216	122,568
翌年度へ繰越すべき財源 D	0	0	0
実質収支 (C - D) E	8,746	80,216	122,568
単年度収支 F	△ 71,470	△ 42,352	△ 2,660
積立金 G	0	0	0
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	0	0	0
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 71,470	△ 42,352	△ 2,660

※ 次年度精算を踏まえた会計収支

(単位 千円)

	4年度	3年度	2年度
実質収支 (J + K)	8,746	80,216	122,568
内、県等返還金等繰越金 J	8,746	28,471	26,029
内、その他繰越金 K	0	51,745	96,498
法定外繰入金決算 L	△ 57,602	△ 90,504	△ 49,699
精算後の会計収支 (K + L)	△ 57,602	△ 38,759	46,799

* 4年度の精算後の会計収支は見込み額です。

2 基金の現在高

(単位 千円)

	4年度	3年度	2年度
国民健康保険出産費基金	4,027	4,025	4,021

* 基金現在高は、出納整理期間を含めた額です。

3 世帯数の状況（年度末現在）

(単位 世帯)

	4年度	3年度	2年度
世帯数	4,580	4,868	5,041
町の総世帯数	15,405	15,382	15,268
加入率	29.7%	31.6%	33.0%

4 被保険者数の状況（年度末現在）

(単位 人)

	4年度	3年度	2年度
被保険者数	6,678	7,250	7,608
町の総人口	33,346	33,656	33,792
加入率	20.0%	21.5%	22.5%

5 職員数等の状況

	4年度	3年度	2年度
(一般職員) 職員数	5人	5人	6人
(一般職員) 平均年齢	45.08歳	43.80歳	44.16歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	319,280円	314,900円	315,750円

1 款 国民健康保険税

決算書 P219

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
654,073,000	628,637,302	△30,229,635	658,866,937	695,537,529

現年課税分は被保険者数の減少する中、新型コロナウイルス感染症の影響による減免額が約 121 万円となり、収入済額は前年度より約 2,540 万円の減収となりました。

また、滞納繰越分は納税相談などの徴収対策に取り組み、収入未済額の縮小に努めました。

現年課税分及び滞納繰越分の収納率は、前年度を下回りました。

■ 調定、収納の状況

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
調 定 額	719,808,518	△32,403,056	752,211,574	792,795,607
収 入 済 額	628,637,302	△30,229,635	658,866,937	695,537,529
不 納 欠 損 額	5,325,863	△3,680,156	9,006,019	3,617,940
収 入 未 済 額	86,357,453	1,866,135	84,491,318	94,026,274
収 納 率	87.3%	△0.3%	87.6%	87.7%

※収入済額には還付未済額 512,100 円(28 件分)が含まれています。

■ 軽減税額

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
7 割 軽 減	51,747,010	△1,668,590	53,415,600	50,612,730
5 割 軽 減	23,029,300	△1,594,950	24,624,250	26,640,650
2 割 軽 減	8,229,220	△763,760	8,992,980	9,856,540
合 計	83,005,530	△4,027,300	87,032,830	87,109,920

※保険基盤安定負担金算出資料より

■ 軽減世帯数等

(単位 世帯、人)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
7 割 軽 減	1,274 (1,547)	△25 (△58)	1,299 (1,605)	1,239 (1,521)
5 割 軽 減	606 (1,003)	△58 (△63)	664 (1,066)	697 (1,151)
2 割 軽 減	587 (907)	△25 (△80)	612 (987)	641 (1,078)
合 計	2,467 (3,457)	△108 (△201)	2,575 (3,658)	2,577 (3,750)

※保険基盤安定負担金算出資料「医療分」軽減世帯より。括弧内は軽減世帯に属する被保険者数

■ 未就学児均等割分 (令和4年度創設)

(単位 世帯、人、円)

	世帯数	被保険者数	軽減額 (円)
7 割 軽 減	13	17	109,140
5 割 軽 減	12	15	160,500
2 割 軽 減	2	3	51,360
軽 減 な し	45	58	1,241,200
合 計	72	93	1,562,200

※保険基盤安定負担金算出資料より

■新型コロナウイルス感染症の影響による減免

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
減 免 額	1,205,800	△1,995,400	3,201,200	6,767,000

■一般被保険者国民健康保険税（現年課税分）

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
調 定 額	637,088,100	△21,836,300	658,924,400	694,300,900
収 入 済 額	608,183,256	△25,400,379	633,583,635	663,162,270
不 納 欠 損 額	0	△67,400	67,400	0
収 入 未 済 額	29,416,944	3,990,879	25,426,065	31,524,766
収 納 率	95.5%	△0.7%	96.2%	95.5%

※収入済額には還付未済額 512,100 円(28件分)が含まれています。

■一般被保険者国民健康保険税（滞納繰越分）

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
調 定 額	82,717,657	△10,566,756	93,284,413	98,468,084
収 入 済 額	20,451,285	△4,832,017	25,283,302	32,351,397
不 納 欠 損 額	5,325,863	△3,612,756	8,938,619	3,617,940
収 入 未 済 額	56,940,509	△2,121,983	59,062,492	62,498,747
収 納 率	24.7%	△2.4%	27.1%	32.9%

■退職被保険者等国民健康保険税（滞納繰越分）

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
調 定 額	2,761	0	2,761	26,623
収 入 済 額	2,761	2,761	0	23,862
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	0	△2,761	2,761	2,761
収 納 率	100%	100%	0%	89.6%

2 款 国 庫 支 出 金

決算書 P219

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
1, 000	0	△1, 920, 000	1, 920, 000	3, 499, 000

■国庫補助金

令和3年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度収入が減少した世帯の減免又は免除した保険税に対し、災害等臨時特例補助金（新型コロナウイルス感染症対応分）が交付されました。

令和4年度は、県支出金（特別調整交付金分）として交付されました。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
災 害 等 臨 時 特 例 補 助 金	0	△1, 920, 000	1, 920, 000	3, 499, 000

3 款 県 支 出 金

決算書 P221

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
2, 854, 068, 000	2, 356, 409, 145	△280, 834, 317	2, 637, 243, 462	2, 512, 604, 024

■県補助金

普通交付金は、町の医療費等の支払いに対して交付されるもので、医療費の減少と共に普通交付金も減少しました。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
普 通 交 付 金	2, 269, 675, 145	△280, 142, 317	2, 549, 817, 462	2, 406, 734, 024
特別交付金（保険者努力支援分）	10, 186, 000	△2, 917, 000	13, 103, 000	17, 069, 000
特別交付金（特別調整交付金分）	6, 687, 000	△1, 422, 000	8, 109, 000	7, 840, 000
特別交付金（県繰入金 2 号分）	57, 181, 000	2, 381, 000	54, 800, 000	69, 533, 000
特別交付金（特定健康診査等負担金）	12, 680, 000	1, 266, 000	11, 414, 000	11, 428, 000
合 計	2, 356, 409, 145	△280, 834, 317	2, 637, 243, 462	2, 512, 604, 024

4 款 財 産 収 入

決算書 P221

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
1,000	1,554	△2,576	4,130	907

■利子及び配当金 出産費基金の運用により発生する利子です。

5 款 繰 入 金

決算書 P221

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
269,067,000	269,067,000	△35,801,589	304,868,589	275,923,911

■他会計繰入金（一般会計からの繰入）

保険基盤安定及び国民健康保険担当職員の給与費などの法定の繰入金のほか、国民健康保険事業費納付金の納付における不足額等を補てんするための財源を一般会計から繰り入れました。

・保険基盤安定繰入金

保険税軽減分として国民健康保険税の低所得者に対する保険税軽減相当額を、保険者支援分として軽減世帯の被保険者数に応じた額を、未就学児均等割分として未就学児に係る均等割軽減相当額を国、県分も含めて繰り入れました。

・職員給与費等繰入金

国民健康保険担当職員の人件費などの経費分を繰り入れました。

・出産育児一時金

1 件当たり 42 万円の出産育児一時金の 3 分の 2 に相当する額を繰り入れました。

・財政安定化支援事業繰入金

保険財政の健全化と保険税負担の平準化を目的として地方財政措置されるものです。

・その他一般会計繰入金（法定外繰入金）

県への納付金等の財源として、保険税及び法定の公費負担をしても、なお不足する額（国保特会の赤字相当）を一般会計から繰り入れました。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
保険基盤安定繰入金 (保険税軽減分)	83,005,530	△4,027,300	87,032,830	87,109,920
保険基盤安定繰入金 (保険者支援分)	49,930,168	△904,458	50,834,626	52,549,315
保険基盤安定繰入金 (未就学児均等割分)	1,562,200	1,562,200	—	—
職員給与費等繰入金	58,425,000	56,411	58,368,589	68,311,000
出産育児一時金繰入金	6,160,000	560,000	5,600,000	5,320,000
財政安定化支援事業繰入金	12,382,170	△146,466	12,528,636	12,934,911
その他一般会計繰入金	57,601,932	△32,901,976	90,503,908	49,698,765
合 計	269,067,000	△35,801,589	304,868,589	275,923,911

6 款 繰 越 金

決算書 P223

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
80,217,000	80,216,468	△42,351,012	122,567,480	125,228,304

■前年度繰越金

令和3年度決算剰余金として、令和4年度に繰り越されたものです。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
国県等支出金繰越金	22,836,157	2,764,318	20,071,839	26,287,672
その他繰越金	57,380,311	△45,115,330	102,495,641	98,940,632
合 計	80,216,468	△42,351,012	122,567,480	125,228,304

7 款 諸 収 入

決算書 P223

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
5,310,000	6,752,944	△1,167,775	7,920,719	10,637,989

■延滞金

国民健康保険税の納付に伴う延滞金です。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
一般被保険者延滞金	5,822,376	△1,320,308	7,142,684	7,801,499
退職被保険者等延滞金	0	0	0	1,700

■町預金利子

国民健康保険特別会計の歳計現金に係る預金利子です。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
町 預 金 利 子	1,302	△462	1,764	1,973

■雑入

第三者行為により発生した保険給付に係る損害賠償金その他、がん検診負担金、不正・不当な医療に係る返納金、健康講座参加者負担金等の収入です。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
一般被保険者第三者納付金	237,126	107,918	129,208	2,278,345
一般被保険者返納金	194,180	94,022	100,158	201,972
がん検診等負担金	376,200	△1,600	377,800	351,500
診療報酬等返還金	104,049	△49,034	153,083	1,000
その他	17,711	1,689	16,022	0
合 計	929,266	152,995	776,271	2,832,817

4年度予算(円)	4年度決算(円)	4年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
5,749,000	4,346,362	0	0	4,346,362	0

【主な実施内容】

資格管理の徹底、未申告者への申告勧奨等を実施し、適正かつ公平な賦課徴収に努めました。
一般会計からの法定外繰入（赤字）の解消に向け、令和5年度は税率等の改正を行います。

■令和4年度の保険税率等

※括弧内は令和4年度標準保険税率等

区 分	医療分	支援分	介護分
所 得 割	6.17% (7.20%)	2.05% (2.40%)	1.89% (2.54%)
均 等 割	31,800円 (43,937円)	11,000円 (14,173円)	14,100円 (18,459円)
賦 課 限 度 額	630,000円	190,000円	170,000円

■世帯数

(単位 世帯、各年度末現在)

区 分	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
世 帯 数	4,580	△288	4,868	5,041

※事業年報より

■被保険者数

(単位 人、各年度末現在)

区 分	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
被 保 険 者 数	6,678	△572	7,250	7,608

※事業年報より

【成 果】

適切かつ公平な課税を行いました。

一般被保険者療養給付事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P230

4年度予算（円）	4年度決算（円）	4年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
2,350,001,000	1,952,069,802	0	1,952,069,802	0	0

〔主な実施内容〕

国民健康保険団体連合会を通じて各医療機関に対し、一般被保険者の療養給付費の保険者負担分（7～8割）の給付を行うものです。

（単位 円、件）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
療 養 給 付 費	1,952,069,802	△232,461,866	2,184,531,668	2,058,299,288
給 付 件 数	116,333	△4,938	121,271	118,414
一 件 当 り の 療 養 給 付 費	16,780	△1,234	18,014	17,382

〔成 果〕

一般被保険者の療養に対して、保険医療機関や保険薬局を通じて適正な療養の給付を行いました。

一般被保険者療養費支給事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P230

4年度予算（円）	4年度決算（円）	4年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
24,991,000	15,451,365	0	15,451,365	0	0

〔主な実施内容〕

国民健康保険団体連合会を通じて各医療機関に対し、一般被保険者の療養費に係る保険者負担分（7～8割）を支給した他、一般被保険者が作製した補装具等の費用に対して療養費の支給を行うものです。

（単位 円、件）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
療 養 費	15,451,365	△139,370	15,590,735	15,582,909
給 付 件 数	2,966	162	2,804	2,836
一 件 当 り の 療 養 費	5,209	△351	5,560	5,495

〔成 果〕

一般被保険者に対して、適正な療養費を支給しました。

一般被保険者高額療養費支給事業

[国保・後期担当]

決算書 P232

4年度予算(円)	4年度決算(円)	4年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
376,096,000	281,449,082	0	281,449,082	0	0

[主な実施内容]

一般被保険者の療養給付において、自己負担額が一定の額を超えた額を高額療養費として、被保険者及び国民健康保険団体連合会を通じて各医療機関に支払うものです。

(単位 円、件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
高額療養費	281,449,082	△45,988,567	327,437,649	313,771,665
給付件数	5,590	103	5,487	5,505
一件当りの高額療養費	50,349	△9,326	59,675	56,998

[成果]

一般被保険者に対して、適正な高額療養費を支給し、高額になった医療費の被保険者負担を軽減しました。

出産育児一時金支給事業

[国保・後期担当]

決算書 P232

4年度予算(円)	4年度決算(円)	4年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
9,240,000	8,820,000	0	0	6,649,000	2,171,000

[主な実施内容]

被保険者の出産に対して、条例の定める額(1件42万円)を出産育児一時金として支給しました。

(単位 円、件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給額	8,820,000	2,100,000	6,720,000	5,880,000
支給件数	21	5	16	14

[成果]

出産育児一時金を支給することにより、被保険者の負担軽減を図りました。

葬祭費支給事業

[国保・後期担当]

決算書 P232

4年度予算(円)	4年度決算(円)	4年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
3,100,000	2,450,000	0	0	258,000	2,192,000

[主な実施内容]

被保険者の死亡に伴う葬祭に対して、条例の定める額(1件5万円)を葬祭費として支給しました。

(単位 円、件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給額	2,450,000	△350,000	2,800,000	3,200,000
支給件数	49	△7	56	64

[成果]

葬祭費を支給することにより、被保険者遺族等の負担軽減を図りました。

傷病手当金支給事業

[国保・後期担当]

決算書 P234

4年度予算(円)	4年度決算(円)	4年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
272,000	271,465	0	0	0	271,465

[主な実施内容]

新型コロナウイルスに感染または感染の疑いがあり、仕事を休んだことで給与の支払いを受けられなかった方を対象に、傷病手当金を支給しました。

(単位 円、件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給額	271,465	△290,443	561,908	378,033
支給件数	7	1	6	3

[成果]

新型コロナウイルス感染症拡大をできる限り防止するため、被保険者が感染した場合又は発熱等の症状があり感染が疑われる場合に仕事を休みやすい環境を整備し、休業中の被保険者とその家族の生活保障を図りました。

一般被保険者医療給付費分納付金納付事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P234

4年度予算(円)	4年度決算(円)	4年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
594,524,000	594,523,156	0	74,054,000	85,765,977	434,703,179

【主な実施内容】

県内一般被保険者の医療費等の支払いに必要な金額を、所得水準、被保険者数、医療費水準により各市町村で按分し負担するものです。

当該納付金を財源に町が支払う医療費等を賄うための普通交付金が県から交付されます。

(単位 円)

4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
594,523,156	13,828,638	580,694,518	569,749,720

【成 果】

当該納付金を納付することにより、市町村国保制度の適正な財政運営に寄与しました。

一般被保険者後期高齢者支援金等分納付金納付事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P234

4年度予算(円)	4年度決算(円)	4年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
206,346,000	206,345,837	0	0	31,462,998	174,882,839

【主な実施内容】

各医療保険者(国保・被用者保険)がそれぞれの加入者数(0歳から74歳)に応じて負担する後期高齢者支援金を、医療給付費分納付金同様に県内市町村で按分して負担するものです。

(単位 円)

4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
206,345,837	△8,210,207	214,556,044	219,165,886

【成 果】

当該納付金を納付することにより、後期高齢者医療制度の適正な財政運営に寄与しました。

介護納付金分納付金納付事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P234

4年度予算(円)	4年度決算(円)	4年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
75,000,000	74,999,655	0	0	11,134,278	63,865,377

【主な実施内容】

各医療保険者(国保・被用者保険)がそれぞれの介護保険第2号被保険者数(40歳から64歳)に応じて負担する介護納付金を、医療給付費分納付金同様に県内市町村で按分して負担するものです。

(単位 円)

4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
74,999,655	△6,331,003	81,330,658	66,132,093

【成 果】

当該納付金を納付することにより、介護保険制度の適正な財政運営に寄与しました。

4年度予算（円）	4年度決算（円）	4年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
36,647,000	29,808,231	0	12,680,000	3,057,711	14,070,520

【主な実施内容】

特定健康診査の結果に基づき、情報提供レベル、動機付け支援及び積極的支援の階層化を行いました。集団健診においては、胃がん検診、肺がん検診を同時に受診できる体制で実施しました。

今年度から、集団健診においてインターネット予約を導入し、受診しやすい環境づくりを推進しました。

特定保健指導では、動機付け支援、積極的支援の該当者に対し、管理栄養士による個別面談を実施すると共に、生活習慣の改善に取り組めるよう6ヶ月間にわたって定期的な保健指導を行い生活習慣病の予防に努めました。

■特定健康診査受診者

（単位 人）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
集団健診	911	△10	921	763
個別健診	1,388	△182	1,570	1,682
計	2,299	△192	2,491	2,445
受診率	45.5%	△1.5%	47.0%	42.1%

※4年度の受診率は令和5年5月25日現在、3年度以前は最終報告

■特定保健指導実施者

（単位 人）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
積極的支援	17	2	15	6
動機付け支援	94	33	61	58
計	111	35	76	64
終了率	-	-	23.0%	20.3%

※4年度の実施者、終了率は秋ごろに確定予定、3年度以前は最終報告

■血糖コントロール教室

糖尿病に関する正しい知識の習得、食生活改善に向けた講話の実施、また、運動実技の実習を通じて、糖尿病の発症予防に向けた取り組みを行いました。

（単位 人）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
教室参加者	20	5	15	7

【成 果】

特定健康診査を実施することで、自己の健康管理への意識を高め、生活習慣病予防、疾病の早期発見の契機としました。また、特定保健指導、血糖コントロール教室を通じて、食生活に関する意識改革及び生活習慣の改善へのきっかけづくりが促進されました。

また、特定健康診査受診率向上に向け、健診対象者の状況を受診履歴、年代、性別、健診結果値等を基に人工知能による分析・分類し、効果的な受診勧奨を行いました。

4年度予算（円）	4年度決算（円）	4年度決算の財源内訳（円）			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
29,559,000	22,997,208	0	0	2,846,200	20,151,008

【主な実施内容】

被保険者の健康管理の取組を応援するために、人間ドックを受診された方への助成の他、がんの早期発見を目的に被保険者に係る検診費用の一部を負担しました。

生活習慣病重症化予防対策事業においては、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者に対する受診勧奨と糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い方に対する保健指導を行い、人工透析への移行防止に取り組みました。

また、ウォーキングイベントを実施し被保険者の健康づくりを支援しました。

■各種検診等の状況

（単位 人）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
胃がん検診	481	△42	523	438
肺がん検診	734	△13	747	635
大腸がん検診	1,044	△149	1,193	1,288
子宮頸がん検診	216	△27	243	239
乳がん検診	243	△14	257	271
人間ドック助成	293	△4	297	265

■生活習慣病重症化予防対策事業

（単位 人）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
受診勧奨実施者	11	△13	24	34
保健指導参加者	7	3	4	7

■健康ステーション事業

①親子ウォーキング教室（保健センターと共同実施）

事業概要：小学生（1～3年生）と保護者を対象に、ウォーキングの正しいフォームや、速く走るためのポイント等の講話と実技を行いました。

開催日等：令和4年10月1日（土）ぐるる宮代

参加者数：9組19名（内、国民健康保険加入者0名）

②動物園ウォーク（保健センターと共同実施）

事業概要：誰でも取り組みやすいウォーキングを通じ、正しい歩き方や無理なく続けられるウォーキング等の講話と実技を行いました。

開催日等：令和4年11月8日（火）東武動物公園

参加者数：47名（内、国民健康保険加入者20名）

【成 果】

各種検診や生活習慣病重症化予防対策事業、イベント等を通じて被保険者の健康増進、健康意識の向上に寄与しました。

4年度予算(円)	4年度決算(円)	4年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
1,606,000	1,436,515	0	0	133,000	1,303,515

[主な実施内容]

医療費の適正化、被保険者の医療費把握のため、医療費通知やジェネリック医薬品（後発医薬品）へ切り替えた場合、削減できる自己負担額を記載したお知らせを送付しました。

■ 医療費通知 発送数：年6回 延べ 22,391通

■ 「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」 発送数：年2回 延べ 213通

[成 果]

医療費通知の送付により、被保険者の健康と医療費の実情に対する認識を深めました。

また、ジェネリック医薬品の使用を促進することによって、被保険者の薬剤費の自己負担の軽減だけでなく、医療費の削減を図りました。



介 護 保 険 特 別 会 計



令和4年度宮代町介護保険特別会計決算における主要施策の成果

介護保険制度は、介護が必要になった高齢者やその家族を社会全体で支える社会保険制度であり、40歳以上の方の保険料（50%）及び公費（50%）を財源として運営しています。

令和5年3月末日現在の65歳以上の第1号被保険者は10,961人で、町総人口に占める割合は32.8%となっています。要介護等認定者（要支援1～要介護5）は、1,856人（第2号被保険者を含む総認定者数は1,901人）で、認定率は17.3%となっています。

要介護者に対しては、適切な介護サービスが受けられるよう必要な保険給付を行い、また要支援者等に対しては、市町村が中心となり地域の実情に応じて、効果的かつ効率的な支援等を行なうことを目的とする介護予防・日常生活支援総合事業によるサービス提供を行いました。

地域支援事業では、高齢者の自立支援と重度化防止のため、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じたうえで、介護予防に関する基本的な知識の普及を目的とした介護予防教室の開催、地域で活躍するプラザサポーターの育成を行いました。また、地域交流サロンに対して、高齢者等の閉じこもり防止及び高齢者の元気アップを目的とした地域の居場所づくりへの支援を行いました。さらに、宮代町版エンディングノートとして「もしもの時のわたしノート」、高齢者向けサービスをまとめた冊子の「高齢者困りごとサポート」をそれぞれ作成し、配布したほか、高齢者の買物支援と見守りを目的とした移動販売事業の「みやしろ巡回スーパー」を開始しました。

令和4年度決算状況の概要ですが、歳入総額は32億2,271万2千円で前年度に比べ1,303万8千円、0.4%の増加、歳出総額は30億7,701万4千円で前年度に比べ2,610万6千円、0.9%の増加となっています。

歳入歳出差引額は1億4,569万8千円となりましたが、翌年度において国・県支出金、支払基金交付金及び一般会計繰入金の前年度精算が行われることとなります。

なお、令和4年度決算における実質収支から前年度繰越金1億5,876万6千円を差し引いた単年度収支はマイナス1,306万8千円となりました。

歳入では、公費投入による第1段階から第3段階の保険料の軽減をおこなったため、現年度分調定額合計は6億5,365万2,200円で前年度に比べ3万2,900円、0.01%の減となり、収入済額は6億5,212万6,250円で前年度に比べ113万4,500円、0.1%の増となりました。現年度分収納率は、特別徴収が100.2%、普通徴収は94.6%となりました。また、滞納繰越分の収納率については22.8%となりました。

第2号被保険者（40歳～64歳）の介護保険料である支払基金交付金は、7億5,615万円で、前年度に比べ4,052万9千円、5.6%の増となっています。

歳出では、介護サービス利用者の増加等に伴い、保険給付費が前年度に比べ1億2,796万7千円、4.9%の増加となっています。

また、介護保険給付費準備基金は3,724万3千円減少し、3億4,998万6千円となりました。

令和4年度 介護保険特別会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款	4年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 介護保険料	653,473	20.3	59	705
- 分担金及び負担金	—	—	—	△ 151
2 支払基金交付金	756,150	23.5	69	40,529
3 国庫支出金	595,105	18.5	54	26,686
4 県支出金	435,482	13.5	40	11,234
5 財産収入	149	0.0	0	△ 160
6 繰入金	619,081	19.2	56	32,690
7 繰越金	158,767	4.9	14	△ 97,249
8 諸収入	4,505	0.1	0	△ 1,246
歳入合計	3,222,712	100.0	293	13,038

歳出の状況

款	4年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 総務費	111,151	3.6	10	6,520
2 保険給付費	2,705,858	87.9	246	127,967
3 地域支援事業費	101,511	3.3	9	△ 9,625
4 基金積立金	40,334	1.3	4	△ 116,796
5 公債費	0	0.0	0	0
6 諸支出金	118,160	3.9	11	18,040
7 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	3,077,014	100.0	280	26,106

令和5年3月31日現在第1号被保険者数（2号の要介護認定者を含む）
11,006人

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	増減理由
決算額 B	構成比 (%)		
652,768	20.4	639,565	低所得者負担軽減強化の実施
151	0.0	0	在宅医療・介護連携推進事業における負担金の廃止に伴う皆減
715,621	22.3	696,181	介護保険給付費・地域支援事業費の増
568,419	17.7	565,641	介護保険給付費・地域支援事業費の増
424,248	13.2	401,392	介護保険給付費・地域支援事業費の増
309	0.0	77	介護保険給付費準備基金利子の減
586,391	18.3	698,342	保険給付費の増加及び人事異動に伴う繰入金等の増
256,016	5.0	160,988	前年度繰越金の減
5,751	0.2	9,108	介護用品利用負担の見直しによる雑入の減
3,209,674	100.0	3,171,294	

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	増減理由
決算額 B	構成比 (%)		
104,631	3.4	104,190	職員人件費の増
2,577,891	84.5	2,520,116	介護（予防）サービス利用者数の増加に伴う介護保険給付費の増
111,136	3.6	106,462	地域支援事業費の減
157,130	5.2	116,284	介護保険給付費準備基金積立の減
0	0.0	0	
100,120	3.3	68,226	国・県支出金返還金の増
0	0.0	0	
3,050,908	100.0	2,915,278	

令和4年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	4年度	3年度	2年度
歳入総額 A	3,222,712	3,209,674	3,171,294
歳出総額 B	3,077,014	3,050,908	2,915,278
歳入歳出差引額 (A - B) C	145,698	158,766	256,016
翌年度へ繰越すべき財源 D	0	0	0
実質収支 (C - D) E	145,698	158,766	256,016
単年度収支 F	△ 13,068	△ 97,250	95,028
積立金 G	40,333	157,130	116,284
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	77,578	71,804	156,936
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 50,313	△ 11,924	54,376

2 基金の現在高

(単位 千円)

	4年度	3年度	2年度
介護保険給付費準備基金	349,986	387,229	301,904

3 被保険者数の状況

(単位 人)

	4年度	3年度	2年度
第1号被保険者	10,961	10,989	10,982
第2号被保険者(認定者数)	45	43	41
合計	11,006	11,032	11,023

4 介護サービス利用状況

(単位 人)

	4年度	3年度	2年度
居宅介護サービス利用者	1,069 (12,588)	995 (11,963)	967 (11,396)
地域密着型サービス利用者	161 (1,971)	158 (1,893)	163 (1,901)
施設介護サービス利用者	297 (3,538)	289 (3,325)	284 (3,426)
第1号事業サービス利用者	147 (1,709)	135 (1,682)	124 (1,469)
合 計	1,674 (19,806)	1,577 (18,863)	1,538 (18,192)

※令和5年3月利用者数(第2号被保険者含む)。()内は延べ人数。

5 職員数等の状況

	4年度	3年度	2年度
(一般職員) 職員数	11人	11人	13人
(一般職員) 平均年齢	47.01歳	40.03歳	41.08歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	324,018円	288,218円	290,800円

1 款 介 護 保 険 料

決算書 P249

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
689,754,000	653,473,400	705,080	652,768,320	639,564,457

保険料の改定に伴い、対前年比0.1%の増となりました。

■現年度分特別徴収保険料

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
調 定 額	602,555,900	△1,568,600	604,124,500	592,295,200
収 入 済 額	603,798,400	△571,700	604,370,100	593,092,100
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	0	0	0	0
還 付 未 済 額	1,242,500	996,900	245,600	796,900
収 納 率	100.2%	0.2ポイント	100.0%	100.1%

※令和4年度の特別徴収還付未済件数は1462件です。

■現年度分普通徴収保険料

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
調 定 額	51,096,300	1,535,700	49,560,600	48,141,900
収 入 済 額	48,327,850	1,706,200	46,621,650	45,013,650
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	2,811,950	△141,800	2,953,750	3,206,500
還 付 未 済 額	43,500	28,700	14,800	78,250
収 納 率	94.6%	0.5ポイント	94.1%	93.5%

※令和4年度の普通徴収還付未済件数は8件です。

■現年度分合計（特別徴収保険料及び普通徴収保険料）

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
調 定 額	653,652,200	△32,900	653,685,100	640,437,100
収 入 済 額	652,126,250	1,134,500	650,991,750	638,105,750
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	2,811,950	△141,800	2,953,750	3,206,500
還 付 未 済 額	1,286,000	1,025,600	260,400	875,150
収 納 率	99.8%	0.2ポイント	99.6%	99.6%

■滞納繰越分普通徴収保険料

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
調 定 額	5,897,958	△3,069,410	8,967,368	9,179,375
収 入 済 額	1,347,150	△429,420	1,776,570	1,458,707
不 納 欠 損 額	2,339,258	△1,840,032	4,179,290	1,964,700
収 入 未 済 額	2,211,550	△799,958	3,011,508	5,760,268
還 付 未 済 額	0	0	0	4,300
収 納 率	22.8%	3.0ポイント	19.8%	15.9%

滞納繰越に係る収納率は対前年比3.0ポイント増加しました。

2款 支払基金交付金

決算書 P249

4年度予算	4年度決算A	増 減 A-B	3年度決算B	2年度決算
798,479,000	756,150,000	40,529,000	715,621,000	696,181,000

40歳から64歳までの第2号被保険者の介護保険料については、社会保険診療報酬支払基金が取りまとめを行い、町に交付されます。

(単位 円)

	4年度A	増 減 A-B	3年度B	2年度
介護給付費交付金				
現年度分	741,617,000	40,026,000	701,591,000	684,616,000
地域支援事業支援交付金				
現年度分	14,533,000	503,000	14,030,000	11,565,000
合計	756,150,000	40,529,000	715,621,000	696,181,000

3款 国庫支出金

決算書 P249

4年度予算	4年度決算A	増 減 A-B	3年度決算B	2年度決算
609,706,000	595,104,598	26,685,381	568,419,217	565,641,313

介護給付費等の増に伴い、国庫負担金は増加しました。また調整交付金の増及び介護保険保険者努力支援交付金の増により、国庫補助金も増加しています。

(単位 円)

	4年度A	増 減 A-B	3年度B	2年度
国庫負担金	502,587,673	14,562,571	488,025,102	459,913,266
国庫補助金	92,516,925	12,122,810	80,394,115	105,728,047
合計	595,104,598	26,685,381	568,419,217	565,641,313

■国庫負担金

- ・現年度分介護給付費負担金（負担率 施設分 15/100 その他分 20/100） 502,587,673 円

■国庫補助金

- ・調整交付金 50,018,000 円
- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）（交付率 25/100） 11,377,200 円
- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業）
（交付率 38.5/100） 21,977,725 円
- ・保険者機能強化推進交付金 3,917,000 円
- ・介護保険保険者努力支援交付金 4,947,000 円
- ・介護保険事業費補助金（交付率 50/100） 280,000 円

4款 県 支 出 金

決算書 P251

4年度予算	4年度決算A	増 減 A-B	3年度決算B	2年度決算
439,469,000	435,482,290	11,234,134	424,248,156	401,391,626

介護給付費等の増に伴い、県負担金が増加しましたが、地域支援事業交付金の減により、県補助金は減少しました。

(単位 円)

	4年度A	増 減 A-B	3年度B	2年度
県 負 担 金	417,743,178	11,360,479	406,382,699	384,038,228
県 補 助 金	17,717,112	△139,545	17,856,657	17,331,398
県 委 託 金	22,000	13,200	8,800	22,000
合 計	435,482,290	11,234,134	424,248,156	401,391,626

■県負担金

- ・現年度分介護給付費負担金（負担率 施設分 17.5/100 その他分 12.5/100） 417,743,178 円

■県補助金

- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）（交付率 12.5/100） 6,728,250 円
- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業） 10,988,862 円
（交付率 19.25/100）

■県委託金

- ・生活保護介護扶助審査判定業務委託金 22,000 円

5款 財 産 収 入

決算書 P253

4年度予算	4年度決算A	増 減 A-B	3年度決算B	2年度決算
152,000	149,440	△159,201	308,641	77,318

介護保険給付費準備基金から生じる預金利子です。

6款 繰 入 金

決算書 P253

4年度予算	4年度決算A	増 減 A-B	3年度決算B	2年度決算
619,277,000	619,081,300	32,690,000	586,391,300	698,342,400

■介護給付費繰入金

介護保険事業計画における介護給付費の増に伴い、町負担金が増となりました。

- ・介護給付費繰入金（負担率 12.5/100）

(単位 円)

	4年度A	増 減 A-B	3年度B	2年度
介護給付費繰入金	363,401,000	9,059,000	354,342,000	372,464,000

■地域支援事業繰入金

介護予防・日常生活支援総合事業は事業費の増加に伴い増、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援総合事業は事業費の減少に伴い、減となりました。

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
介護予防・日常生活支援総合事業	6,729,000	233,000	6,496,000	6,292,000
介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業	10,726,000	△1,474,000	12,200,000	12,177,000

■その他一般会計繰入金

人事異動等により、職員給与費繰入金が増加しました。

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
職員給与費繰入金	87,989,000	15,261,000	72,728,000	85,541,000
事務費繰入金	19,027,000	1,795,000	17,232,000	14,964,000
認定事務費繰入金	24,172,000	1,448,000	22,724,000	22,091,000
一時借入金利子繰入金	59,000	0	59,000	59,000
合計	131,247,000	18,504,000	112,743,000	122,655,000

■低所得者保険料軽減繰入金

公費による保険料軽減が強化されたことによる低所得者分（保険料第1段階から第3段階）の軽減相当額を繰り入れたものです。

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
低所得者保険料軽減繰入金	29,400,300	594,000	28,806,300	27,818,400

■基金繰入金

前年度の介護保険料収入の余剰金を積み立てた介護保険給付費準備基金から、保険給付費の財源として繰り入れたものです。

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
介護保険給付費準備基金繰入金	77,578,000	5,774,000	71,804,000	156,936,000

7款 繰越金

決算書 P255

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
158,767,000	158,766,477	△97,248,770	256,016,247	160,987,781

前年度から繰り越された決算剰余金です。

8款 諸収入

決算書 P255

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
6,205,000	4,504,586	△1,246,714	5,751,300	9,108,085

介護用品支給事業の支給対象者の経過措置が終了したことに伴う利用者負担額の減に伴い、雑入が減となりました。

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
町 預 金 利 子	3,908	△935	4,843	3,818
収 益 事 業 収 入	0	0	0	0
延滞金、加算金及び過料	145,600	72,500	73,100	34,500
雑 入	4,355,078	△1,318,279	5,673,357	9,069,767
合 計	4,504,586	△1,246,714	5,751,300	9,108,085

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,500,000	4,326,166	0	0	0	4,326,166	0

[主な実施内容]

介護保険制度の財源として、65歳以上の第1号被保険者の方に前年中の所得等に応じて、介護保険料の賦課徴収を行いました。特別徴収（年金天引き）該当の方には、3月、5月、7月に特別徴収開始通知書、普通徴収（納付書払い、口座振替）該当の方には、4月に普通徴収暫定賦課通知書、8月に普通徴収納入通知書を発送しました。

■介護保険第1号被保険者数の推移

・特別徴収対象者数（年度末現在・併徴者を含む） (単位 人)

	4年度	3年度	2年度
第1段階	1,249	1,169	1,199
第2段階	610	586	560
第3段階	542	514	488
第4段階	1,669	1,632	1,712
第5段階	1,634	1,602	1,538
第6段階	1,536	1,494	1,539
第7段階	1,730	1,665	1,544
第8段階	799	790	797
第9段階	236	232	318
第10段階	201	198	187
第11段階	128	123	144
合計	10,334	10,005	10,026

・普通徴収対象者数（年度末現在・併徴者を含む） (単位 人)

	4年度	3年度	2年度
第1段階	302	267	286
第2段階	24	19	10
第3段階	12	10	11
第4段階	206	200	224
第5段階	20	17	24
第6段階	147	140	137
第7段階	136	127	107
第8段階	89	86	84
第9段階	30	28	46
第10段階	46	44	44
第11段階	51	49	50
合計	1,063	987	1,023

介護保険第1号被保険者数（年度末現在の賦課対象者数）

（単位 人）

	4年度	3年度	2年度
第1段階	1,566	1,437	1,485
第2段階	635	605	569
第3段階	556	523	497
第4段階	1,887	1,829	1,933
第5段階	1,663	1,614	1,558
第6段階	1,695	1,630	1,674
第7段階	1,872	1,791	1,646
第8段階	894	876	881
第9段階	266	260	363
第10段階	246	241	229
第11段階	179	172	190
合計	11,459	10,978	11,025

[成 果]

徴収強化期間（10月から12月及び2月）を定め、集合催告書の発布を行い、窓口での納付相談、電話催告を実施したことで現年度普通徴収分の徴収率が0.5ポイント向上し、財源確保を図りました。

介護認定審査会運営事業

〔介護保険担当〕

決算書 P262

4年度予算 （円）	4年度決算 （円）	4年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
13,995,000	11,299,932	0	22,000	0	11,277,932	0

[主な実施内容]

介護保険法に基づき、介護認定審査会を設置し、介護認定の審査判定を行いました。

（単位 件）

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
開催回数	49	0	49	48
審査件数	1,434	△49	1,483	1,277
二次判定結果				
非該当	0	△5	5	4
要支援1	181	△18	199	140
要支援2	176	△37	213	159
要介護1	301	△18	319	298
要介護2	268	42	226	217
要介護3	178	△7	185	164
要介護4	197	23	174	158
要介護5	133	△19	152	126

※区分変更却下 7
取消 3

※区分変更却下 9
取消 2

[成 果]

保健・医療・福祉の各専門分野より選出された委員で組織する介護認定審査会において、適正かつ公平な要介護認定を行いました。

認定調査事業

[介護保険担当]

決算書 P262

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
10,200,000	7,763,359	0	0	0	7,763,359	0

[主な実施内容]

要介護認定申請者の訪問調査を行い、心身の状況を正確に把握しました。

(単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
新規申請調査件数	442	△16	458	412
更新申請調査件数	774	△50	824	702
変更申請調査件数	218	28	190	163
合計	1,434	△38	1,472	1,277

[成 果]

町の訪問調査及び委託調査により、適正な認定審査の実施に繋がりました。

居宅介護サービス給付事業

[介護保険担当]

決算書 P264

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,084,313,000	1,049,285,938	209,857,187	131,160,742	0	708,268,009	0

[主な実施内容]

要介護認定となった在宅の被保険者に対し、居宅サービス費用を保険給付しました。

- ・介護サービス利用件数

(単位 件)

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
訪問サービス	訪問介護	2,627	△63	2,690	2,579
	訪問入浴	325	△16	341	293
	訪問看護	1,292	84	1,208	969
	訪問リハビリテーション	628	△26	654	558
通所サービス	通所介護	3,557	270	3,287	2,992
	通所リハビリテーション	2,294	48	2,246	2,323
短期入所サービス	短期入所生活介護	993	175	818	745
	短期入所療養介護	84	16	68	85

[成 果]

居宅サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

地域密着型介護サービス給付事業

[介護保険担当]

決算書 P264

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
368,967,000	307,944,911	61,588,982	38,493,113	0	207,862,816	0

[主な実施内容]

高齢者が中重度の要介護状態に移行後も、可能な限り住み慣れた自宅・地域で生活を継続できるように、町が事業所の指定を行い、地域密着型介護サービス費用を保険給付しました。

・地域密着型介護サービス利用件数 (単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
小規模多機能型居宅介護	116	△51	167	179
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	417	39	378	405
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	349	△2	351	348
夜間対応型訪問介護	11	0	11	6
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	189	91	98	99
地域密着型通所介護	909	38	871	880

[成 果]

地域密着型サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

施設介護サービス給付事業

[介護保険担当]

決算書 P266

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,045,270,000	992,744,640	198,548,928	173,730,312	0	620,465,400	0

[主な実施内容]

要介護認定となった施設入所の被保険者に対し、施設介護サービス費用を保険給付しました。

・施設介護サービス利用者数(3月審査分) (単位 人)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
介護老人福祉施設	193 (2,346)	6 (117)	187 (2,229)	180 (2,212)
介護老人保健施設	98 (1,175)	8 (82)	90 (1,093)	94 (1,145)
介護療養型医療施設	3 (50)	0 (14)	3 (36)	3 (70)

() 内は年度延べ人数

[成 果]

施設介護サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

居宅介護福祉用具購入費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P266

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,311,000	2,958,222	591,644	369,777	0	1,996,801	0

[主な実施内容]

要介護認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための福祉用具の購入費用として、年10万円までを利用限度額とし、そのうちの9割、8割または7割を保険給付しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給件数(件)	92	△28	120	106
支給総額(円)	2,958,222	△547,736	3,505,958	3,144,904
支給者一人あたりの支給額(円)	32,154	2,938	29,216	29,669

[成果]

在宅生活の自立支援を実施するために、腰掛・補高便座、浴槽台、浴槽用手すり、入浴用いす等の購入費を保険給付しました。

居宅介護住宅改修費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P266

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,034,000	7,271,856	1,454,371	908,982	0	4,908,503	0

[主な実施内容]

要介護認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための住宅改修の費用として、1住宅につき20万円までを利用限度額とし、そのうちの9割、8割または7割を保険給付しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給件数(件)	66	△24	90	88
支給総額(円)	7,271,856	△1,248,108	8,519,964	9,709,806
支給者一人あたりの支給額(円)	110,180	15,514	94,666	110,339

[成果]

在宅生活の自立支援を実施するために、手すりの取り付けや段差解消、滑り止め、引き戸への変更等の費用を保険給付しました。

居宅介護サービス計画給付事業

[介護保険担当] 決算書 P266

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
134,177,000	127,646,142	25,529,228	15,955,767	0	86,161,147	0

[主な実施内容]

居宅介護支援事業所に対し、要介護認定となった在宅被保険者の介護サービス計画作成にかかる費用を保険給付しました。

・介護サービス計画利用件数 (単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
3月分	765 (9,292)	20 (219)	745 (9,073)	725 (8,736)

() 内は年度延べ件数

[成 果]

居宅介護支援事業所への情報提供等により、効果的なケアプラン作成支援とサービス計画費の給付を行いました。

介護予防サービス給付事業

[介護保険担当] 決算書 P266

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
62,882,000	51,510,523	10,302,104	6,438,815	0	34,769,604	0

[主な実施内容]

要支援認定となった在宅の被保険者に対し、介護予防サービス費用を保険給付しました。

・介護予防サービス利用件数 (単位 件)

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
訪問 サービス	介護予防訪問看護	81	△72	153	122
	介護予防訪問 リハビリテーション	65	△1	66	81
通所 サービス	介護予防通所 リハビリテーション	821	76	745	703
短期入所 サービス	介護予防短期入所介護	6	△5	11	16
	介護予防短期入所療養介護	0	△1	1	0

[成 果]

介護予防サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

地域密着型介護予防サービス給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P268

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,268,000	1,512,691	302,538	189,086	0	1,021,067	0

〔主な実施内容〕

要支援状態になっても、可能な限り住み慣れた自宅・地域で生活を継続できるように、町が事業所の指定を行い、地域密着型介護予防サービス利用者への適切なサービス給付しました。

・地域密着型介護予防サービス利用件数

(単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
介護予防小規模多機能型居宅介護	24	△1	25	17
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	0	△12	12	12

〔成 果〕

地域密着型介護予防サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

介護予防福祉用具購入費給付事業

〔介護保険担当〕

決算書 P268

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
879,000	878,453	175,690	109,806	0	592,957	0

〔主な実施内容〕

要支援認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための福祉用具の購入費用として、年10万円までを利用限度額とし、そのうちの9割、8割または7割を保険給付しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給件数(件)	32	9	23	30
支給総額(円)	878,453	380,053	498,400	706,489
支給者一人あたりの支給額(円)	27,452	5,782	21,670	23,550

〔成 果〕

在宅生活の自立支援を実施するために、腰掛・補高便座、浴槽台、入浴用いす等の購入費を保険給付しました。

介護予防住宅改修費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P 268

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,097,000	4,270,172	854,034	533,771	0	2,882,367	0

[主な実施内容]

要支援認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための住宅改修の費用として、1住宅につき20万円までを利用限度額とし、そのうちの9割、8割または7割を保険給付しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給件数(件)	42	2	40	41
支給総額(円)	4,270,172	△285,545	4,555,717	4,681,393
支給者一人あたりの支給額(円)	101,671	△12,222	113,893	114,180

[成果]

在宅生活の自立支援を実施するために、手すりの取り付けや段差解消、滑り止め、引き戸への変更等の費用を保険給付しました。

介護予防サービス計画給付事業

[介護保険担当]

決算書 P 268

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,635,000	9,634,632	1,926,926	1,204,329	0	6,503,377	0

[主な実施内容]

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に対し、要支援認定となった在宅被保険者の介護予防サービス計画作成にかかる費用を保険給付しました。

・介護予防サービス計画利用件数 (単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
3月分	189 (2,031)	40 (210)	149 (1,821)	141 (1,704)

() 内は年度延べ件数

[成果]

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への情報提供等により効果的なケアプランの作成を支援とサービス計画費(介護予防支援分)を給付しました。

高額介護サービス費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P270

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
66,285,000	66,284,861	13,256,972	8,285,607	0	44,742,282	0

[主な実施内容]

介護保険のサービスを利用し、その利用者負担額が高額になった場合、所得段階に応じて定められた上限を超える利用者負担額分の費用を給付しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
延べ支給人数(人)	2,057	442	1,615	1,977
支給総額(円)	66,284,861	3,558,117	62,726,744	65,728,257
支給者一回あたりの支給額(円)	32,224	△6,616	38,840	33,246

[成果]

介護保険のサービス利用者のうち、所得段階ごとに定められた限度額を超えた利用者負担額となった方の経済的負担軽減を図ることができました。

特定入所者介護サービス費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P270

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
89,644,000	72,869,244	14,573,848	9,108,655	0	49,186,741	0

[主な実施内容]

要介護認定となった被保険者の施設入所及び短期入所の際に自己負担となる居住費(滞在費)、食費について、一定の要件を満たした低所得の方は負担限度額が設定され、限度額を超えた分は特定入所者介護サービス費として保険給付しました。

・利用件数

(単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
食費	2,200	△49	2,249	2,489
居住費(滞在費)	2,258	△8	2,266	2,503

[成果]

施設入所等における負担軽減を図りました。

特定入所者介護予防サービス費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P-

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
500,000	0	0	0	0	0	0

[主な実施内容]

要支援認定となった被保険者の短期入所の際に自己負担となる居住費（滞在費）、食費について、一定の要件を満たした低所得の方は負担限度額が設定され、設定限度額を超えた分は特定入所者介護予防サービス費として保険給付するものです。

・利用件数

(単位 件)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
食 費	0	△3	3	8
居住費（滞在費）	0	△3	3	8

[成 果]

令和4年度は施設入所等における負担軽減の対象者がいませんでした。

高額医療合算介護サービス費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P270

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,328,000	9,327,825	1,865,565	1,165,978	0	6,296,282	0

[主な実施内容]

介護保険と医療保険の両方の利用者負担が高額になった場合に、その合計額が所得段階に応じて定められた上限を超える分の費用を給付しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
支給延べ人数 (人)	301	22	279	245
支給総額 (円)	9,327,825	397,586	8,930,239	7,705,923

[成 果]

対象者の経済的負担軽減を図りました。

介護予防生活支援サービス事業

[高齢者支援担当]

決算書 P272

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
38,120,000	31,970,713	12,868,211	3,996,339	0	15,106,163	0

[主な実施内容]

要支援認定・事業対象者となった在宅の被保険者に対し、第1号事業(第1号訪問事業・第1号通所事業)費用を給付しました。

・第1号事業(第1号訪問事業・第1号通所事業)サービス利用件数 (単位 件)

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
第1号 訪問事業	介護予防訪問介護相当 (現行相当)	551	△39	590	648
	訪問型サービスA (基準緩和型)	0	0	0	0
第1号 通所事業	介護予防通所介護相当 (現行相当)	1,087	52	1,035	920
	通所型サービスA (基準緩和型)	71	14	57	49

[成 果]

第1号事業サービス利用者への適切なサービス給付を行いました。

介護予防ケアマネジメント事業

[高齢者支援担当]

決算書 P272

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,462,000	4,920,828	1,849,739	615,103	0	2,455,986	0

[主な実施内容]

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に対し、要支援認定・事業対象者となった在宅被保険者の介護予防ケアマネジメント作成にかかる費用を給付しました。

・介護予防ケアマネジメント利用件数 (単位 件)

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
3月分		86	△1	87	89
		(1,036)	(△11)	(1,047)	(1,007)

() 内は年度延べ件数

[成 果]

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への調整や情報提供等により効果的なケアプラン作成を支援し、介護予防ケアマネジメント作成費を給付しました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,386,000	2,345,139	512,412	287,279	0	1,545,448	0

[主な実施内容]

■口腔機能の向上プログラム「お口の健康教室」 37,200円

2日間コースを3コース実施しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
実施コース数	3	△2	5	3
参加人数	4	△6	10	6

[成 果]

口腔機能が低下している方や低下のおそれがあると判断した方を対象に、口腔ケアの必要性、摂食・嚥下機能訓練や口腔衛生指導等を行い、口腔機能の維持向上を図りました。

■「おたっしや元気塾」 2,290,860円

5日間コースを18コース実施しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
会場(箇所)	4	1	3	4
実施コース数	18	4	14	ますます元気塾 2 はじめて元気塾 6
参加人数	152	18	134	112

65歳以上の一般高齢者を対象に体力に自信がない方向けの簡単な体操に加え、口腔機能向上、栄養、認知症予防について指導を実施しました。

令和4年度から年間募集回数を6回に増やしました。また、フレイルリスクの高い方に個別案内をしています。

[成 果]

自宅で簡単に取り組める運動と口腔ケアや栄養について、基本的な知識と実技を学び、講座終了後も自主的に介護予防が継続できるよう、普及啓発を図りました。

地域介護予防活動支援事業

[高齢者支援担当] 決算書 P272

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,277,000	2,418,049	748,386	302,256	0	1,367,407	0

[主な実施内容]

■プラザサポーター養成講座 397,170円

12日間コースを1コース実施しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
実施コース数	1	0	1	1
参加人数	6	0	6	4

[成 果]

地域で、いきいき百歳体操等の介護予防体操やフレイル予防の普及啓発を行う人材を育成するために、プラザサポーター養成講座を実施し、1名が修了しました。

■プラザサポーター発展講座 185,760円

6日間コースを1コース実施しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
実施コース数	1	0	1	1
参加人数	6	0	6	16

[成 果]

プラザサポーター養成講座を修了後、地域で介護予防活動を実践している方を対象に、口腔機能向上・栄養・認知症予防についてより詳しく学ぶプラザサポーター発展講座を実施しました。出前講座等において、ボランティア講師としてフレイル予防の講義が行える人材を4名育成しました。

■地域のふれあい居場所づくり支援事業補助金 535,750円

地域交流サロン・健康づくり団体に対し、地域のふれあい居場所づくり支援事業補助金(備品補助・施設利用料)を交付しました。

(単位 円)

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
備品補助	176,950 (5)	30,273 (△2)	146,677 (7)	112,552 (8)
施設利用	358,800 (15)	157,800 (6)	201,000 (9)	122,800 (9)

() 内は交付団体数

[成 果]

地域での集いの場の活動促進につなげました。

認知症高齢者見守り事業

[高齢者支援担当] 決算書 P274

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
336,000	122,429	47,135	23,567	0	51,727	0

[主な実施内容]

■GPS位置情報発信機の貸与 11,549円

徘徊高齢者等を在宅で介護する方に対して、探索用のGPS位置情報発信機を貸与しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
利用者数(人)	3	1	2	1
位置情報取得回数(件)	0	0	0	0

■高齢者見守りシールの交付 110,880円

徘徊高齢者等を介護する方に対して、二次元バーコード付きの見守りシールを交付しました。

	4年度 A
利用者数(人)	4

[成果]

徘徊高齢者等の早期発見、安全確保並びに介護者の身体的・精神的負担の軽減を図りました。また、令和4年度から「高齢者見守りシール事業」を開始し、4人の方を登録しました。

介護給付等費用適正化事業

[介護保険担当] 決算書 P274

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
895,000	642,934	247,530	123,765	0	271,639	0

[主な実施内容]

①介護給付費通知の送付(年2回) 令和4年 7月 対象者 1,590名

令和4年12月 対象者 1,631名

②ケアプランの点検確認指導

実施日 令和5年2月

対象 町内居宅介護支援事業所所属の介護支援専門員(ケアマネジャー)

3事業所

③要介護認定調査票の点検

1,434件

[成果]

利用者に対する適切な介護サービスの確保を目的として、「みやしろ健康福祉プラン」に定められた介護給付の適正化事業を実施しました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
23,552,000	17,464,464	4,442,959	2,221,479	0	10,800,026	0

[主な実施内容]

■高齢者等給食配食サービスの実施 15,015,507円

一人暮らしの高齢者等の見守り支援として自宅へ夕食の宅配を行い、安心して自立生活が送れるよう支援しました。

委託先：公益社団法人宮代町シルバー人材センター

(内訳) 調理業務：社会福祉法人みつなみ会特別養護老人ホームみどりの森

配送業務：公益社団法人宮代町シルバー人材センター

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
延べ利用者数(人)	1,161	△144	1,305	1,224
延べ調理食数(食)	12,830	△1,641	14,471	13,643
委託料(円)	15,015,507	△886,208	15,901,715	14,848,465

[成 果]

高齢者や心身に障がいのある方の食生活の改善及び健康の増進とともに、配達員からの食事の宅配を通じて、地域社会との交流と高齢者の見守りを図りました。

■介護相談事業の実施 1,431,720円

介護保険制度利用者の日常的な不安、疑問を受け付け、問題の発見や提起、解決策の提案などを通じて、苦情が発生することを未然に防ぐとともに、介護サービスの質の向上を図るため、介護サービス相談員による被保険者への電話相談を実施しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
介護サービス相談員	3	0	3	3
施設訪問(延べ回数)	0	0	0	4
施設訪問(延べ人数)	0	0	0	178
電話相談・ 対面相談(延べ人数)	489	38	451	251
連絡会議	12	0	12	9

[成 果]

新型コロナウイルス感染症対策のため電話による相談を中心に取り組みました。被保険者ご本人からの相談のほか、家族からの相談についても対応しました。

■緊急時通報システム機器設置及び運用

1,010,787 円

おおむね65歳以上の一人暮らしで、転倒や発作を起こす可能性のある持病（心臓・脳血管・肺の病気など）のある方で緊急時通報システムの利用が必要と判断した場合に専用機器を設置しました。自宅で急病・事故などの際に、無線発信機や緊急通報専用機器を利用すると、緊急通報センターから必要に応じて消防本部に連絡され、速やかな救助活動が行われます。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
利用者数(人)	65	△12	77	79
新規設置台数(件)	8	0	8	18

[成 果]

緊急時通報システムにより、24時間体制での見守り、緊急時に迅速かつ的確な対応ができる体制が確保でき、10件の緊急要請に対して7件の救急搬送が行われ、必要な治療につなげました。

家族介護継続支援事業

[高齢者支援担当]

決算書 P274

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,944,000	4,198,317	1,455,556	727,988	0	2,014,773	0

[主な実施内容]

■介護用品の支給

要介護3～5の認定を受けた方で、排泄等の介護を必要とする状態にあり、本人非課税かつ医療機関に入院や介護施設等に入所していない方を対象に、各種介護用品（紙おむつ、尿取りパット、介護用手袋、介護用ぬれタオル、清拭剤、ドライシャンプー）を宅配により支給しました。

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
延べ支給人数(人)	1,195	△2,274	3,469	3,683
支給総額(円)	3,766,572	△7,569,171	11,335,743	11,329,298

[成 果]

在宅において排泄等の介護を必要とする高齢者及び家族等の経済的負担、身体的・精神的な負担を軽減しました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
30,912,000	30,369,195	10,134,200	5,065,581	0	15,169,414	0

[主な実施内容]

■地域包括支援センターの運営

高齢者を包括的に支援する地域包括支援センターを運営し、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行いました。また、適正な運営管理を行うため、業務内容について事業評価を実施するとともに、介護保険事業運営協議会を開催し意見を聴取しました。

・地域包括支援センターの運営状況

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
介護予防ケアプラン作成(件)		136	17	119	92
総合相談(件)		4,271	583	3,688	4,074
相談内容の内訳 (件)	介護保険・介護サービスに関する相談	3,794	479	3,315	2,761
	福祉サービスに関する相談	110	29	81	201
	認知症に関する相談	35	△14	49	53
	権利擁護に関する相談	14	6	8	109
	その他の相談	201	94	107	548
	見守り等	117	△11	128	402
地域訪問(件)		636	25	611	397
事業所(ケアマネジャー等)からの相談(件)		307	23	284	344

[成 果]

実務経験を積んだ専門職が介護・福祉・健康・医療など、様々な面から支援を行いました。高齢者やその家族、事業者等からの相談に迅速に対応し、介護保険サービスや町福祉制度等に繋げ、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けられるよう努めました。

在宅医療・介護連携推進事業

[高齢者支援担当]

決算書 P276

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,199,000	2,059,746	793,002	396,501	0	870,243	0

[主な実施内容]

■在宅医療・介護連携に関する関係団体等との連携

蓮田市・白岡市とともに在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協定を締結し、地域の医療・介護資源の実態把握、在宅医療・介護関係者の関係づくり及び関係者の研修会や連携会議を開催し、スキルアップや情報共有を図りました。

また、久喜市・蓮田市・白岡市とともに南埼玉郡市医師会へ在宅医療・介護連携拠点等を委託し、地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談を受付けています。令和4年度は入退院支援ルール作成も行い、切れ目なく在宅医療・在宅介護が提供される体制づくりを進めました。

[成 果]

医療機関・介護事業所が参加する研修会を通して、情報の共有、顔の見える関係づくりを行い、在宅医療と在宅介護の提供体制の構築を図りました。

生活支援体制整備事業

[高齢者支援担当]

決算書 P278

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,777,000	4,680,558	2,407,679	867,307	0	1,405,572	0

[主な実施内容]

■生活支援コーディネーターの配置

地域の様々な支え合い活動をつなげ、組み合わせるコーディネート機能を担う生活支援コーディネーターを宮代町社会福祉協議会に委託し、主に地域情報の把握、情報発信を行い、生活支援体制整備推進会議(協議体)にて、ファシリテーター等会議運営の補佐役として活動しました。

■生活支援体制整備推進会議(協議体)の開催

生活支援の担い手育成の進め方や担い手が活躍する機会をつくるための話し合いの場を対面・オンライン併用により4月から3月まで2か月に一度開催しました。地域の支え合い・助け合い活動・地域活動等を動画で発信していくことを決めました。また、高齢者向けの冊子への掲載内容の意見出しを行いました。

■地域活動情報誌の発行・送付

6月、10月、2月に地域デビュー応援情報誌「縁じょい」通信を発行。身近な活動に興味を持った方(毎回約420人)に送付し、身近な活動への参加を促しました。

■認定ヘルパー養成講座の実施

平成29年4月から従事者(ヘルパー)要件を緩和した訪問型サービスAの提供が開始され、当該事業に従事することができる資格取得のための認定ヘルパー養成研修を11月に開催し、8名が認定を受けました。

■地域活動 PR 事業

1 2 月の障がい者週間に行われた西原自然の森フェスタ 2 0 2 2 期間中に、縁じょい交流会「新しいことに挑戦してみませんか」を行い、3 月にシニアはじめて講座「足元からの健康法心の栄養になる話」を行いました。また、YouTube「縁じょいチャンネル」を開設し、地域の助け合い活動、地域活動者・団体紹介を協議体メンバーの協力を得ながら行いました。

■日本工業大学との連携

「認知症の方にやさしいまちづくりミーティング」と題し、日本工業大学・宮代町社会福祉協議会・宮代町立図書館と連携し、イベントを行いました。9 月に図書館パネル展、3 月に宮代と共に暮らす福祉機器展を開催しました。

[成 果]

高齢者向けの冊子を協議体メンバーの意見を参考にしながら 3 月に発行・配布しました。また、縁じょい通信・縁じょいチャンネル・イベント（縁じょい交流会・シニアはじめて講座）等を通して、地域活動や助け合い活動の大切さを発信しました。引き続き、情報発信に重きを置き、地域活動に参加することや支え合い・助け合いの大切さなどを広めていきます。

認知症総合支援事業

[高齢者支援担当]

決算書 P 278

4 年度予算 (円)	4 年度決算 (円)	4 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
455,000	153,512	59,102	29,551	0	64,859	0

[主な実施内容]

■認知症地域支援推進員の配置

地域包括支援センターもみの木の職員 1 名、高齢者支援担当職員 1 名が認知症地域支援推進員として認知症の人やその家族、ケアマネジャー等からの相談に対応しました。

■認知症初期集中支援チームの設置

認知症初期集中支援チームの設置は、平成 3 0 年 1 月から白岡市の認知症専門病院に委託しました。

	4 年度 A	増減 A-B	3 年度 B	2 年度
支援対象ケース (件)	0	0	0	0
支援対象外ケース (件)	1	1	0	0

[成 果]

認知症初期集中支援チームが初回訪問した結果、1 件支援対象外ケースの判断となりました。認知症の早期対応、早期診断に向けた支援体制の充実を図りました。



後期高齢者医療特別会計



令和4年度宮代町後期高齢者医療特別会計決算における主要施策の成果

令和4年度の歳入総額は6億560万円で、前年度に比べ6,143万4千円、率にして11.3%の増、歳出総額は5億9,724万円で、前年度に比べ5,667万3千円、率にして10.5%の増となり、令和4年度宮代町後期高齢者医療特別会計決算における収支差引額は836万円となりました。

歳入の主な財源となる保険料収入済額は、前年度に比べ4,628万5千円、率にして10.8%増加しました。収納対策においては、納付方法として口座振替、コンビニエンスストアでの収納、スマホ決済(Pay B)を設け納付しやすい環境を整え、新規被保険者に対しては口座振替申し込みの促進を図りました。また、保険料未納の被保険者に対しては書面での催告、納付相談を行い、滞納の解消に努めた結果、収納率は現年度分で99.8%となりました。

引き続き適正かつ公平な保険料の賦課徴収に取り組んでまいります。

令和4年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款 名	4年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 後期高齢者医療保険料	474,315	78.3	77	46,284
2 国庫支出金	0	0.0	0	0
3 繰入金	125,939	20.8	21	14,228
4 諸収入	1,747	0.3	0	1,484
5 繰越金	3,599	0.6	1	△ 562
歳入合計	605,600	100.0	98	61,434

歳出の状況

款 名	4年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 総務費	27,276	4.6	4	1,998
2 後期高齢者医療広域連合納付金	566,402	94.8	93	54,730
3 諸支出金	3,562	0.6	1	△55
4 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	597,240	100.0	98	56,673

令和5年3月31日現在被保険者数
6,115人

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	増減理由
決算額 B	構成比(%)		
428,031	78.7	417,888	被保険者数の増加に伴う現年度分の保険料収納額の増
0	0.0	112	
111,711	20.5	106,415	保険基盤安定繰入金及び職員給与費繰入金の増
263	0.1	393	
4,161	0.7	5,961	前年度繰越金の減
544,166	100.0	530,770	

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	増減理由
決算額 B	構成比(%)		
25,278	4.7	21,490	職員給与費の増
511,672	94.6	502,683	保険基盤安定負担金及び保険料納付金の増
3,617	0.7	2,435	一般会計への繰出金の減
0	0.0	0	
540,567	100.0	526,608	

令和4年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	4年度	3年度	2年度
歳入総額 A	605,600	544,166	530,769
歳出総額 B	597,240	540,567	526,608
歳入歳出差引額 (A - B) C	8,360	3,599	4,161
翌年度へ繰越すべき財源 D	0	0	0
実質収支 (C - D) E	8,360	3,599	4,161
単年度収支 F	4,761	△ 562	△ 1,800
積立金 G	0	0	0
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	0	0	0
実質単年度収支 (F + G + H - I)	4,761	△ 562	△ 1,800

2 被保険者数の状況 (年度末現在)

(単位 人)

	4年度	3年度	2年度
75歳以上の者	6,093	5,828	5,547
65歳以上で障害認定を受けた者	22	25	29
被保険者総数	6,115	5,853	5,576
総人口	33,346	33,656	33,792
総人口に対する被保険者の割合	18.3%	17.4%	16.5%

3 職員数等の状況

	4年度	3年度	2年度
(一般職員) 職員数	3人	3人	2人
(一般職員) 平均年齢	46.07歳	42.09歳	43.03歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	309,700円	291,933円	311,650円

1 款 後期高齢者医療保険料

決算書 P287

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
493,133,000	474,315,500	46,284,770	428,030,730	417,887,953

後期高齢者医療制度の運営に必要な被保険者が負担する保険料（総医療費から自己負担分を除いた額の1割相当分）です。

■現年度分特別徴収保険料

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
調 定 額	327,213,300	20,903,200	306,310,100	298,193,400
収 入 済 額	327,503,000	21,019,400	306,483,600	298,504,500
不 納 欠 損 額	0	—	0	0
収 入 未 済 額	0	—	0	0
収 納 率	100%	—	100%	100%

収入済額には還付未済額 289,700 円（28件分）が含まれています。

■現年度分普通徴収保険料

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
調 定 額	147,269,600	25,732,400	121,537,200	119,629,200
収 入 済 額	146,226,800	25,500,400	120,726,400	118,672,980
不 納 欠 損 額	0	—	0	0
収 入 未 済 額	1,151,200	340,400	810,800	975,520
収 納 率	99.3%	0 ポイント	99.3%	99.2%

収入済額には還付未済額 108,400 円（6件分）が含まれています。

■現年度分（特別徴収保険料及び普通徴収保険料）

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
調 定 額	474,482,900	46,635,600	427,847,300	417,822,600
収 入 済 額	473,729,800	46,519,800	427,210,000	417,177,480
不 納 欠 損 額	0	—	0	0
収 入 未 済 額	1,151,200	340,400	810,800	975,520
収 納 率	99.8%	△0.1 ポイント	99.9%	99.8%

収入済額には還付未済額 398,100 円（34件分）が含まれています。

■滞納繰越分普通徴収保険料

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
調 定 額	1,865,470	△1,119,180	2,984,650	3,039,405
収 入 済 額	585,700	△235,030	820,730	710,473
不 納 欠 損 額	496,960	△645,290	1,142,250	319,802
収 入 未 済 額	782,810	△238,860	1,021,670	2,009,130
収 納 率	31.4%	3.9ポイント	27.5%	23.4%

高齢者の医療の確保に関する法律第160条の規定による時効のため、496,960円(8名分)の不納欠損を行いました。

2 款 繰 入 金

決算書 P287

4年度予算	4年度決算 A	増 減 A-B	3年度決算 B	2年度決算
126,312,000	125,938,629	14,227,539	111,711,090	106,414,568

■保険基盤安定繰入金

後期高齢者医療に係る保険料の所得に応じた均等割軽減分及び被用者保険の被扶養者であった被保険者の軽減分を補うために必要となる県及び町負担金分を、一般会計から繰り入れました。

■事務費繰入金

後期高齢者医療制度の運営に必要な事務経費を、一般会計から繰り入れました。

■職員給与費繰入金

後期高齢者医療担当職員の人件費を、一般会計から繰り入れました。

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
保険基盤安定繰入金	83,338,629	10,736,539	72,602,090	71,354,568
事務費繰入金	21,248,000	3,294,000	17,954,000	18,520,000
職員給与費繰入金	21,352,000	197,000	21,155,000	16,540,000
合 計	125,938,629	14,227,539	111,711,090	106,414,568

3 款 諸 収 入

決算書 P287

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
416,000	1,746,770	1,483,680	263,090	393,439

■延滞金、加算金及び過料

後期高齢者医療保険料に係る延滞金です。

■還付金及び還付加算金

過誤納となった保険料を還付するための財源となる埼玉県後期高齢者医療広域連合からの収入金です。

■町預金利子

歳計現金の預金利子です。

■マイナンバーカード取得促進等及び窓口負担の見直し経費補助金

負担割合の見直しに伴う 2 回目の保険証更新（令和 4 年 9 月実施）の郵送料に対する埼玉県後期高齢者医療広域連合からの補助金です。

(単位 円)

	4 年度 A	増 減 A-B	3 年度 B	2 年度
延滞金及び過料	16,900	△1,700	18,600	102,500
償還金及び還付加算金	246,500	2,900	243,600	290,040
町預金利子	1,062	172	890	899
マイナンバーカード取得促進等及び窓口負担の見直し経費補助金	1,482,308	1,482,308	—	—
合 計	1,746,770	1,483,680	263,090	393,439

4 款 繰 越 金

決算書 P289

4 年度予算	4 年度決算 A	増 減 A-B	3 年度決算 B	2 年度決算
3,600,000	3,599,411	△561,837	4,161,248	5,961,120

令和 3 年度決算剰余金として、令和 4 年度に繰越したものです。

後期高齢者医療保険料徴収事業

[国保・後期担当]

決算書 P292

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,925,000	2,524,507	0	0	0	2,524,507	0

[主な実施内容]

特別徴収(年金からの天引き)の月ごとの保険料額が平均になるよう平準化を行いました。

また、保険料の納付において口座振替のほか、コンビニエンスストア等での納付やPay B(ペイビー)によるスマホ決済を利用した納付環境を整備し、被保険者の納付方法にかかる選択の幅を広げるとともに簡易化に努めました。

保険料の公平かつ適切な徴収対策として、滞納者への通知による催告や納付相談を実施し、滞納者の経済環境に配慮した徴収を実施しました。

参考：保険料軽減区分ごとの被保険者数(令和4年度最終調定時)

(単位 人)

一般		2,510
均等割	2割軽減	964
同	5割軽減	687
同	7割軽減	1,951
合計		6,112

[成 果]

滞納者に対する納付相談や通知による催告等を実施した結果、現年度分の普通徴収保険料の徴収率は前年度と同じ99.3%となりました。特別徴収保険料を含んだ現年度分全体の保険料の徴収率は、99.8%となりました。

また、普通徴収の納付方法別の件数の割合は、納付書での納付38%、口座振替43%、コンビニエンスストアでの納付18%、スマホ決済0.2%となりました。

後期高齢者医療広域連合納付金納付事業

[国保・後期担当]

決算書 P294

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
589,035,000	566,402,504	0	0	0	566,402,504	0

[主な実施内容]

共通経費負担金、保険基盤安定負担金及び町が徴収した保険料を埼玉県後期高齢者医療広域連合に納付しました。

(単位 円)

	4年度 A	増 減 A-B	3年度 B	2年度
共通経費負担金	10,030,475	△409,523	10,439,998	10,309,418
保険基盤安定負担金	83,338,629	10,736,539	72,602,090	71,354,568
後期高齢者医療保険料	473,033,400	44,403,425	428,629,975	421,019,208
合計	566,402,504	54,730,441	511,672,063	502,683,194

[成 果]

埼玉県後期高齢者医療広域連合の適正な財政運営に寄与しました。

